

「第6期岩見沢市総合計画」の
基本施策等に関する市民意識調査

令和 6 年(2024 年)9 月実施

結果報告書

令和 7 年 7 月

岩見沢市

目 次

Ⅰ 調査の概要

(1)調査の目的	1
(2)調査設計	1
(3)調査項目	1
(4)配布・回収状況	1
(5)調査結果の見方	2
(6)その他	2

Ⅱ 調査結果

問 1: あなた(回答者)のことについてうかがいます。	3
問 2: あなたは、岩見沢市は暮らしやすいまちだと思いますか。	7
問 3: あなたは、これからも岩見沢市に住み続けたいと思いますか。	7
問 4-1: あなたは、進学・就職・結婚・出産・転職・転勤など、人生の転機を迎えたとき、岩見沢市から転出する必要があると思いますか。	7
問 4-2: 問 4-1 で「1.転出が必要だと思う」、「2.少しそう思う」と答えた方にお聞きます。転出が必要だと思う「転機」を以下の項目のあてはまるものを選んでください。	8
問 5: あなたは、「まちづくり基本条例」をご存知ですか。	10
問 6: 雪対策についてうかがいます。	11
問 7: 第6期岩見沢市総合計画における基本施策についてうかがいます。 以下の項目の「現在の満足度」について、あなたの考えに一番近いものを選んでください。	12
問 8: あなたの普段の生活や関心についてうかがいます。 以下の項目について、あなたの考えに近いものを選んでください。	15
問 9: 防災に関する意識についてうかがいます。	17
問 10: 情報の入手方法やスマートフォンの利用状況についてうかがいます。	18

最後に、市政に対するご意見、ご提案等がございましたらご記入ください。 19

Ⅲ 調査分析

(1)重要項目の相関関係	20
(2)顧客満足度分析(CS分析)	21
(3)各基本施策の満足度分析	24
(4)満足度と暮らしやすさの関係性	57

【参考資料】

市民意識調査票

「第6期岩見沢市総合計画」の基本施策等に関する市民意識調査ご協力をお願い

I 調査の概要

(1) 調査の目的

市では、平成 30 年 3 月に策定した「第 6 期岩見沢市総合計画」について、事業の進捗や効果について適切に評価した上で、その結果に基づいて事業の見直しや改善を図るため、「行政評価」を実施し、計画を着実に推進することとしています。

本調査は、前回（令和 3 年 10 月実施）に引き続き、「行政評価」における重要な要素となるアウトカム指標として、市の施策に関する満足度等の現状を把握し、今後の市政の参考とするために実施しました。

(2) 調査設計

- ① 調査対象 : 18 歳以上の市民の中から無作為に抽出した 4,000 人
- ② 調査基準日 : 令和 6 年 7 月 31 日
- ③ 調査期間 : 令和 6 年 9 月 1 日から令和 6 年 9 月 16 日まで
- ④ 調査方法 : 郵送による配布、郵送若しくはインターネットによる回答

(3) 調査項目

- ① 回答者の基本的属性について
- ② 市の暮らしやすさについて
- ③ 今後の定住意向について
- ④ 人生の転機における転出意向について
- ⑤ まちづくり基本条例の認知度について
- ⑥ 総合的な雪対策に対する評価等について
- ⑦ 総合計画の基本施策に対する満足度について
- ⑧ 普段の生活や関心について
- ⑨ 防災に関する意識について
- ⑩ 開かれた市政について 【新規】
- ⑪ サードプレイス（私的行動）の傾向について
- ⑫ 市政に対するご意見・ご提案等について

(4) 配布・回収状況

配布数	回収数	回収率
4,000 件	1,318 件	33.0%
4,000 件 (R3)	1,396 件 (R3)	34.9% (R3)

(5) 調査結果の見方

- ①「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率％）で表しています。
- ②図表中の「n」は回答者数を表しており、百分率％は「n」を 100％として算出しています。
- ③百分率％は、すべて小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位までの表記としているため、選択肢の割合の合計が 100％にならない場合があります。
- ④複数回答の設問では、すべての比率の合計が 100％を超えることがあります。
(問 4-2、問 6(1)、問 9、問 10)
- ⑤設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、「n」が回答者総数より増減する場合があります。(問 1(4)-2、問 1(7)、問 1(9)、問 4-2)

(6) その他

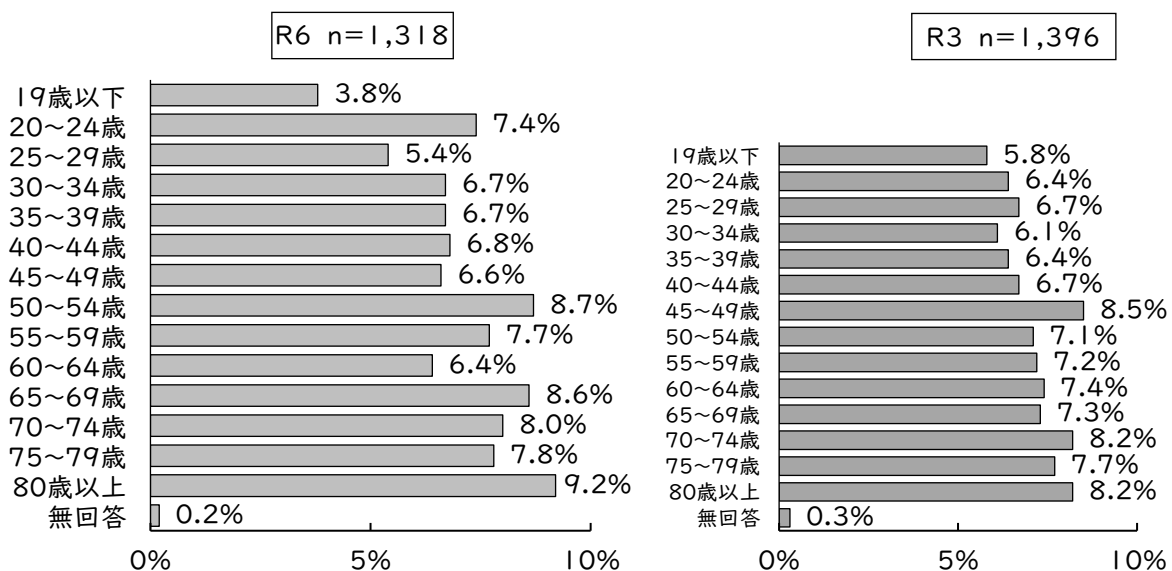
「3 調査分析」における「重要項目の相関関係」、「顧客満足度分析(CS 分析)」については、北海学園大学工学部生命工学科の鈴木聡士教授の助言を得て、調査結果をまとめています。

2 調査結果

問 1 あなた(回答者)のことがいます。

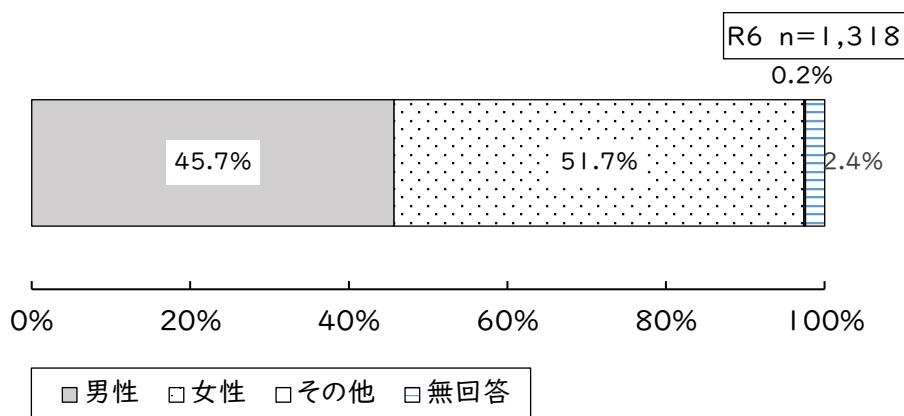
(1) 年齢

回答者の年齢は、「80 歳以上」の割合が 9.2%で最も高く、次いで「50～54 歳」(8.7%)、「65～69 歳」(8.6%)、「70～74 歳」(8.0%)となっており、概ね全世代から均等な回答を得ています。



(2) 性別

回答者の性別は、「男性」が 45.7%、「女性」が 51.7%、「その他」が 0.2%と女性の割合が高くなっています。

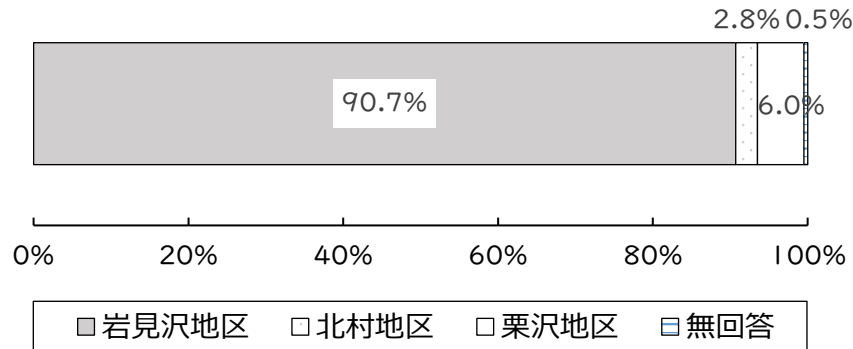


【R3 n=1,396 男 45.0% 女 52.7%】

(3) お住まいの地区

回答者の居住地区は、岩見沢地区が90.7%で約9割を占めています。

R6 n=1,318

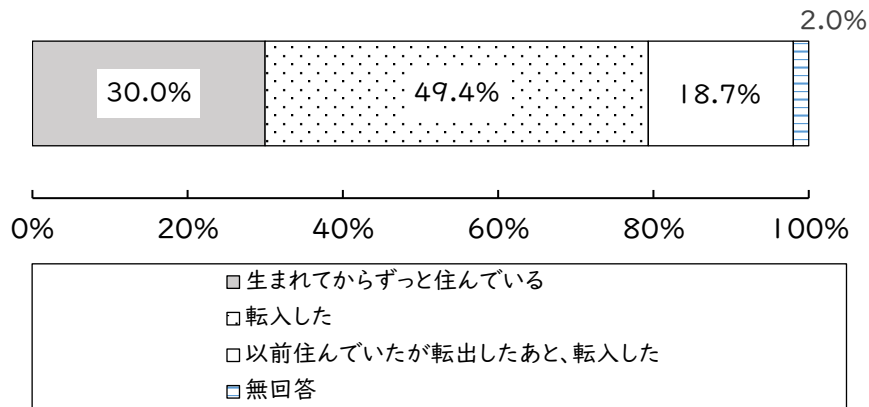


【R3 n=1,396 岩 89.4% 北 3.4% 栗 6.4%】

(4)-1 岩見沢市での居住歴 ※旧北村・栗沢町での居住歴を含む

回答者の岩見沢市での居住歴は、「転入した」が49.4%で最も高くなっています。

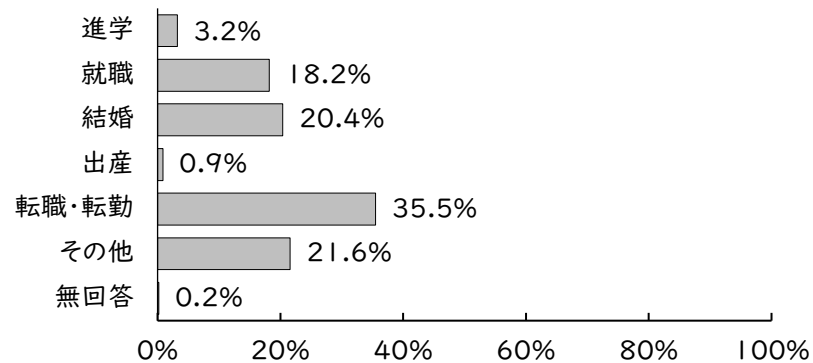
R6 n=1,318



(4)-2 転入の理由 ※(4)-1で「転入した」、「以前住んでいたが転出したあと、転入した」を選択した方

回答者の転入の理由は、「転職・転勤」が35.5%で最も高くなっています。

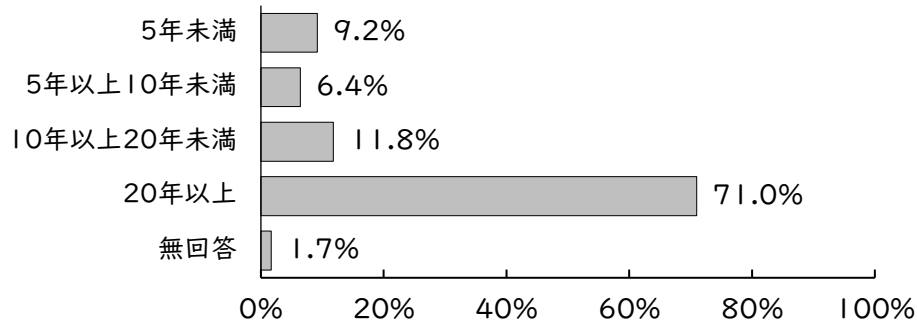
R6 n=897



(4)-3 岩見沢市での居住年数 ※旧北村・栗沢町での居住年数を含む

回答者の岩見沢市での居住年数は、「20 年以上」が 71.0%で最も高くなっています。

R6 n=1,318

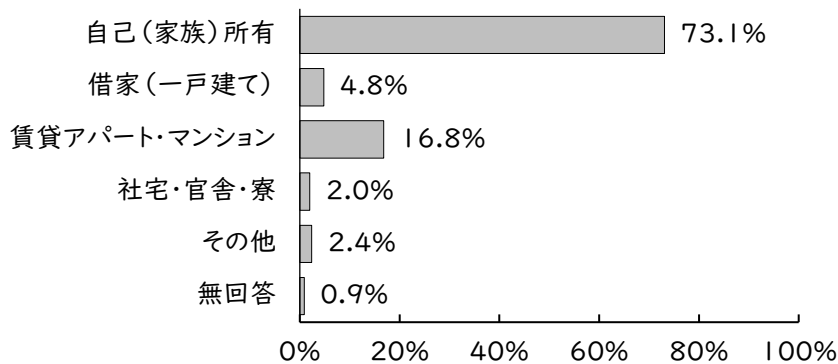


【R3 n=1,396 「20 年以上」66.3%】

(5) 住まいの形態

回答者の住まいの形態は、「自己(家族)所有」が 73.1%で、全体の約 7 割を占めています。

R6 n=1,318

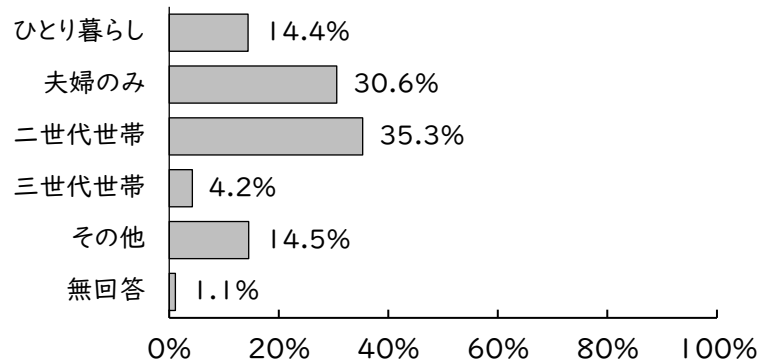


【R3 n=1,396 「自己(家族)所有」70.6%】

(6) 家族構成

回答者の家族構成は、「二世世代世帯」が 35.3%で最も高く、次いで「夫婦のみ」(30.6%)、「その他」(14.5%)となっています。

R6 n=1,318

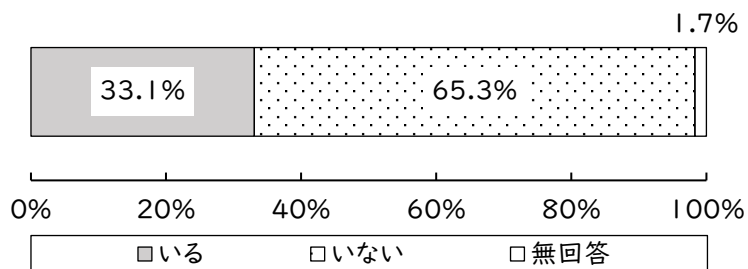


【R3 n=1,396 夫婦 27.2% 二世世代 36.4% ひとり 17.6%】

(7) 中学生以下の子ども ※(6)で「二世帯世帯」「三世帯世帯」「その他」を選択した方

二世帯世帯、三世帯世帯等のうち、中学生以下の子どもが「いる」方の割合は、33.1%となっています。

R6 n=711

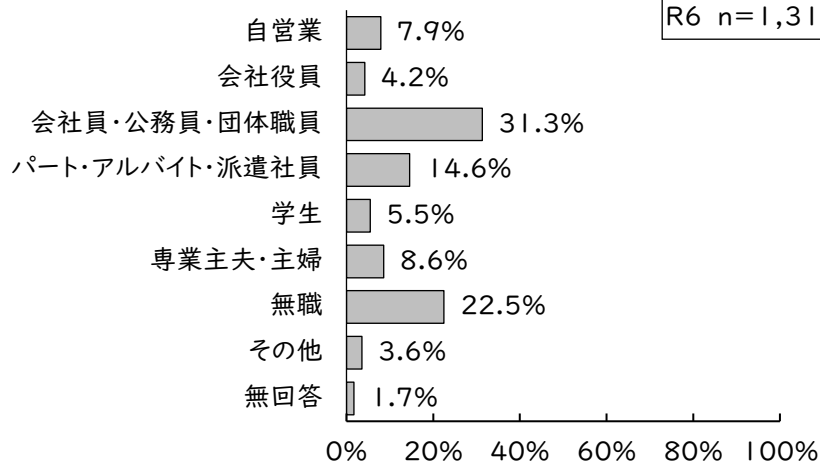


【R3 n=557 「いる」39.1%】

(8) 職業

回答者の職業は、「会社員・公務員・団体職員」が31.3%で最も高く、次いで「無職」(22.5%)、「パート・アルバイト・派遣社員」(14.6%)となっています。

R6 n=1,318



【R3 n=1,396 無職 20.8% 会社員等 32.5% パート等 14.1%】

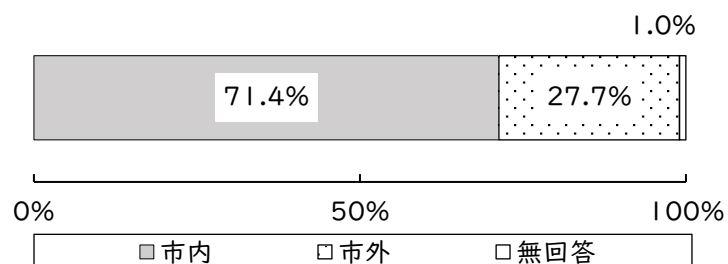
(9) 通勤・通学先

※(8)で「自営業」「会社役員」「会社員・公務員・団体職員」「パート・アルバイト・派遣社員」「学生」を選択した方

①市内・市外の別

回答者の通勤・通学先は、「市内」が71.4%、「市外」が27.7%となっています。

R6 n=838

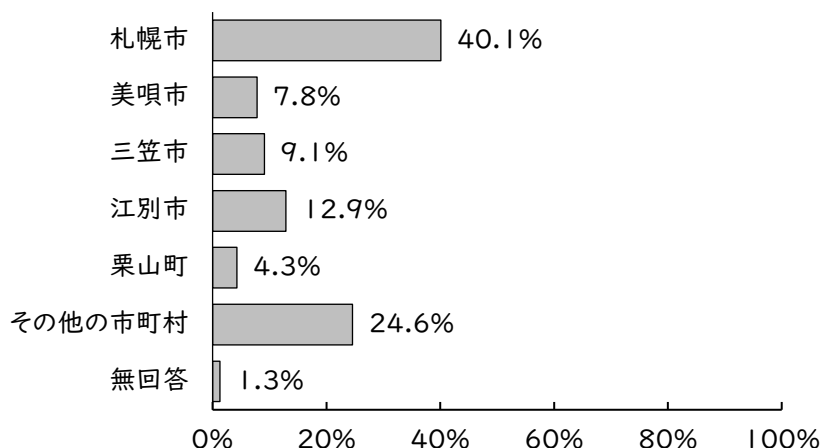


【R3 n=885 市内 71.8% 市外 26.0%】

②市外の通勤・通学先

「市外」に通勤・通学している方の通勤・通学先は、「札幌市」が 40.1%で最も高く、札幌圏としては全体の約 5 割を占めています。

R6 n=232



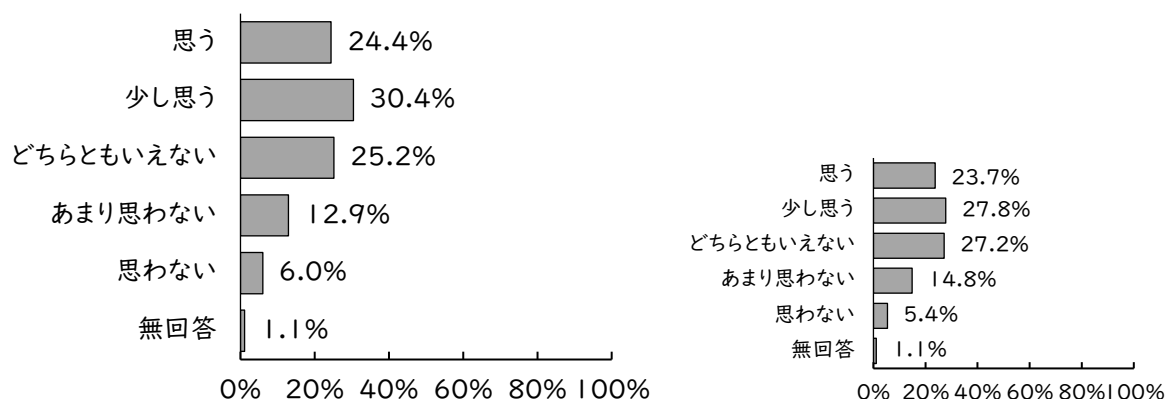
【R3 n=230 札幌市 34.8% その他 27.0%】

問 2 あなたは、岩見沢市は暮らしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

岩見沢市は暮らしやすいまちだと思うかどうかについて、「少し思う」が 30.4%で最も高く、「思う」(24.4%)と合わせると、5 割以上の方が『思う』と回答しています。

R6 n=1,318

R3 n=1,396



年齢別における状況は、以下のとおりです(ヤング:39歳以下 ミドル:40-64歳 シニア:65歳以上)

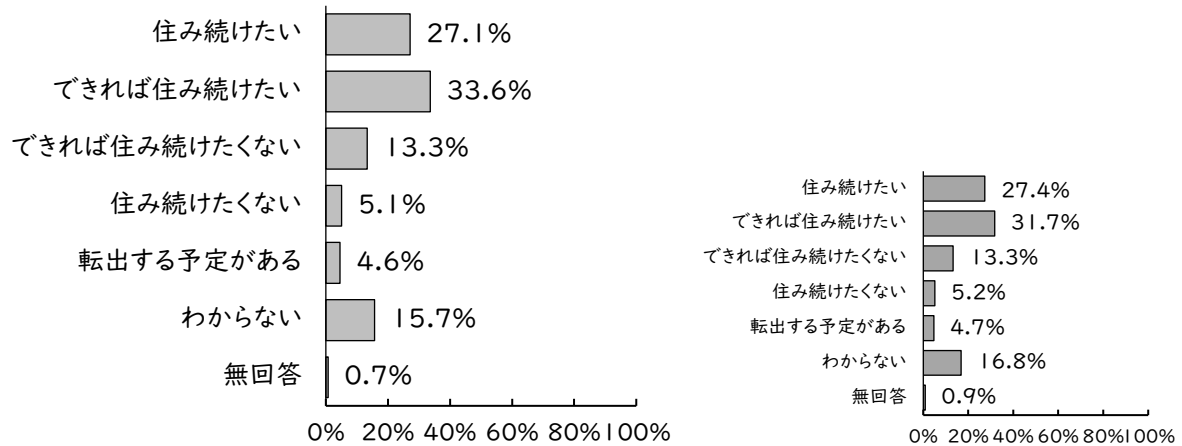
項目	R6			R3		
	ヤング	ミドル	シニア	ヤング	ミドル	シニア
思う	58.7%	54.9%	53.0%	54.5%	48.4%	53.8%
少し思う						
どちらともいえない	20.2%	26.5%	29.1%	23.3%	29.3%	29.8%
あまり思わない	21.2%	18.5%	17.9%	22.2%	22.2%	16.4%
思わない						

問 3 あなたは、これからも岩見沢市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

岩見沢市での定住意向について、「できれば住み続けたい」が 33.6%で最も高く、「住み続けたい」(27.1%)と合わせると、約 6 割の方が『住み続けたい』と回答しています。

R6 n=1,318

R3 n=1,396



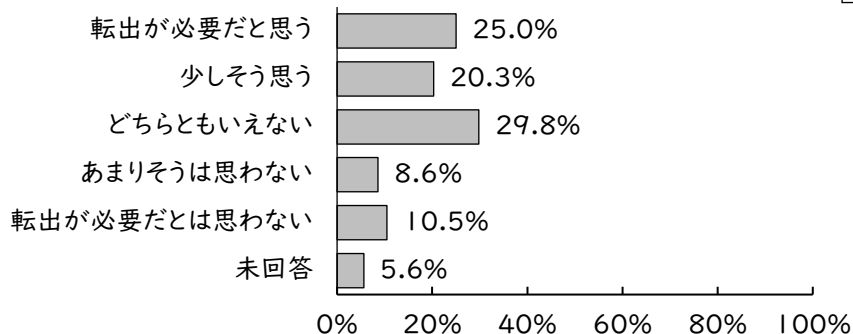
年齢別における状況は、以下のとおりです(ヤング:39歳以下 ミドル:40-64歳 シニア:65歳以上)

項目	R6			R3		
	ヤング	ミドル	シニア	ヤング	ミドル	シニア
住み続けたい	46.1%	60.5%	75.1%	48.1%	56.1%	75.1%
できれば住み続けたい						
できれば住み続けたくない	23.9%	19.3%	12.8%	23.1%	22.2%	9.9%
住み続けたくない						
転出する予定がある	10.7%	2.7%	1.1%	11.0%	3.0%	0.7%
わからない	19.3%	17.4%	11.0%	17.8%	18.7%	14.3%

問 4-1 あなたは、進学・就職・結婚・出産・転職・転勤など、人生の転機を迎えたとき、岩見沢市から転出する必要があると思いますか。(○は1つ)

人生の転機を迎えた場合の転出意向について、「どちらともいえない」が 29.8%で最も高く、次いで「転出が必要だと思う」(25.0%)、「少しそう思う」(20.3%)となっています。

R6 n=1,318

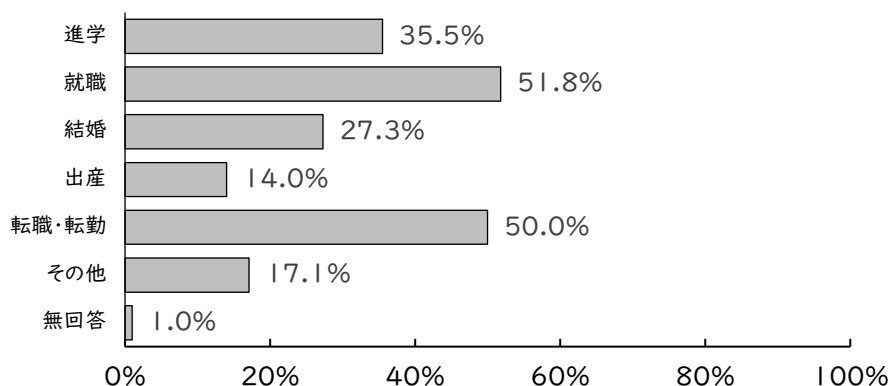


年齢別における状況は、以下のとおりです（ヤング：39歳以下 ミドル：40-64歳 シニア：65歳以上）

項目	R6			R3		
	ヤング	ミドル	シニア	ヤング	ミドル	シニア
転出が必要だと思う 少しそう思う	58.3%	50.2%	33.6%	56.8%	49.3%	27.8%
どちらともいえない	24.6%	28.5%	25.1%	25.8%	29.0%	27.3%
あまりそうは思わない 転出が必要だとは思わない	17.1%	21.3%	41.3%	17.4%	21.7%	45.0%

問 4-2 問4-1 で「1. 転出が必要だと思う」、「2. 少しそう思う」と答えた方にお聞きします。転出が必要だと思う「転機」を以下の項目から選んでください。
（あてはまるものすべてに○）

人生の転機を迎えたときの転出理由では、「就職」が 51.8%で最も高く、次いで「転職・転勤」(50.0%)、「進学」(35.5%)と続いています。



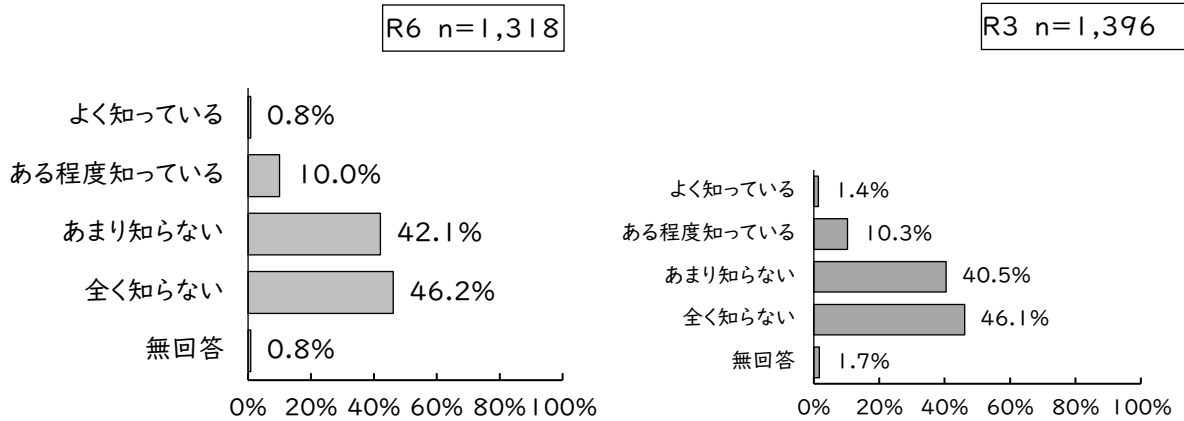
年齢別における状況は、以下のとおりです（ヤング：39歳以下 ミドル：40-64歳 シニア：65歳以上）

区分	R6					
	1 位		2 位		3 位	
ヤング	就職	28.2%	転職・転勤	25.7%	進学	16.5%
ミドル	転職・転勤	28.1%	就職	23.7%	進学	19.9%
シニア	就職	28.4%	転職・転勤	19.4%	進学	18.4%
区分	R3					
	1 位		2 位		3 位	
ヤング	転職・転勤	17.8%	就職	17.5%	結婚	12.8%
ミドル	定年・退職	12.5%	自身の要介護化	12.3%	免許返納	11.2%
シニア	自身の要介護化	29.8%	病気や事故	15.5%	免許返納	13.6%

問 5 岩見沢市では、平成 27 年に「まちづくり基本条例」を制定し、市民主体による自主自立のまちづくりに取り組んでいます。

あなたは、「まちづくり基本条例」をご存知ですか。(○は1つ)

「まちづくり基本条例」の認知度は、「全く知らない」が 46.2%で最も高く、次いで「あまり知らない」(42.1%)、「ある程度知っている」(10.0%)と続いており、『知っている』と回答しているのは、1 割程度となっています。



年齢別における状況は、以下のとおりです (ヤング:39 歳以下 ミドル:40-64 歳 シニア:65 歳以上)

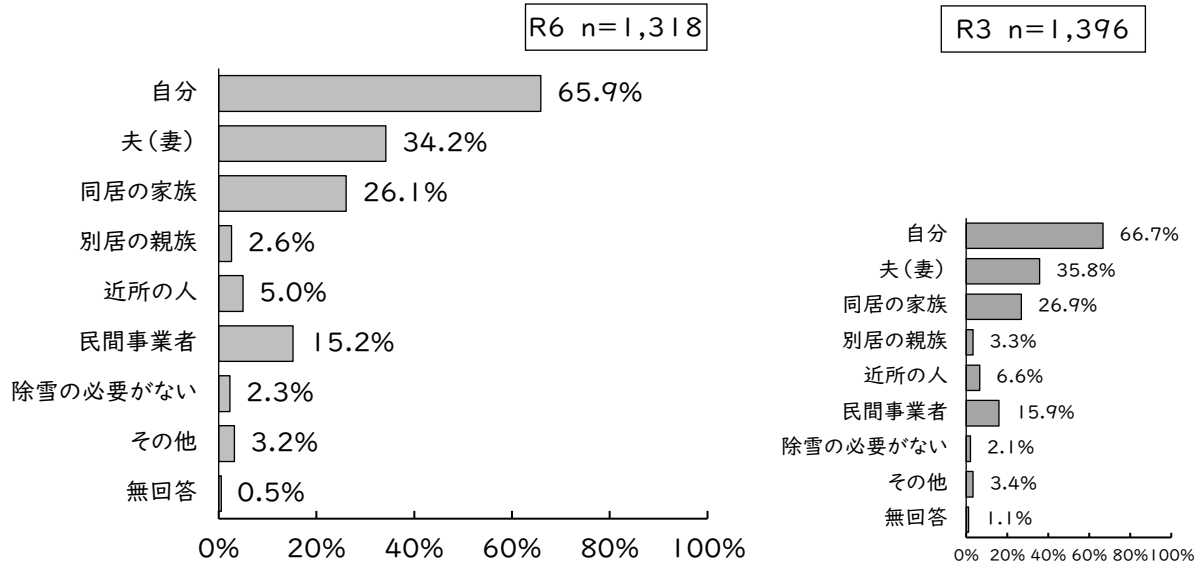
項目	R6			R3		
	ヤング	ミドル	シニア	ヤング	ミドル	シニア
よく知っている						
ある程度知っている	4.8%	9.2%	18.1%	5.5%	12.1%	18.2%
あまり知らない	95.2%	90.8%	81.9%	94.5%	87.9%	81.8%
全く知らない						

問 6 雪対策についてうかがいます。

(1) あなたのご自宅では、主にどなたが除雪作業を担っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

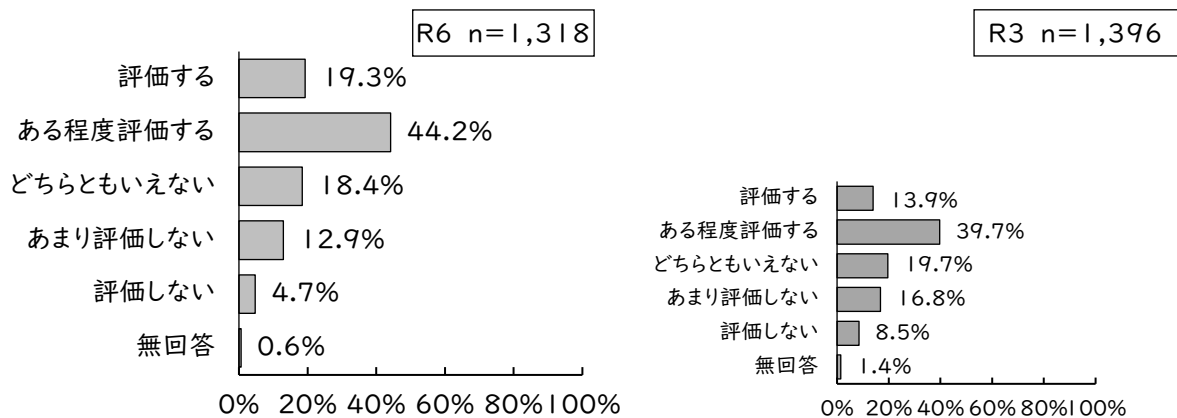
自宅での除雪作業の担い手について、「自分」が65.9%で最も高く、次いで「夫(妻)」(34.2%)、「同居の家族」(26.1%)となっています。



(2) 岩見沢市では、平成24年の豪雪の教訓から、「迅速・的確な除排雪対応」「情報提供の充実」「自力での除排雪が困難な高齢者世帯等への支援」といった『総合的な雪対策』に取り組んでいます。

あなたは、岩見沢市の『総合的な雪対策』をどのように評価しますか。(○は1つ)

『総合的な雪対策』に対する評価について、「ある程度評価する」が44.2%で最も高く、「評価する」(19.3%)と合わせると、6割以上の方が『評価する』と回答しています。



問 7 第 6 期岩見沢市総合計画における基本施策についてうかがいます。

以下の項目の「現在の満足度」について、あなたの考えに一番近いものを選んでください。(1から33について、それぞれ1つに○)

満足度が高い基本施策について、「総合的な雪対策の推進」の満足度が最も高く、「十分満足している」と「まあ満足している」を合わせると37.6%となっています。

満足度が低い基本施策について、「公共交通の利便性の向上」の満足度が最も低く、「かなり不満である」と「やや不満である」を合わせると51.6%となっています。

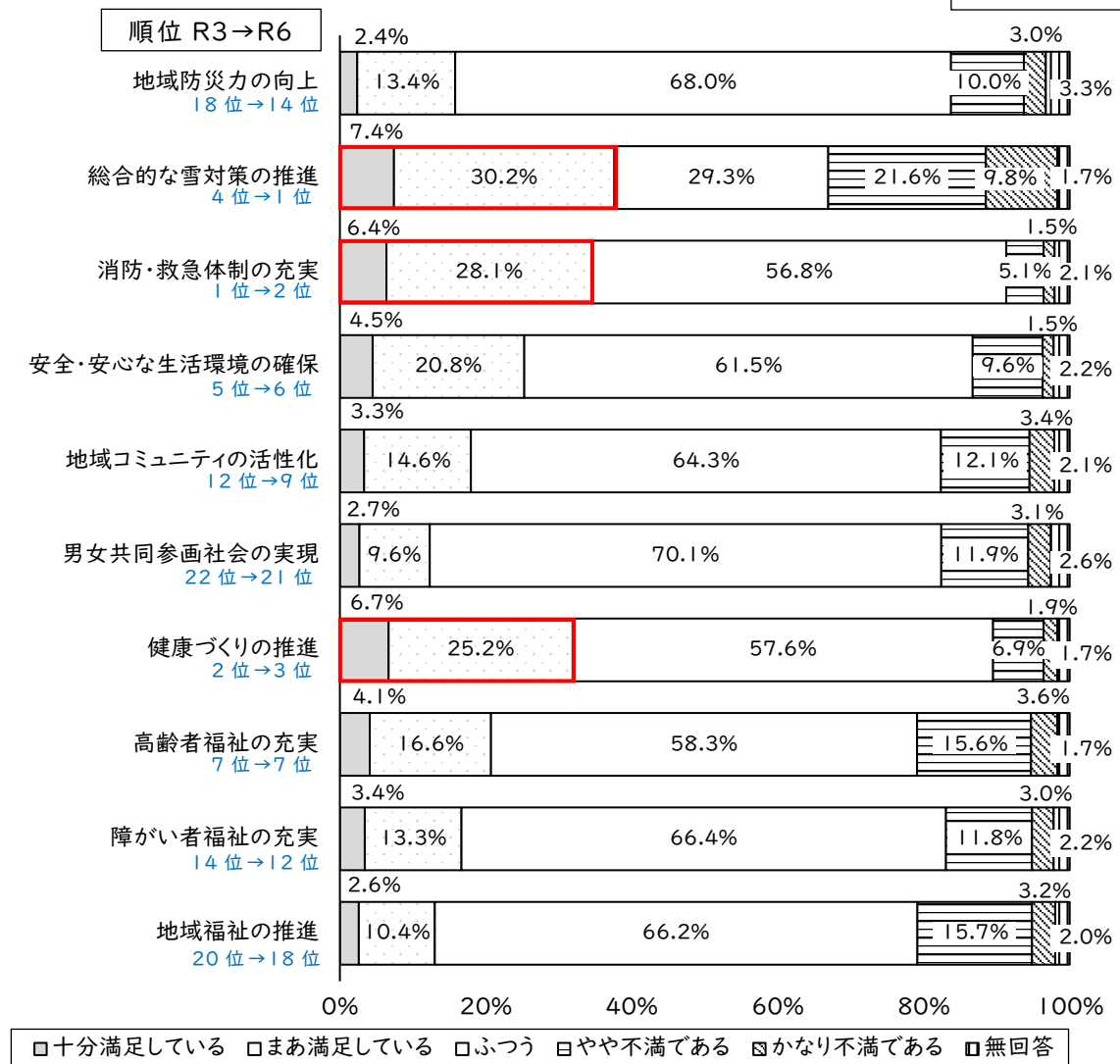
満足度の上位、下位各3位までの状況は、以下のとおりです。

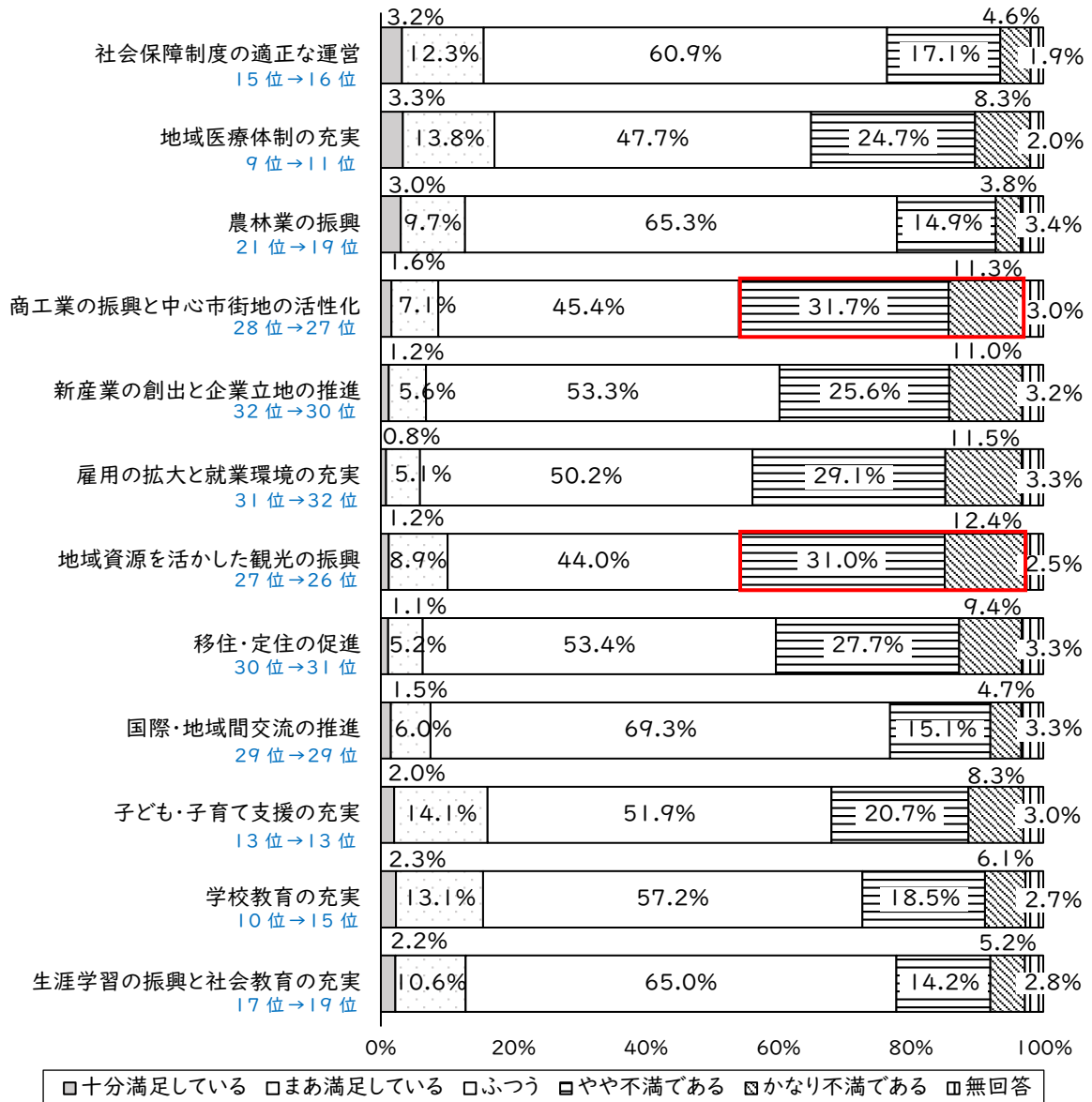
順位	満足度が高い施策		満足度が低い施策	
1 位	総合的な雪対策の推進	37.6%	公共交通の利便性の向上	51.6%
2 位	消防・救急体制の充実	34.5%	地域資源を活かした観光の振興	43.4%
3 位	健康づくりの推進	31.9%	商工業の振興と中心市街地の活性化	43.0%

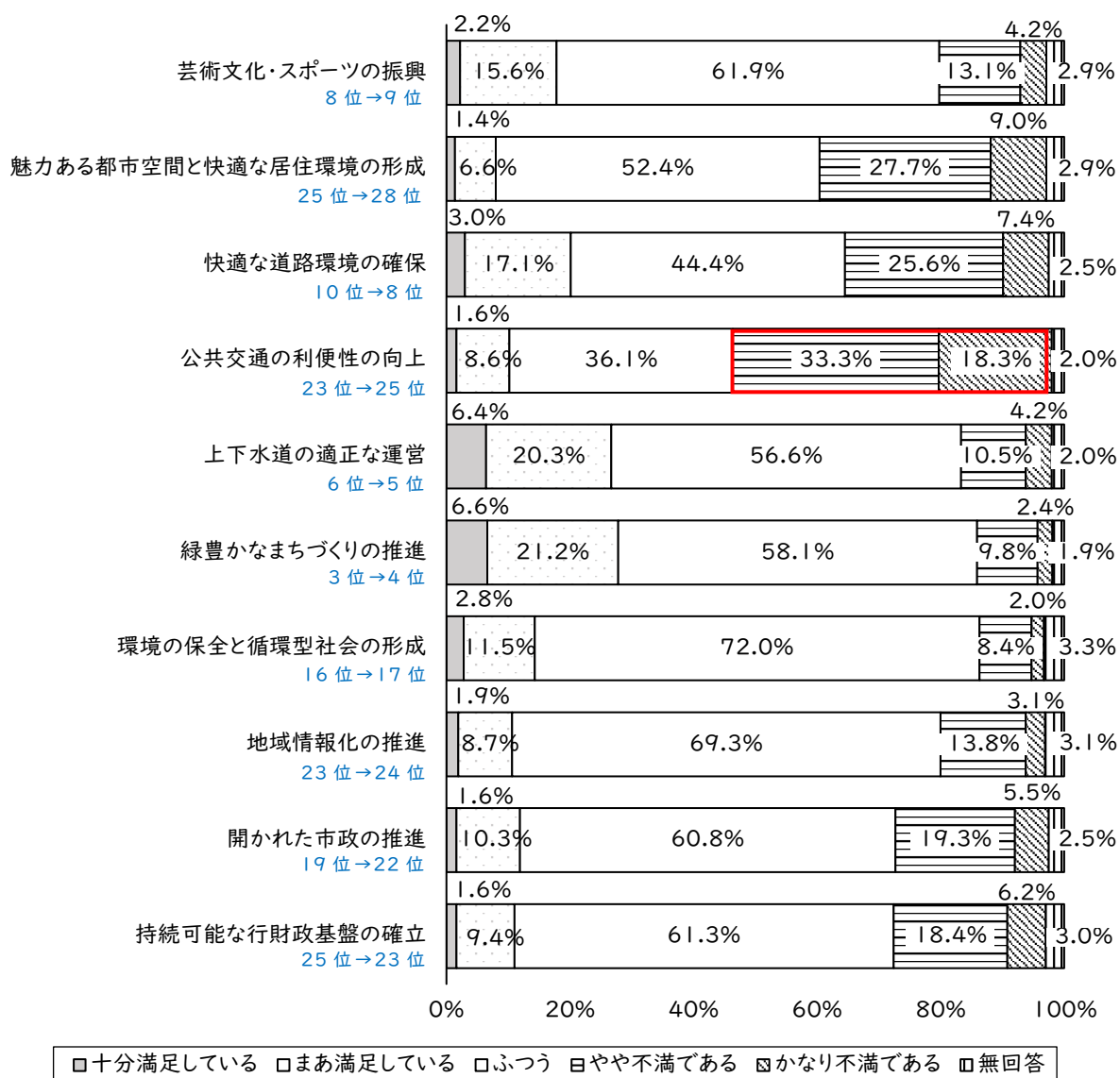
(上位:「十分満足」と「まあ満足」の合計、下位:「かなり不満」と「やや不満」の合計)

(1) 各基本施策の満足度(基本施策順)

R6 n=1,318

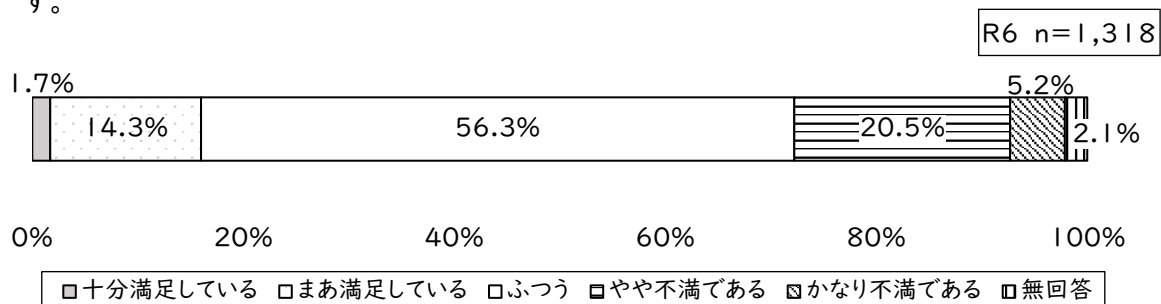






(2) 岩見沢市の施策に対する総合的な満足度

施策に対する総合的な満足度は、「十分満足している」と「まあ満足している」を合わせると 16.0%、「かなり不満である」と「やや不満である」を合わせると 25.7%となっています。



【R3 n=1,396 十分満足・まあ満足 16.3% かなり不満・やや不満 21.7%】

問 8 あなたの普段の生活や関心についてうかがいます。

以下の項目について、あなたの考えに近いものを選んでください。

(それぞれ1つに○)

普段の生活や関心について、「スマートフォンはあなたの生活に欠かせないものになっている」の関心度が最も高く、「とてもあてはまる」と「少しあてはまる」を合わせると 76.4%となっています。

一方、「ボランティア・NPO・市民活動を行っている」の関心度は最も低く、「全くあてはまらない」と「あまりあてはまらない」を合わせると 73.4%となっています。

関心度の上位、下位各 3 位までの状況は、以下のとおりです。

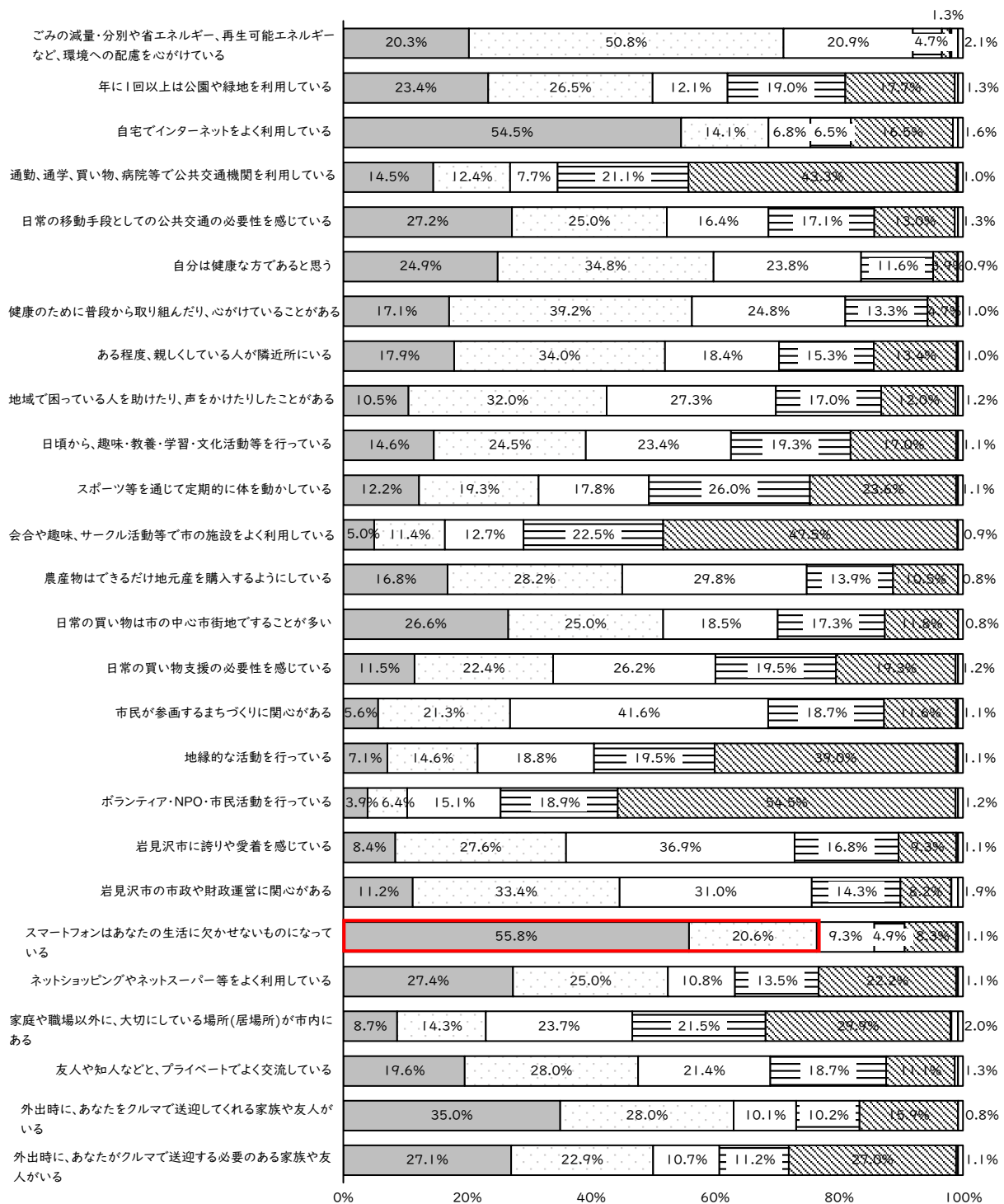
順位	関心度が高いもの		関心度が低いもの	
1 位	スマートフォンはあなたの生活に 欠かせないものになっている	76.4%	ボランティア・NPO・市民活動を行 っている	73.4%
2 位	ごみの減量・分別や省エネルギー、再 生可能エネルギーなど、環境への配慮 を心がけている	71.1%	会合や趣味、サークル活動等で 市の施設をよく利用している	70.0%
3 位	自宅でインターネットをよく利用 している	68.6%	通勤、通学、買い物、通院等で 公共交通機関を利用している	64.4%

(上位:「とてもあてはまる」と「少しあてはまる」の合計、下位「全くあてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計)

※参考 R3

順位	関心度が高いもの		関心度が低いもの	
1 位	ごみの減量・分別や省エネルギーなど、環 境への配慮を心がけている	77.9%	ボランティア・NPO・市民活動を行 っている	70.7%
2 位	スマートフォンはあなたの生活に 欠かせないものになっている	71.3%	会合や趣味、サークル活動等で 市の施設をよく利用している	68.3%
3 位	自宅でインターネットをよく利用 している	66.3%	通勤、通学、買い物、通院等で 公共交通機関を利用している	67.0%

R6 n=1,318



☐ とてもあてはまる
 ☐ 少しあてはまる
 ☐ どちらともいえない
 ☐ あまりあてはまらない
 ☐ 全くあてはまらない
 ☐ 無回答

問 9 防災に関する意識についてうかがいます。

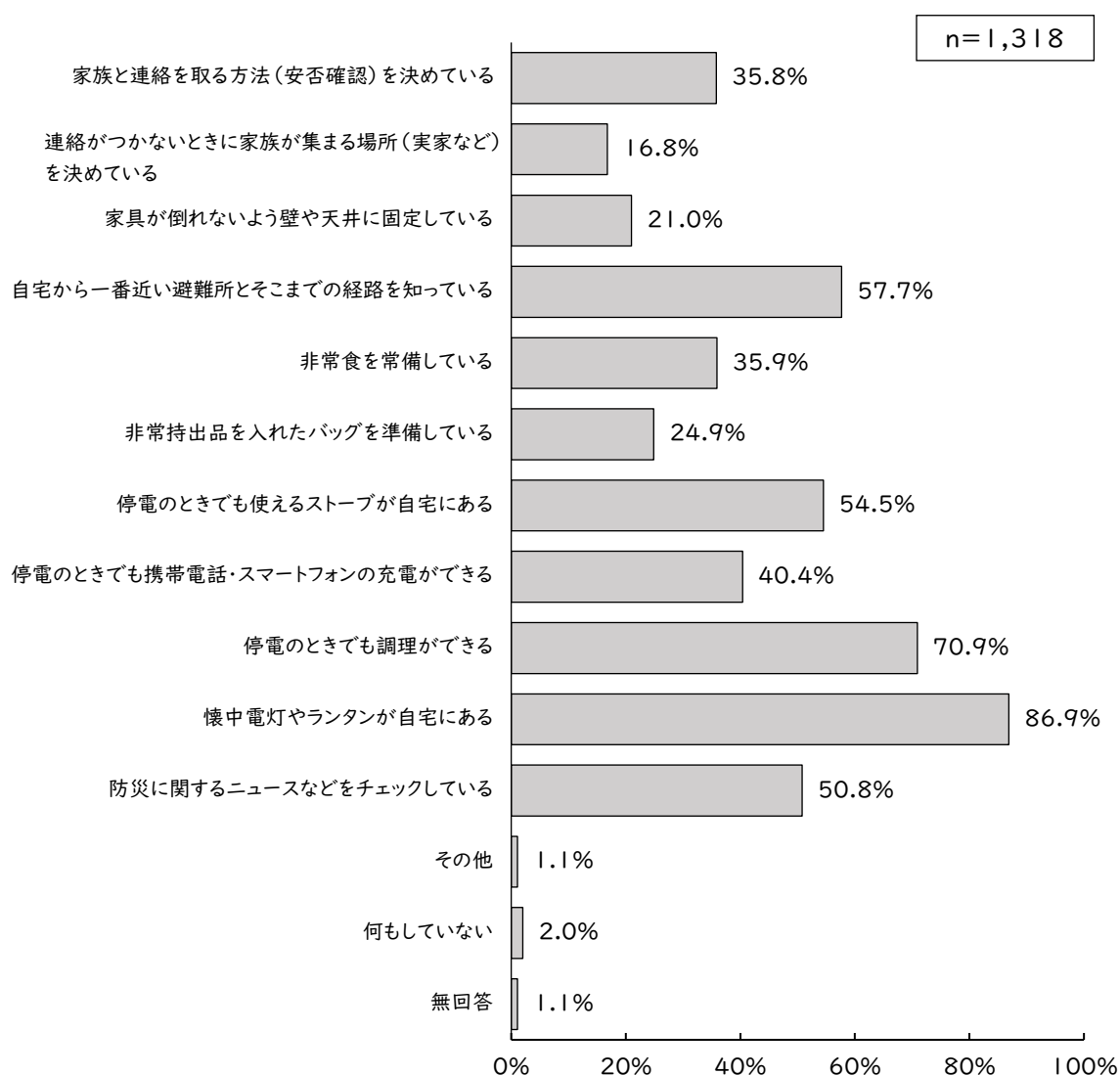
あなたのご家庭では、災害に対してどのような備えをしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

災害に対する備えについて、備えている割合が高い項目は、「懐中電灯やランタンが自宅にある」(86.9%)、「自宅が停電のときでも調理ができる」(70.9%)、「自宅から一番近い避難所とそこまでの経路を知っている」(57.7%)等となっています。

一方、備えている割合が低い項目は、「連絡がつかないときに家族が集まる場所(実家など)を決めている」(16.8%)、「家具が倒れないよう壁や天井に固定している」(21.0%)、「非常持出品を入れたバッグを準備している」(24.9%)等となっています。

また、2.0%の方は「何もしていない」と回答しています。

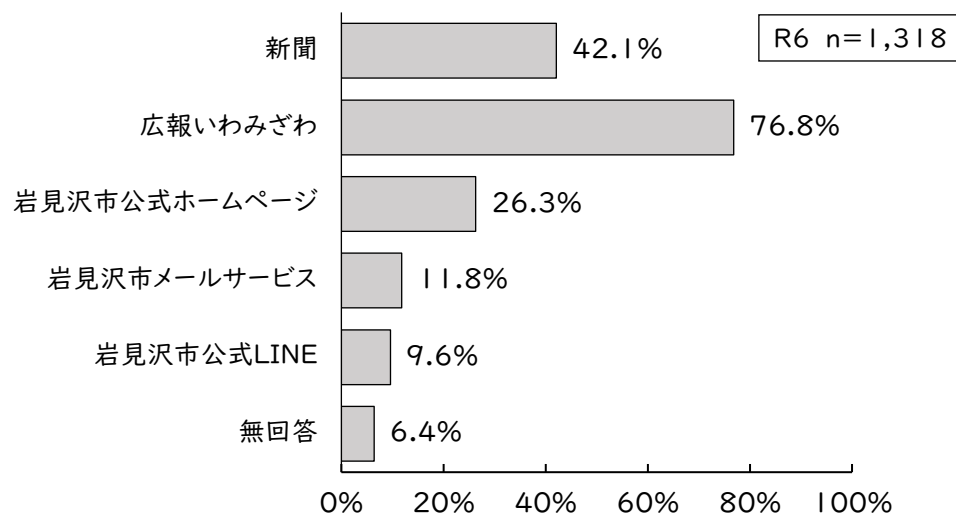


問 10 情報の入手方法やスマートフォンの利用状況についてうかがいます。

(1) 岩見沢市に関する情報をどこから入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

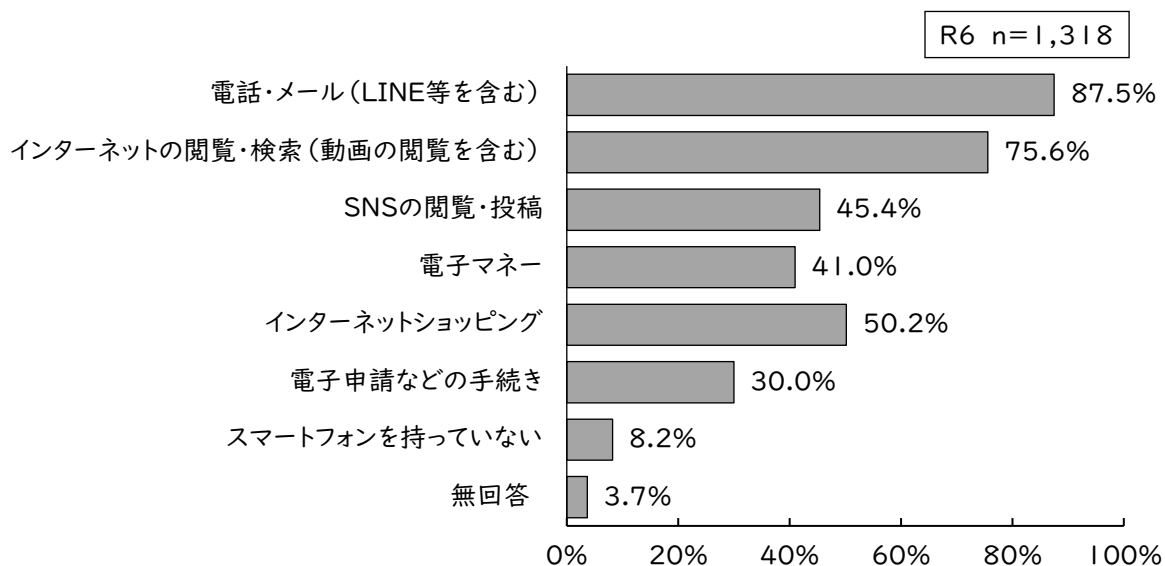
岩見沢市に関する情報の入手元では、「広報いわみざわ」が 76.8%で最も高く、次いで「新聞」の 42.1%、「岩見沢市公式ホームページ」の 26.3%と続いています



(2) スマートフォンをどんなことに使っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

スマートフォンの利用状況では、「電話・メール (LINE 等を含む)」が 87.5%で最も高く、次いで「インターネットの閲覧・検索 (動画の閲覧を含む)」の 75.6%、「インターネットショッピング」の 50.2%と続いています。



最後に、市政に対するご意見、ご提案等がございましたらご記入ください。

市政に対するご意見、ご提案等について、回答者全体の 33.8%にあたる 446 人の方からご回答をいただきました。

ご意見等の内容を分野別に分類すると、「雪対策」に関するご意見等が 108 件で最も多く、次いで「環境保全・都市基盤整備」が 80 件、「産業経済・交流」が 77 件、「行財政運営」が 67 件、「市民意識調査・その他」が 59 件となっています。

分野	件数	意見内容
雪対策	108 件	除雪体制の充実、間口の置き雪対策、丁寧な除排雪対応など
産業経済・交流	77 件	中心市街地・商店街の活性化、企業誘致、観光資源の活用、道の駅の設置、プレミアム商品券の発行など
行財政運営	67 件	行政情報の発信、税金の効果的な活用、窓口対応の改善、財政運営への懸念など
環境保全・都市基盤整備	80 件	道路の整備、ごみの分別・収集、公園遊具更新、公共施設の集積、未利用公有地の活用など
健康・福祉・医療	50 件	新病院の建設、市立病院の窓口対応の改善、低所得者層への支援など
子ども・教育・文化	44 件	子育て支援の充実・経済的負担の軽減、教育環境の整備、新設高校の魅力向上など
公共交通	52 件	バス交通等の利便性向上、新病院への交通アクセス、免許返納後の交通施策の検討など
移住・定住・人口減少	19 件	若者が魅力を感じる施策の推進、市の魅力の PR の強化など
防災・防犯・交通安全・地域コミュニティ	20 件	交通安全の強化、防犯対策の充実、町内会活動の改善など
市民意識調査・その他	59 件	今後の市政への期待・激励、調査内容、選挙、議会など
計	576 件	

【R3～計 536 件】

3 調査分析

(1) 重要項目の相関関係

本調査における重要項目である問 2 の「暮らしやすさ」、問 3 の「今後の定住意向」、問 4 の「転出意向※」、問 7 の「市の施策に対する総合的な満足度」、問 8 の「⑩岩見沢市に誇りや愛着を感じている」などの関係性について、相関係数による分析を行った結果は以下のとおりです。

相関係数とは、マイナス1から1の範囲内で示される値であり、値が1に近づくほど相関関係が強いことを意味します。

また、結果に対する有意検定（信頼性の高さの判定）では、いずれも「1%有意」となっており、同様の調査を100回実施した場合、99回は同じような結果が得られるほど信頼性の高い結果となっています。

※相関関係分析では、「転出回避」を表すようにデータを処理しています。

区分	暮らしやすさ	定住意向	転出回避	施策満足度	地域愛着
暮らしやすさ	1.000	0.485	0.315	0.456	0.539
定住意向		1.000	0.438	0.189	0.428
転出回避			1.000	0.142	0.298
施策満足度				1.000	0.389
地域愛着					1.000

（緑色が濃くなるほど相関関係が高いことを意味します。）

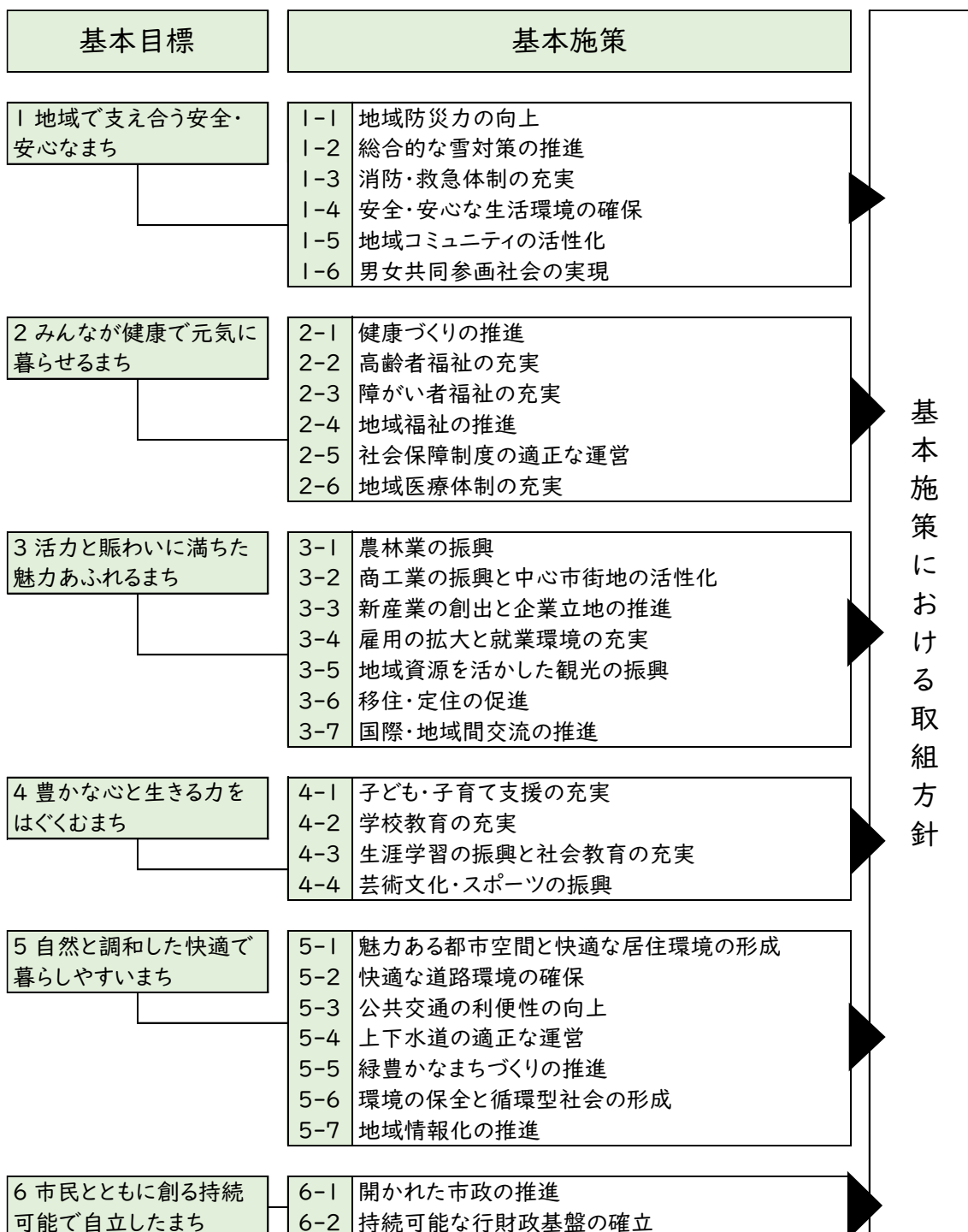
以上の分析結果から、「施策満足度」と「定住意向」、「施策満足度」と「転出回避」の間には、直接的な相関関係はほとんど見られませんでした。他の項目では、有意に相関関係があることが分かります。

特に「暮らしやすさ」と「地域愛着」には強い相関関係があり、また、「暮らしやすさ」と「施策満足度」、「暮らしやすさ」と「定住意向」も同様であることから、「施策満足度」を高め、まちの暮らしやすさを向上させることは定住意向の改善にも寄与するものと考えられます。

(2) 顧客満足度分析（CS分析）

「第6期岩見沢市総合計画（平成30年～令和9年）」を着実に推進するため、顧客満足度（Customer Satisfaction:CS）分析を用いて、「岩見沢市の施策に対する総合的な満足度」を高めるために優先的に改善すべき施策は何かという課題を明確にします。

【「第6期岩見沢市総合計画」における基本目標及び基本施策の体系】



CS分析では、総合計画における32の基本施策それぞれの満足度について、「十分満足している」、「まあ満足している」と回答した合計数の全回答数に対する割合を「満足率」として数値化するとともに、市の施策に対する総合的な満足度の向上に対する各基本施策の重要度を「相関係数」により数値化し、重要度が高いにも関わらず満足度が低い場合に高くなる指標値である「改善度」を示します。

CS分析に基づく基本施策の満足度、重要度及び改善度は以下のとおりです。

【基本施策の満足度、重要度及び改善度】

基本施策	満足度 (満足率:%)		重要度 (相関係数)		改善度	
	順位	指標	順位	指標	順位	指標
1-1 地域防災力の向上	14	15.8	30	0.506	24	▲7.44
1-2 総合的な雪対策の推進	1	37.6	31	0.484	31	▲29.55
1-3 消防・救急体制の充実	2	34.5	32	0.457	32	▲30.68
1-4 安全・安心な生活環境の確保	6	25.3	26	0.523	29	▲13.22
1-5 地域コミュニティの活性化	9	18.0	29	0.508	27	▲8.97
1-6 男女共同参画社会の実現	21	12.3	16	0.557	14	2.86
2-1 健康づくりの推進	3	31.9	25	0.524	30	▲18.80
2-2 高齢者福祉の充実	7	20.7	24	0.529	26	▲8.43
2-3 障がい者福祉の充実	12	16.7	28	0.509	25	▲7.75
2-4 地域福祉の推進	18	13.0	12	0.568	12	3.80
2-5 社会保障制度の適正な運営	15	15.5	15	0.564	19	1.10
2-6 地域医療体制の充実	11	17.1	14	0.566	20	▲0.06
3-1 農林業の振興	20	12.7	27	0.517	22	▲3.12
3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化	27	8.6	22	0.537	13	3.27
3-3 新産業の創出と企業立地の推進	30	6.8	17	0.556	8	7.55
3-4 雇用の拡大と就業環境の充実	32	5.9	20	0.543	9	6.40
3-5 地域資源を活かした観光の振興	26	10.1	21	0.540	18	2.43
3-6 移住・定住の促進	31	6.2	6	0.593	4	13.37
3-7 国際・地域間交流の推進	29	7.5	18	0.550	10	6.02
4-1 子ども・子育て支援の充実	13	16.1	8	0.589	11	4.08
4-2 学校教育の充実	16	15.4	4	0.627	6	10.06
4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実	19	12.8	5	0.618	5	11.10
4-4 芸術文化・スポーツの振興	10	17.8	7	0.590	16	2.75
5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	28	8.0	3	0.659	2	21.16
5-2 快適な道路環境の確保	8	20.1	11	0.576	21	▲1.18
5-3 公共交通の利便性の向上	25	10.2	19	0.544	15	2.83
5-4 上下水道の適正な運営	5	26.7	23	0.535	28	▲12.85
5-5 緑豊かなまちづくりの推進	4	27.8	10	0.581	23	▲7.23
5-6 環境の保全と循環型社会の形成	17	14.3	13	0.566	17	2.44
5-7 地域情報化の推進	24	10.6	9	0.584	7	8.25
6-1 開かれた市政の推進	22	11.9	2	0.661	3	18.03
6-2 持続可能な行財政基盤の確立	23	11.0	1	0.682	1	21.78

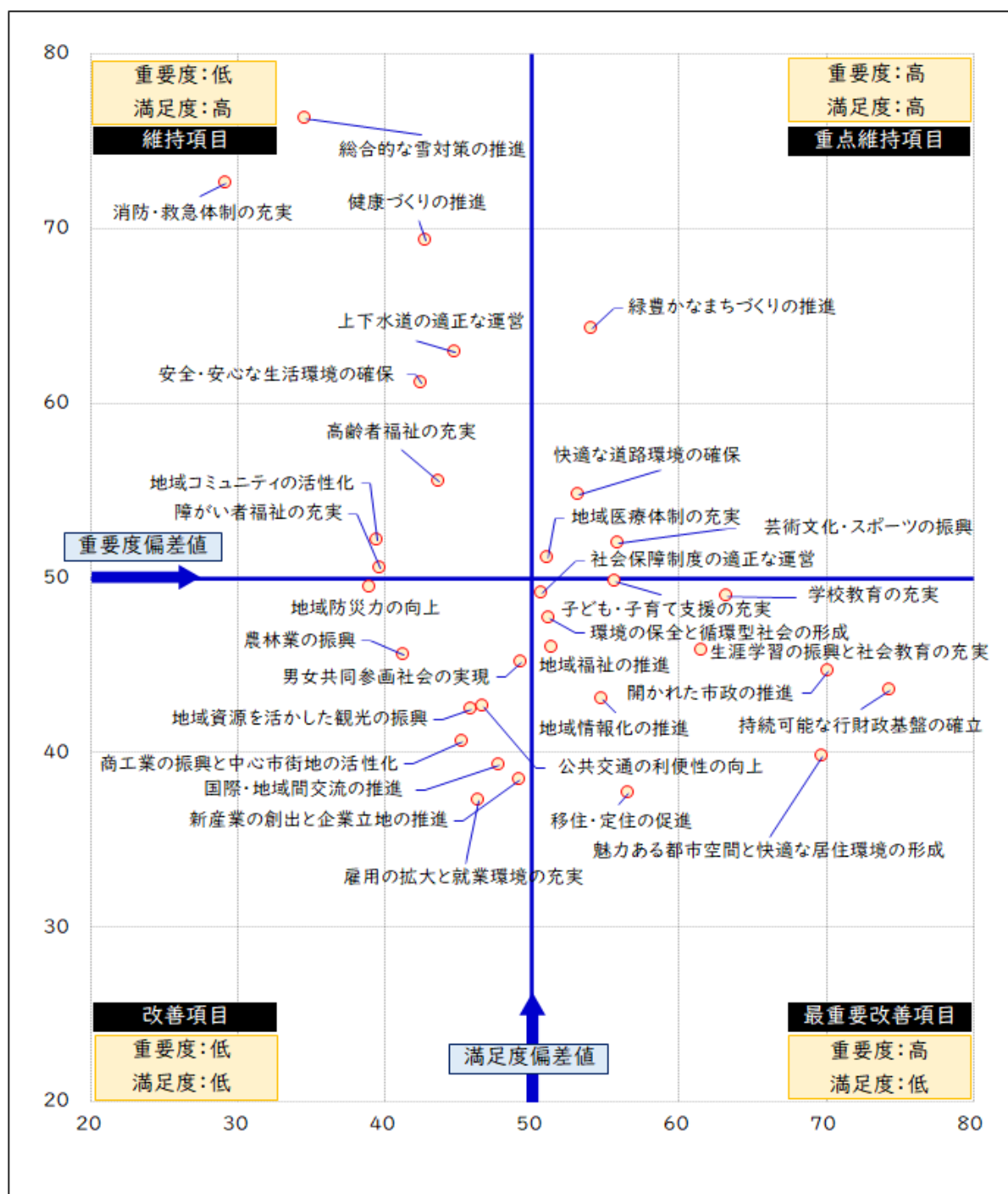
※「満足度」はアンケート調査(問 7)における「十分満足」と「まあ満足」の回答の計が回答全体に占める割合。

無回答を除外しているため、問 7 の調査結果とは割合が異なる。

改善の必要性の高い基本施策を明確に示すため、CS分析に基づく32の基本施策の満足率と重要度を偏差値で表し、分布図で示した場合は、以下のような結果になります。

図の右下のエリアに分布する項目が、相対的にみて重要度が高いにもかかわらず満足度が低い基本施策であり、優先的に改善すべき基本施策となります。

【各基本施策の満足度と重要度による分布図】



(3) 各基本施策の満足度分析

①年齢区分別の満足度分析

CS分析に基づく改善の必要性が高い順に年齢区分別の満足度分析を行います。

また、各基本施策の特性に応じて、家族構成や普段の生活、関心などの状況と施策に対する満足度の関係性について分析を行います。

【年齢区分別の改善度の順位】

基本施策	改善度の順位(年齢別)			
	全体	ヤング 39 歳以下	ミドル 40-64 歳	シニア 65 歳以上
6-2 持続可能な行財政基盤の確立	1 位	2 位	1 位	3 位
5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	2 位	1 位	2 位	2 位
6-1 開かれた市政の推進	3 位	4 位	3 位	1 位
3-6 移住・定住の促進	4 位	3 位	7 位	4 位
4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実	5 位	5 位	4 位	9 位
4-2 学校教育の充実	6 位	6 位	6 位	8 位
5-7 地域情報化の推進	7 位	14 位	10 位	7 位
3-3 新産業の創出と企業立地の推進	8 位	9 位	8 位	12 位
3-4 雇用の拡大と就業環境の充実	9 位	8 位	5 位	19 位
3-7 国際・地域間交流の推進	10 位	18 位	12 位	6 位
4-1 子ども・子育て支援の充実	11 位	11 位	22 位	10 位
2-4 地域福祉の推進	12 位	17 位	9 位	17 位
3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化	13 位	12 位	15 位	18 位
1-6 男女共同参画社会の実現	14 位	7 位	16 位	20 位
5-3 公共交通の利便性の向上	15 位	13 位	17 位	16 位
4-4 芸術文化・スポーツの振興	16 位	20 位	13 位	15 位
5-6 環境の保全と循環型社会の形成	17 位	21 位	21 位	11 位
3-5 地域資源を活かした観光の振興	18 位	15 位	18 位	13 位
2-5 社会保障制度の適正な運営	19 位	10 位	11 位	26 位
2-6 地域医療体制の充実	20 位	16 位	14 位	22 位
5-2 快適な道路環境の確保	21 位	22 位	26 位	14 位
3-1 農林業の振興	22 位	19 位	23 位	21 位
5-5 緑豊かなまちづくりの推進	23 位	29 位	29 位	5 位
1-1 地域防災力の向上	24 位	24 位	19 位	25 位
2-3 障がい者福祉の充実	25 位	28 位	25 位	23 位
2-2 高齢者福祉の充実	26 位	27 位	20 位	27 位
1-5 地域コミュニティの活性化	27 位	23 位	24 位	28 位
5-4 上下水道の適正な運営	28 位	30 位	28 位	24 位
1-4 安全・安心な生活環境の確保	29 位	25 位	27 位	29 位
2-1 健康づくりの推進	30 位	26 位	30 位	31 位
1-2 総合的な雪対策の推進	31 位	32 位	32 位	30 位
1-3 消防・救急体制の充実	32 位	31 位	31 位	32 位

※各区分上位 6 位まで網掛け

改善度	1位(前回)→1位/32施策 (21.78)	満足度	25位→23位/32施策(11.0%)
		重要度	1位→1位/32施策(0.682)
施策名	6-2 持続可能な行財政基盤の確立		

【施策の概要】

施策・事務事業の不断の見直しを通じた経営資源の最適配分や財政の健全化、公共施設の適正配置、行政組織の再構築といった行財政改革の取組みをさらに進めることにより、持続可能な行財政基盤の確立を図ります。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中23位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中最上位であるため、改善度が1位となっています。

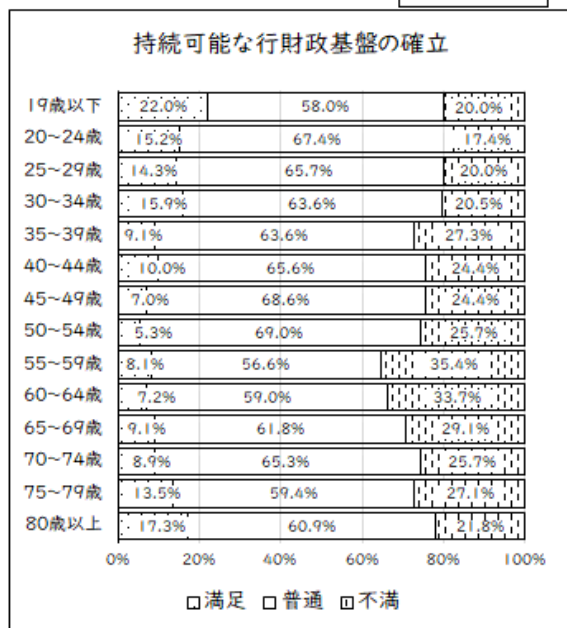
年齢区分別では、19歳以下を除く各年齢層で不満の回答が満足の回答を上回っており、前回同様、55～59歳において不満の割合が高くなっています。

不満の回答に対する満足の回答比は0.45倍であり、持続可能な財政運営に対する不安感が表れています。

設問8の「②岩見沢市の市政や財政運営に関心がある」との関係性では、市の財政運営に対する関心が高くなるほど満足度が向上する傾向も見られることから、さらなる行政改革の推進とともに、財政の健全性に関する積極的な情報発信が必要と考えられます。

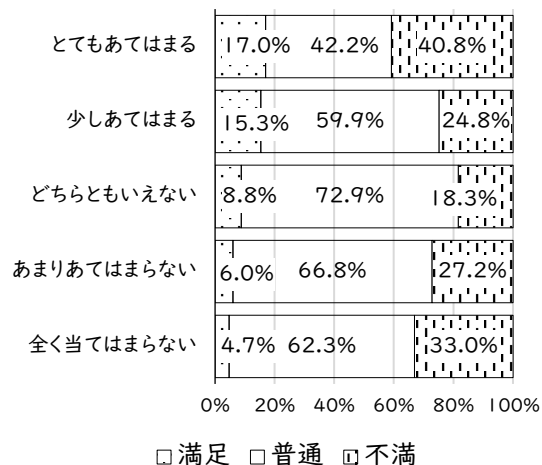
■年齢区分別の満足度の状況

n= 1,276



不満に対する満足の回答比 0.45倍

設問8「②岩見沢市の市政や財政運営に関心がある」との関係性



改善度	2 位(前回)→2 位/32 施策 (21.16)	満足度	25 位→28 位/32 施策(8.0%)
		重要度	2 位→3 位/32 施策(0.659)
施策名	5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成		

【施策の概要】

市民一人ひとりが安全で快適な生活を実感できるよう、利便性の高い市街地を形成することにより、まちの魅力や住みよさの向上を図ります。

また、市営住宅の維持管理や更新・長寿命化を計画的に進めるとともに、既存の住宅の耐震化や空家等対策に取り組むことにより、快適な居住環境の形成を推進します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 28 位と前回調査に比べてやや下がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は 32 施策中 3 位と上位であるため、改善度が 2 位となっています。

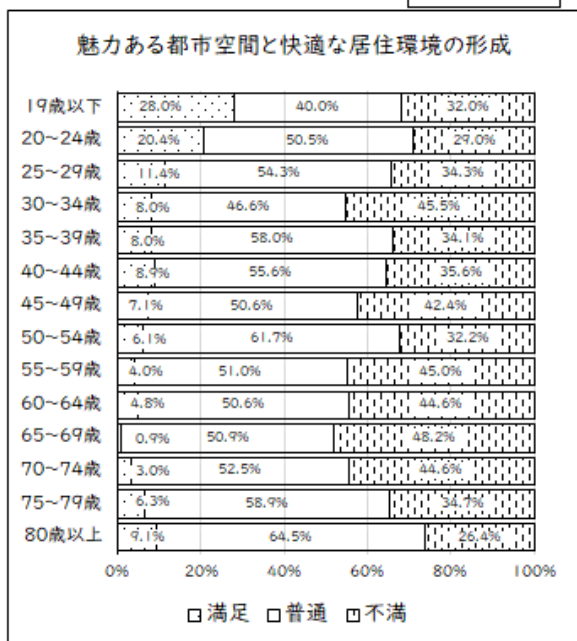
年齢区分別では、前回調査に比べると 24 歳以下の満足度は向上しているものの、どの年齢層も不満の割合が高く、特に 65～69 歳において不満の割合が高くなっています。

不満の回答に対する満足の回答比は 0.22 倍であり、不満の回答が満足の回答を大きく上回っています。

設問 8 の「⑨岩見沢市に誇りや愛着を感じている」との関係性では、誇りや愛着を感じているほど満足度は高くなることから、市街地における利便性やまちの魅力向上に取り組むことが定住意向の改善にもつながると考えられます。

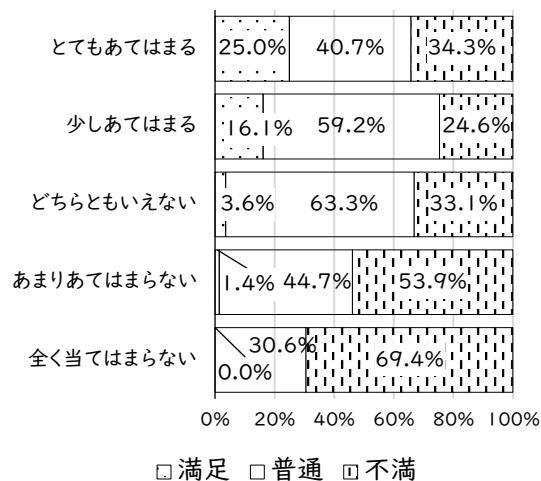
■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,278



不満に対する満足の回答比 0.22倍

設問8「⑨岩見沢市に誇りや愛着を感じている」との関係性



改善度	4 位(前回)→3 位/32 施策 (18.03)	満足度	19 位→22 位/32 施策(11.9%)
		重要度	3 位→2 位/32 施策(0.661)
施策名	6-1 開かれた市政の推進		

【施策の概要】

市民主体による自主自立のまちづくりに向け、様々な媒体やメディアを活用した積極的な行政情報の発信に努めるとともに、市民が市政に対して意見・提言することのできる機会の充実を図ることにより、誰もが市政に参画できる環境づくりを推進します。

【満足度の分析】

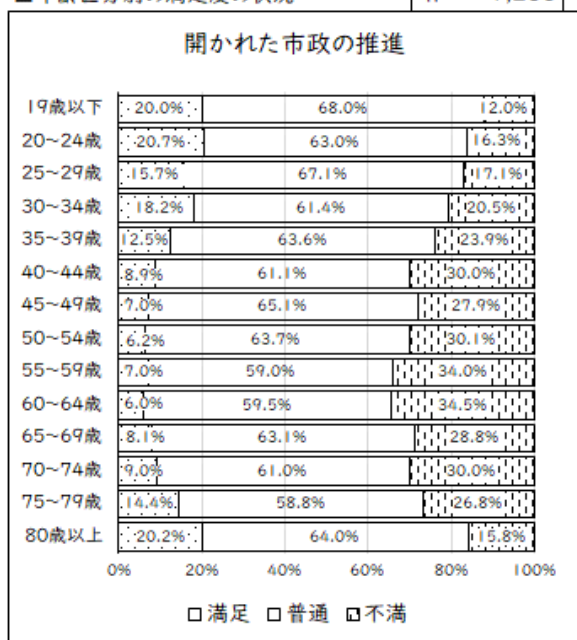
施策に対する「満足度」は 32 施策中 22 位と前回調査に比べてやや下がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）は 32 施策中 2 位であるため、改善度が 3 位となっています。

年齢区分別では、35 歳から 79 歳では満足の割合が低い傾向にあるものの、24 歳以下では満足の割合が相対的に高く、年齢が高くなるにつれて不満が高くなる傾向にあります。

不満の回答に対する満足の回答比は 0.48 倍であり、不満の回答が満足の回答を上回っています。

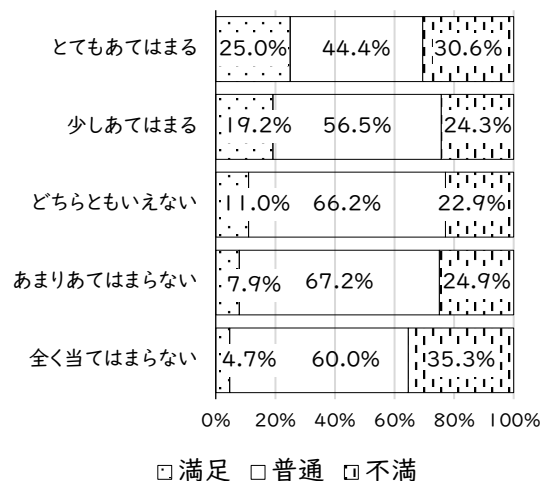
設問 8 の「⑩市民が参画するまちづくりに関心がある」との関係性では、市政への参画に対する関心が高くなると、満足度も高くなる傾向にあることから、広報誌やコミュニティ FM、ホームページ、SNS 等の様々な媒体を活用した行政情報の積極的かつ効果的な発信を行うとともに、幅広い世代が市政に参画できる仕組みづくりが必要と考えられます。

■年齢区分別の満足度の状況 n = 1,283



不満に対する満足の回答比 0.48倍

設問8「⑩市民が参画するまちづくりに関心がある」との関係性



改善度	8 位(前回)→4 位/32 施策 (13.37)	満足度	30 位→31 位/32 施策(6.2%)
		重要度	16 位→6 位/32 施策(0.593)
施策名	3-6 移住・定住の促進		

【施策の概要】

将来にわたって地域の活力を維持・発展させるため、市内在住者の定着と市外からの移住の促進に向けた住宅、就業、結婚、子育て等の多様な施策を展開するとともに、本市の魅力や優位性を効果的に発信するため、シティプロモーションの取組みを推進します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 31 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)が 32 施策中 6 位と上位であるため、改善度が 4 位となっています。

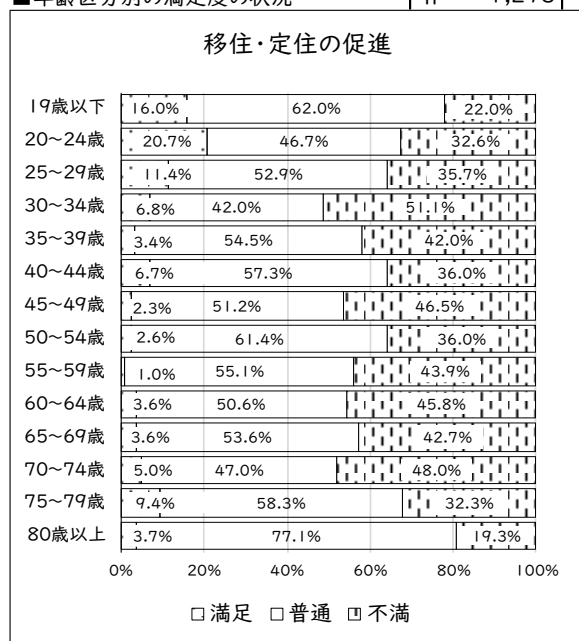
年齢区分別では、全体的に不満の割合が高く、その傾向は前回とほぼ同様となっています。

不満の回答に対する満足の回答比は 0.17 倍であり、不満の回答が満足の回答を大きく上回っている特徴があります。

設問 8 の「⑨岩見沢市に誇りや愛着を感じている」との関係性では、誇りや愛着を感じているほど満足度は高くなり、また、「設問 2 岩見沢市は暮らしやすいまちだと思いますか」、「②家庭や職場以外に、大切にしている場所(居場所)が市内にある」との関係性においても同様の傾向であるため、まちの利便性や魅力向上を図るとともに「シティプロモーション」により、市外居住者も含めた多くの方に市への関心を高めてもらう必要があると考えられます。

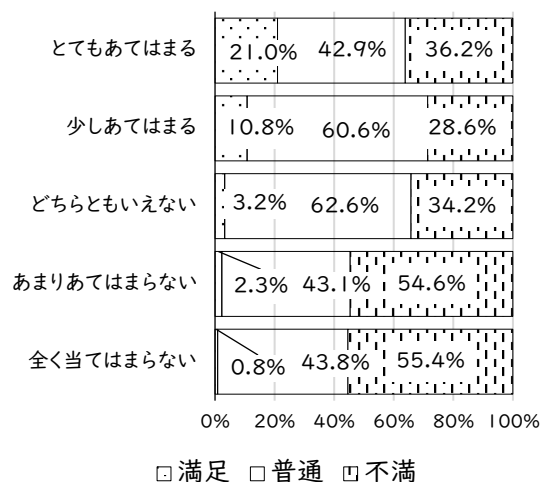
■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,273



不満に対する満足の回答比 0.17倍

設問8「⑨岩見沢市に誇りや愛着を感じている」との関係性



改善度	13 位(前回)→5 位 / 32 施策 (11.10)	満足度	17 位→19 位 / 32 施策 (12.8%)
		重要度	11 位→5 位 / 32 施策 (0.618)
施策名	4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実		

【施策の概要】

市民の誰もがそれぞれの関心に応じて自由に学ぶことができるよう、多様なニーズに対応した学習機会や情報の提供を行うとともに、生涯学習センターや図書館等の施設について、適切な維持管理と利便性の向上に努めます。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中19位と前回調査に比べて下がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）は32施策中5位と上位であるため、改善度が5位となっています。

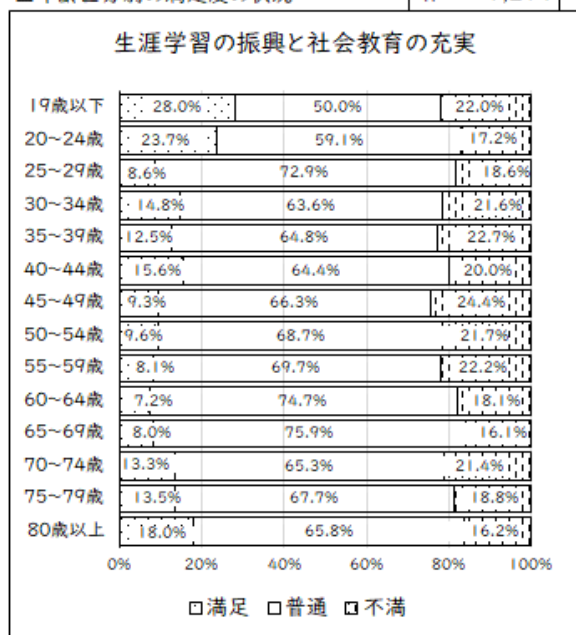
年齢区分別では、24歳以下の満足度が比較的高い傾向にあります。

不満の回答に対する満足の回答比は0.66倍であり、不満の回答が満足の回答を上回っています。

設問8の「⑩日頃から、趣味、教養、学習、文化活動等を行っている」との関係性では、前回同様、日頃から活動等を行っている方が満足度は高くなる傾向にあることから、市民ニーズの把握に努めながら、多様な学習機会を提供するとともに、主体的に学ぶことのできる学習環境の充実や情報発信に努める必要があると考えられます。

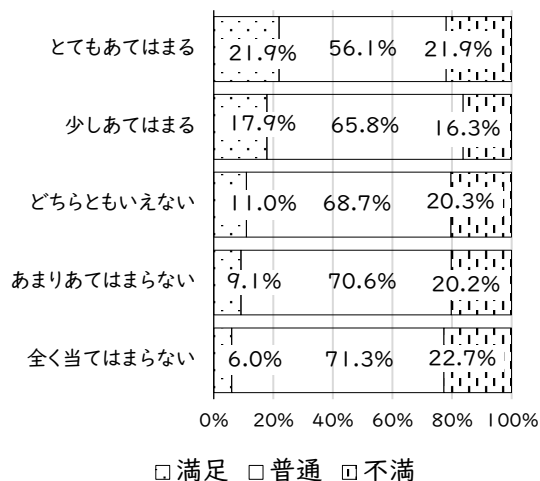
■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,279



不満に対する満足の回答比 0.66倍

設問8「⑩日頃から、趣味、教養、学習、文化活動等を行っている」との関係性



改善度	17位(前回)→6位/32施策 (10.06)	満足度	11位→16位/32施策(15.4%)
		重要度	9位→4位/32施策(0.627)
施策名	4-2 学校教育の充実		

【施策の概要】

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育み、郷土に誇りと愛着をもった子どもを育てるため、一人ひとりの個性を活かし、能力を伸ばす学校教育を推進するとともに、安心して学ぶことのできる指導体制や教育環境の充実に努めます。

【満足度の分析】

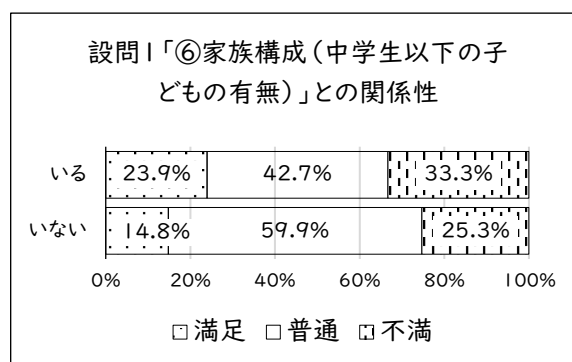
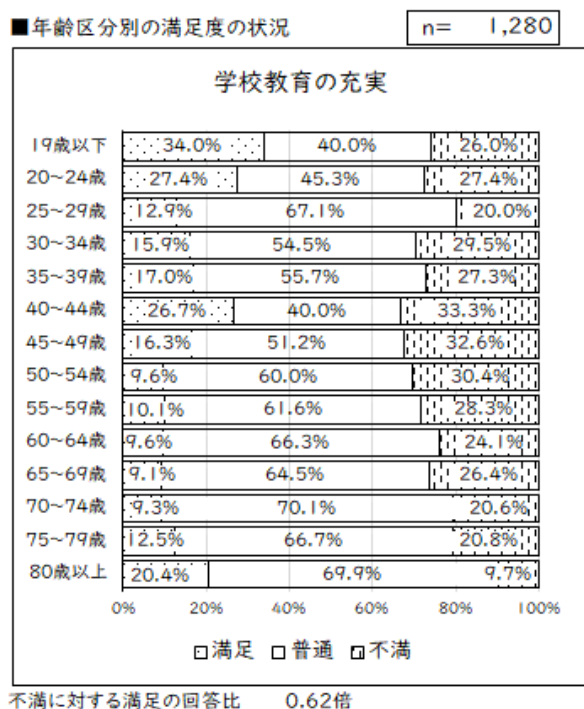
施策に対する「満足度」は32施策中16位と前回調査に比べて下がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)も32施策中4位と上位であるため、改善度が6位となっています。

年齢区分別では、49歳以下の満足度は一定程度あるものの、どの年齢層でも不満の割合が比較的高い傾向にあります。

不満の回答に対する満足の回答比は0.62倍であり、前回調査と比較して不満の回答が増加しています。

家族に中学生以下の子どもがいる場合では、いない場合と比較して満足度が約1.6倍となりますが、普通の回答の割合が減り、不満の割合も若干高くなります。

中学生以下の子どもがいる家庭においては、満足度が2割以上となっており、安心して学べる教育環境の充実などの取組みに対して一定程度の評価が得られているものと考えられますが、重要度の高い施策であり、引き続き、確かな学力の定着と向上を図るとともに、社会の変化に対応した教育の充実に努める必要があると考えられます。



改善度	3 位(前回)→7 位/32 施策 (8.25)	満足度	23 位→24 位/32 施策(10.6%)
		重要度	4 位→9 位/32 施策(0.584)
施策名	5-7 地域情報化の推進		

【施策の概要】

本市の特性である高度 ICT 基盤のもと、市民や企業のニーズを把握し、産業、教育・子育て、健康・医療・福祉、防災・安全・安心等の様々な分野における地域課題の解決に向けた施策を展開することにより、市民生活の質の向上と地域経済の活性化を目指します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 24 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は 32 施策中 9 位と上位であるため、改善度が 7 位となっています。

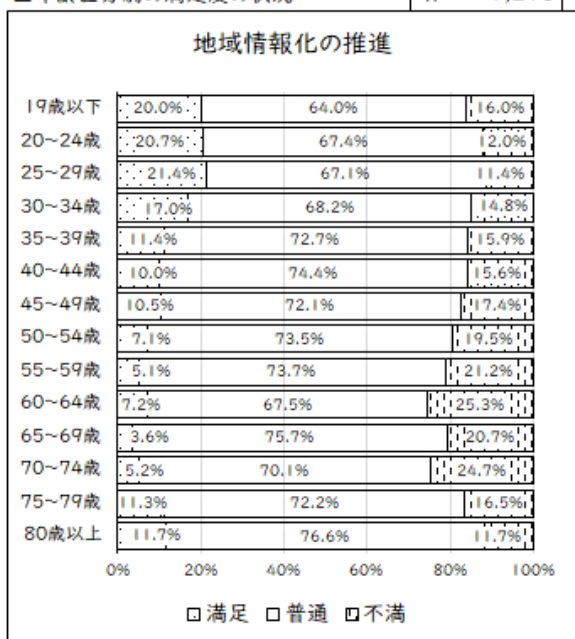
年齢区分別では、29 歳以下の満足度が相対的に高いものの、年齢が高くなるにつれて不満の割合が高くなる傾向にあります。

不満の回答に対する満足の回答比は 0.63 倍であり、不満の回答が満足の回答を上回っています。

設問 8「②市政や財政運営に関心がある」との関係性では、関心が高くなると満足度も高くなる傾向にあるため、岩見沢市の強みである高度 ICT 基盤を最大限に活用し、行政サービスをはじめ、産業や教育、子育て、健康、医療など様々な分野でデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進するとともに、積極的な情報発信にも努める必要があります。

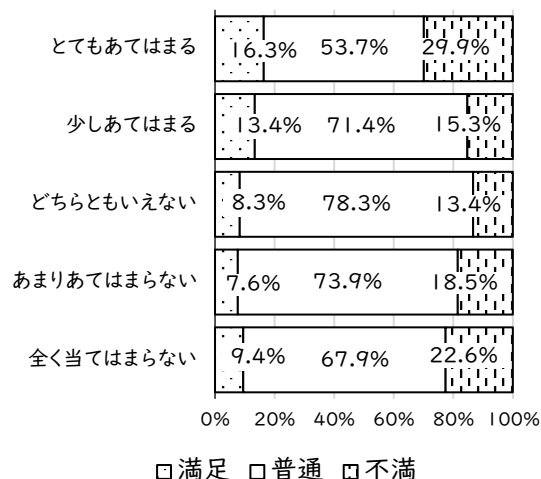
■年齢区分別の満足度の状況

n= 1,275



不満に対する満足の回答比 0.63倍

設問8「②市政や財政運営に関心がある」との関係性



改善度	7 位(前回)→8 位/32 施策 (7.55)	満足度	32 位→30 位/32 施策(6.8%)
		重要度	19 位→17 位/32 施策(0.556)
施策名	3-3 新産業の創出と企業立地の推進		

【施策の概要】

地域経済の活性化と魅力ある雇用の拡大を図るため、高度 ICT 基盤をはじめとする地域資源を最大限活用し、成長分野における新産業の創出や新分野進出に取り組むとともに、企業立地の推進と集積を図ります。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 30 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）も 32 施策中 17 位と中位であるため、改善度が 8 位となっています。

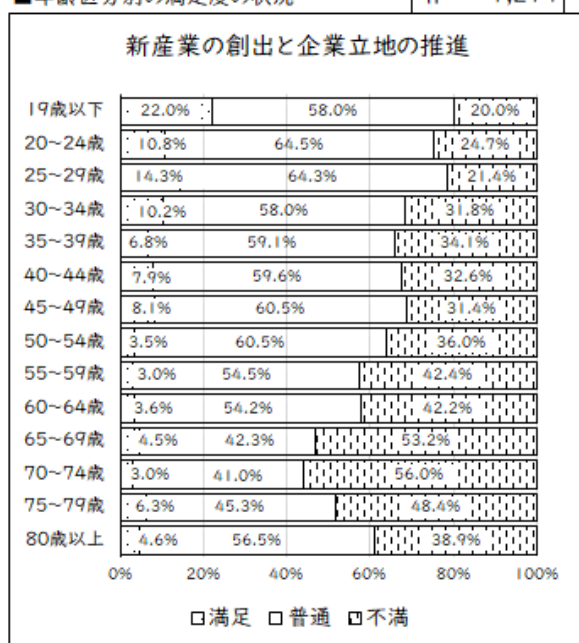
年齢区分別では、全体的に不満の割合が高く、年齢が高くなるにつれて不満の割合が大きくなる傾向にあり、前回調査とほぼ同様となっています。

不満の回答に対する満足の回答比は 0.19 倍で 32 施策中 30 位であり、不満の回答が満足の回答を大きく上回っている特徴があります。

設問 3 の「今後の定住意向」との関係性では、定住意向が強くなると、不満の割合は若干低下する傾向にあります。

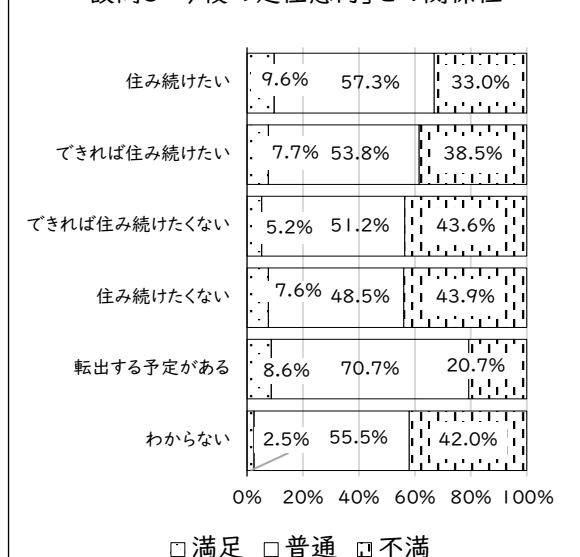
満足度が下位の施策であり、地域の特性や地域資源を活かした新産業創出に向けた戦略的な取組や企業のニーズに沿った支援策の提案や情報提供を行うなど、戦略的な誘致活動を展開する必要があると考えられます。

■年齢区分別の満足度の状況 n= 1,274



不満に対する満足の回答比 0.19倍

設問3「今後の定住意向」との関係性



改善度	5 位(前回)→9 位/32 施策 (6.40)	満足度	31 位→32 位/32 施策(5.9%)
		重要度	15 位→20 位/32 施策(0.543)
施策名	3-4 雇用の拡大と就業環境の充実		

【施策の概要】

関係機関や事業者との連携により安定した雇用を確保するとともに、高度 ICT 基盤も活用した企業誘致や新分野進出、創業支援等による新しい雇用の創出を図ります。

また、若者や女性、高齢者、障がい者など働く意欲のあるすべての市民が安心して働くことができる就業環境の充実を目指します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 32 位と最下位となっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)も 32 施策中 20 位と中位であるため、改善度が 9 位となっています。

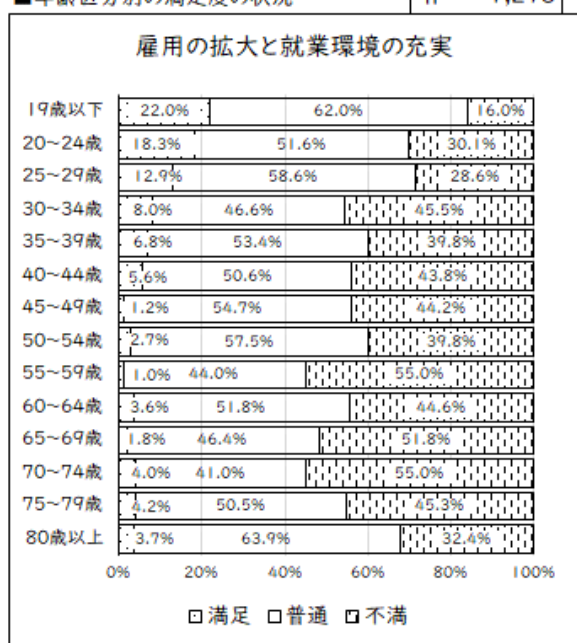
年齢区分別では、19 歳以下を除き、不満の割合が顕著に表れています。

不満の回答に対する満足の回答比は 0.15 倍と 32 施策中最低であり、不満の回答が満足の回答を大きく上回っている特徴があります。

設問 3 の「今後の定住意向」との関係性においても、不満の割合が高いほど定住意向も低くなり、その傾向は前回同様となっています。

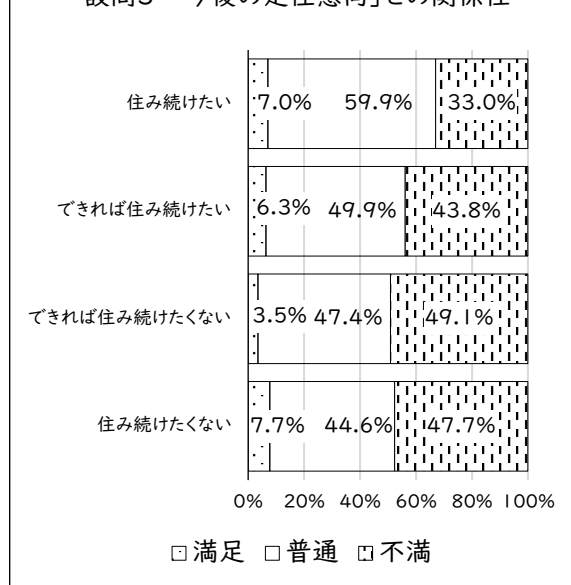
前回調査に引き続き満足度は低く、年齢層が高くなるにつれて不満が高まる傾向にあることから、市の取り組みだけではなく、関係機関や企業とも連携を図りながら、雇用機会の拡大と働き方の変化にも対応した就業環境の充実に取り組む必要があると考えられます。

■年齢区分別の満足度の状況 n = 1,273



不満に対する満足の回答比 0.15倍

設問3 「今後の定住意向」との関係性



改善度	22 位(前回)→10 位/32 施策 (6.02)	満足度	29 位→29 位/32 施策(7.5%)
		重要度	32 位→18 位/32 施策(0.550)
施策名	3-7 国際・地域間交流の推進		

【施策の概要】

海外の姉妹都市との交流活動の推進を通じた国際感覚の醸成や多文化への理解の促進を図るとともに、市内在住の外国人や観光客が快適に過ごすことができるような共生のまちづくりを推進します。

また、国内の都市間交流を深め、地域間連携の強化や交流人口の増加を図ります。

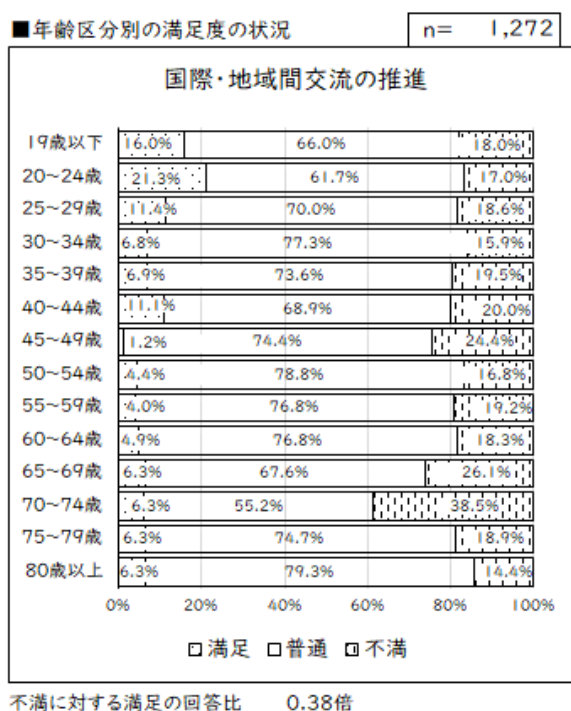
【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 29 位と前回調査と同様ですが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)も 32 施策中 18 位と中位にあるため、改善度が 10 位となっています。

年齢区分別では、24 歳以下を除き、不満の割合が高い傾向にあります。

不満の回答に対する満足の回答比は 0.38 倍であり、不満の回答が満足の回答を上回っています。

20 歳から 24 歳以下の満足度が比較的高い一方、高齢者の不満は高いことから国際交流事業などを通じて、次代を担う子どもたちをはじめ、市民の多文化理解や国際感覚の醸成を図る必要があると考えられます。



改善度	20 位(前回)→11 位/32 施策 (4.08)	満足度	13 位→13 位/32 施策(16.1%)
		重要度	17 位→8 位/32 施策(0.589)
施策名	4-1 子ども・子育て支援の充実		

【施策の概要】

結婚から妊娠・出産・子育てにいたる切れ目のない支援の充実を図るとともに、地域全体で子どもの健やかな成長や子育てを支えていくための総合的な環境整備を推進します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 13 位と前回調査と同様ですが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は 32 施策中 8 位と上位であるため、改善度が 11 位となっています。

年齢区分別では、49 歳以下の満足度は一定程度あるものの、不満の割合も比較的高い傾向にあります。

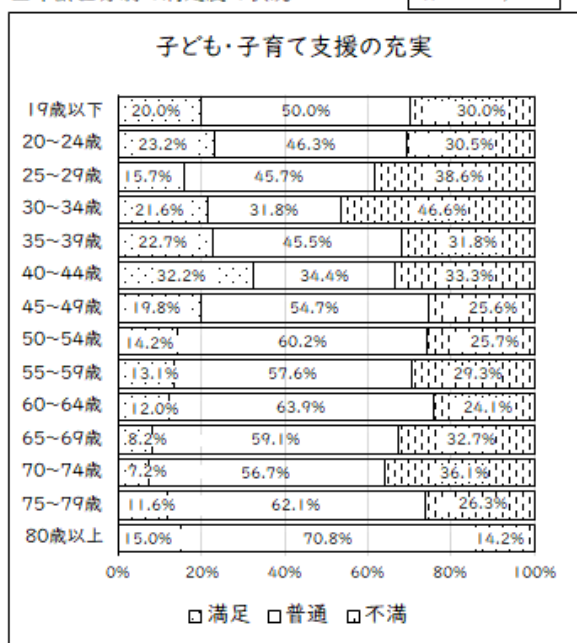
不満の回答に対する満足の回答比は 0.55 倍であり、不満の回答が満足の回答を上回っています。

家族に中学生以下の子どもがいる場合では、いない場合と比較して満足度が 2 倍以上となりますが、普通の回答の割合が減り、不満の割合も若干高くなります。

中学生以下の子どもがいる家庭においては、満足度が 3 割以上となっており、子育てを支える環境の整備や相談体制の充実などの取組みに対して一定程度の評価が得られているものと考えられますが、重要度の高い施策であり、引き続き子育ての不安や負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりに努める必要があると考えられます。

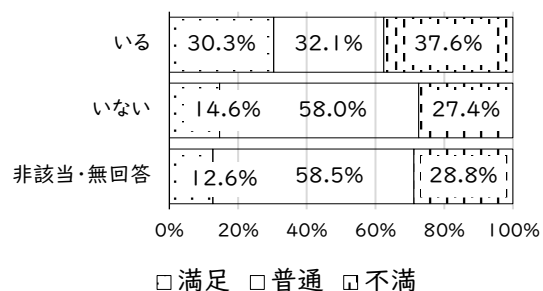
■年齢区分別の満足度の状況

n= 1,277



不満に対する満足の回答比 0.55倍

設問Ⅰ「⑥家族構成(中学生以下の子どもの有無)」との関係性



改善度	12位(前回)→12位/32施策 (3.80)	満足度	20位→18位/32施策(13.0%)
		重要度	10位→12位/32施策(0.568)
施策名	2-4 地域福祉の推進		

【施策の概要】

支え合いの精神に基づく地域福祉への意識醸成を図るとともに、担い手の育成や、福祉・保健・医療・介護・教育等の分野間の協働による地域福祉を推進します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中18位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）も32施策中12位と中位であるため、改善度が12位となっています。

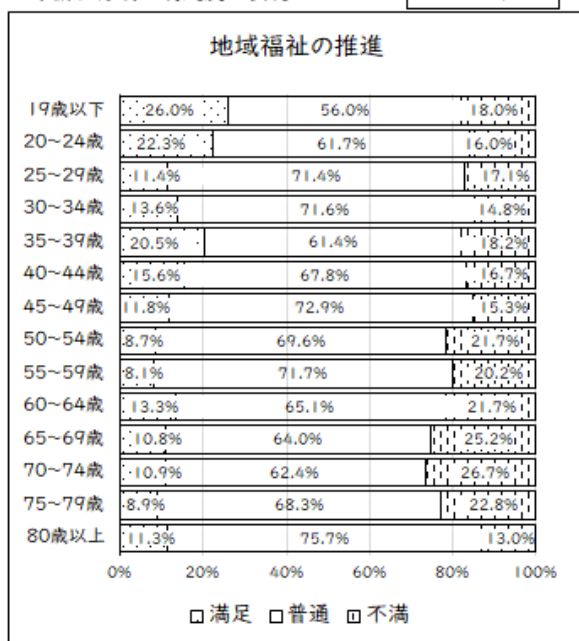
年齢区分別では、24歳以下、35歳から39歳での満足度が相対的に高い傾向にある一方、50～79歳では不満の割合が高くなっています。

不満の回答に対する満足の回答比は0.69倍であり、不満の回答が満足の回答を若干上回っています。

設問8の「⑧ある程度、親しくしている人が隣近所にいる」との関係性では、いると回答した人ほど、満足度も高くなる傾向にあり、また、「⑩ボランティア・NPO・市民活動を行っている」との関係性においても同様の傾向であるため、地域コミュニティの活性化を図りながら、地域福祉の理解を深めるための情報発信や啓発、福祉活動の担い手の育成・確保を図ることも必要と考えられます。

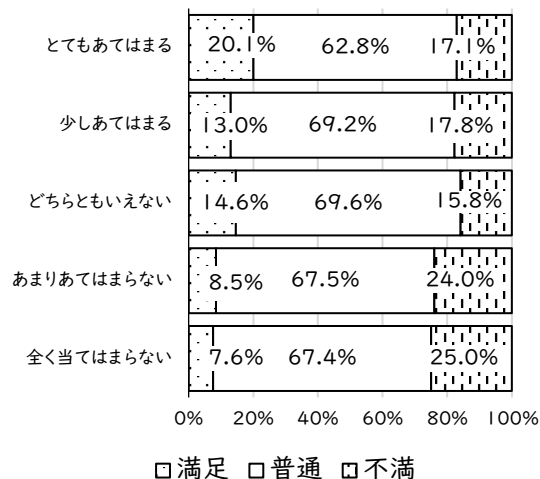
■年齢区分別の満足度の状況

n= 1,290



不満に対する満足の回答比 0.69倍

設問8「⑧ある程度、親しくしている人が隣近所にいる」との関係性



改善度	10 位(前回)→13 位/32 施策 (3.27)	満足度	28 位→27 位/32 施策(8.6%)
		重要度	20 位→22 位/32 施策(0.537)
施策名	3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化		

【施策の概要】

中小企業者における経営基盤の強化、人材育成、創業や新事業展開等に向けた取組みを関係機関とも連携して支援することにより、地域経済の活性化を図ります。

また、商業者や関係団体が行う集客・販売促進事業を支援するとともに、中心市街地の活性化に向けた賑わいの創出や都市機能の集積、居住者の誘導等を推進します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 27 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）も 32 施策中 22 位と下位であるため、改善度が 13 位となっています。

年齢区分別では、全体的に不満の割合が高く、前回とほぼ同様の傾向となっています。

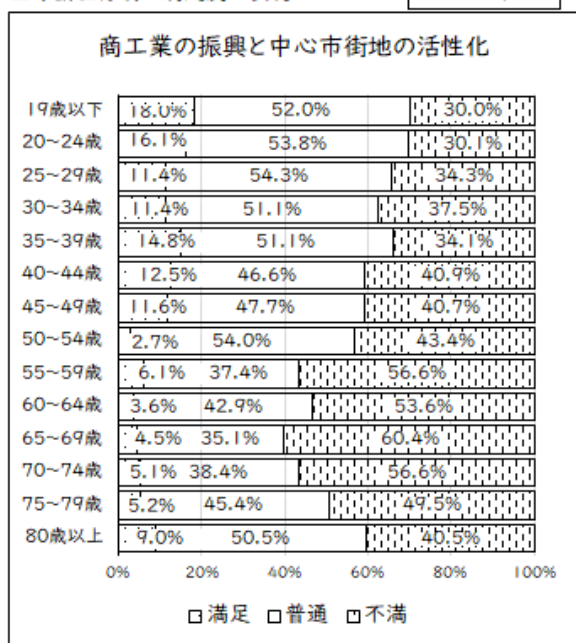
不満の回答に対する満足の回答比は 0.2 倍であり、不満の回答が満足の回答を大きく上回っている特徴があります。

設問 8 の「⑨岩見沢市に誇りや愛着を感じている」との関係性では、誇りや愛着を感じているほど満足度は高くなる傾向にあります。

満足度は下位の施策であり、生産性の向上や人材育成といった多様な経営課題に対する相談等や創業支援のほか、中心市街地における交流拠点を活用した賑わいの創出などに取組む必要があると考えられます。

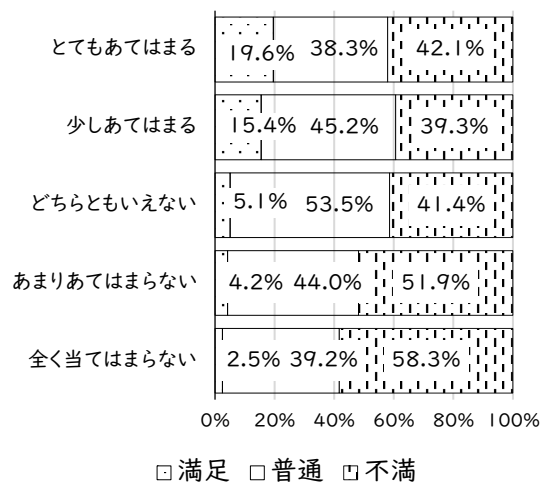
■年齢区分別の満足度の状況

n= 1,277



不満に対する満足の回答比 0.20倍

設問8「⑨岩見沢市に誇りや愛着を感じている」との関係性



改善度	16 位(前回)→14 位/32 施策 (2.86)	満足度	22 位→21 位/32 施策(12.3%)
		重要度	24 位→16 位/32 施策(0.557)
施策名	1-6 男女共同参画社会の実現		

【施策の概要】

男女が性別にかかわらず社会のあらゆる分野に参画し、その個性と能力が十分発揮できる男女参画社会の実現に向け、普及・啓発や環境づくりを推進します。

【満足度の分析】

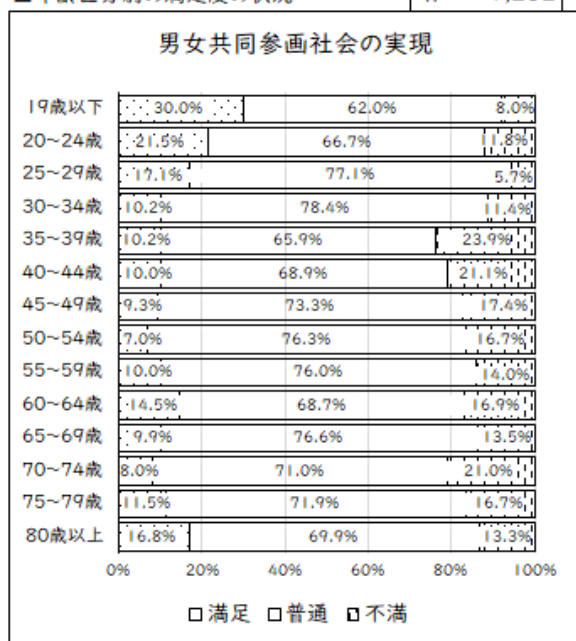
施策に対する「満足度」は 32 施策中 21 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）は 32 施策中 16 位と中位であるため、改善度が 14 位となっています。

年齢区分別では、24 歳以下の満足度がやや高い傾向にあります。

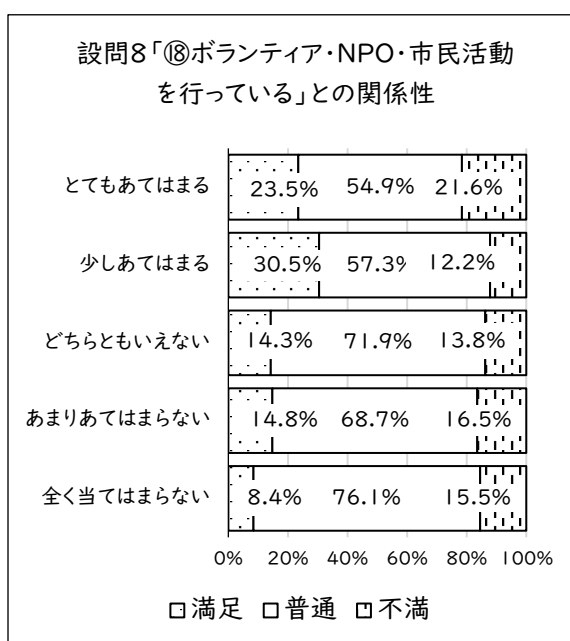
不満の回答に対する満足の回答比は 0.82 倍であり、不満の回答が満足の回答をやや上回っています。

設問 8「⑩ボランティア・NPO・市民活動を行っている」との関係性では、活動を行っていると回答した方の満足度は高いことから、性別にかかわらず社会のあらゆる分野に参画し、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる環境づくりを進めるとともに、互いに人権を尊重する理念と人々の多様性への理解を広めるための啓発活動に努める必要があると考えられます。

■年齢区分別の満足度の状況 n = 1,282



不満に対する満足の回答比 0.82倍



改善度	9 位(前回)→15 位/32 施策 (2.83)	満足度	24 位→25 位/32 施策(10.2%)
		重要度	12 位→19 位/32 施策(0.544)
施策名	5-3 公共交通の利便性の向上		

【施策の概要】

市民生活や交流の基盤となる公共交通の確保と利便性の向上を図るため、地域住民や交通事業者、関係自治体と協力しながら、利用者のニーズに即した路線バスの運行や新たな公共交通の導入などの取組みを進めることにより、総合的な公共交通体系を確立するとともに、住民意識の醸成と利用の促進に努めます。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 25 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）は 32 施策中 19 位と中位であるため、改善度が 15 位となっています。

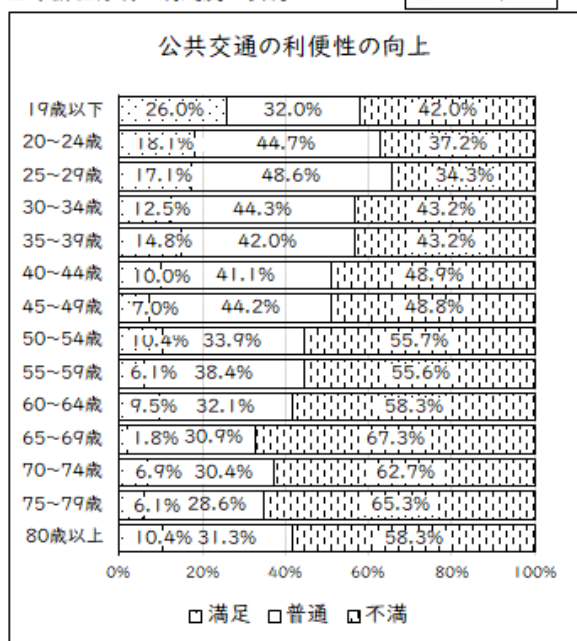
年齢区分別では、全体的に不満の割合が高く、特に 40 歳以上における不満の割合が高い傾向となっています。

不満の回答に対する満足の回答比は 0.2 倍であり、不満が満足の回答を上回っている特徴があります。

設問 8 の「⑤日常の移動手段としての公共交通の必要性を感じている」との関係性でも、必要性を感じているほど不満の回答が多くなることから、人口減少を踏まえたうえで、効率的かつ利便性の高いバス運行体制の構築や公共交通の利用促進を図るなど、必要な移動手段の確保に努めることが必要と考えられます。

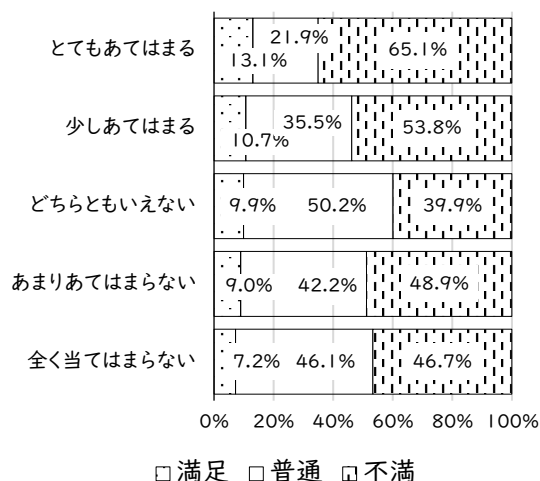
■年齢区分別の満足度の状況

n= 1,289



不満に対する満足の回答比 0.20倍

設問8「⑤日常の移動手段としての公共交通の必要性を感じている」との関係性



改善度	26 位(前回)→16 位/32 施策 (2.75)	満足度	8 位→10 位/32 施策(17.8%)
		重要度	26 位→7 位/32 施策(0.590)
施策名	4-4 芸術文化・スポーツの振興		

【施策の概要】

市民の芸術文化活動への支援や芸術文化に親しむ環境づくりに努めるとともに、文化財や郷土芸能の保存・継承と活用を通じ、郷土への理解と関心の醸成を図ります。

また、誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことのできるよう、競技スポーツと生涯スポーツの推進を図ります。

さらに、北海道教育大学岩見沢校とも連携し、市民が「芸術文化・スポーツのまち」を実感することのできる取組みを推進します。

【満足度の分析】

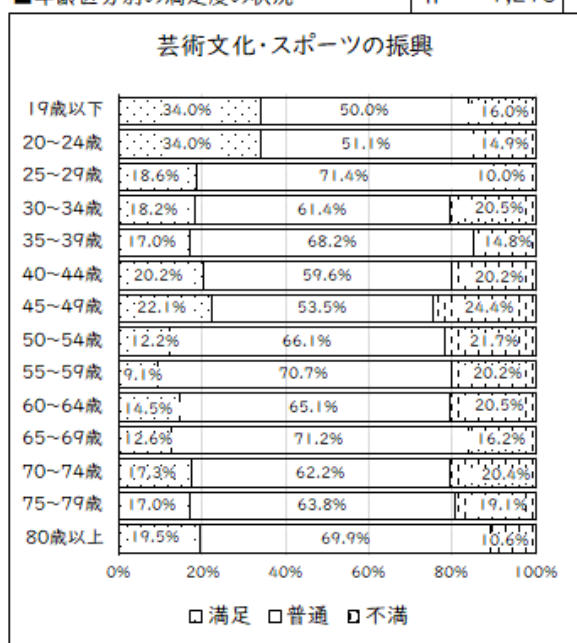
施策に対する「満足度」は 32 施策中 10 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）は 32 施策中 7 位と上位であるため、改善度が 16 位となっています。

年齢区分別では、24 歳以下の満足度が高い傾向にありますが、全体としては、不満の回答に対する満足の回答比は 1.03 倍と、満足の回答と不満の回答がほぼ均衡しています。

設問 8 の「⑩日頃から、趣味、教養、学習、文化活動等を行っている」との関係性では、日頃から活動等を行っている方の満足度は高く、また、「⑪スポーツ等を通じて定期的に体を動かしている」との関係性においても、同様の傾向となることから、誰もが生涯にわたって芸術文化・スポーツに親しむことができる環境づくりが必要であると考えられます。

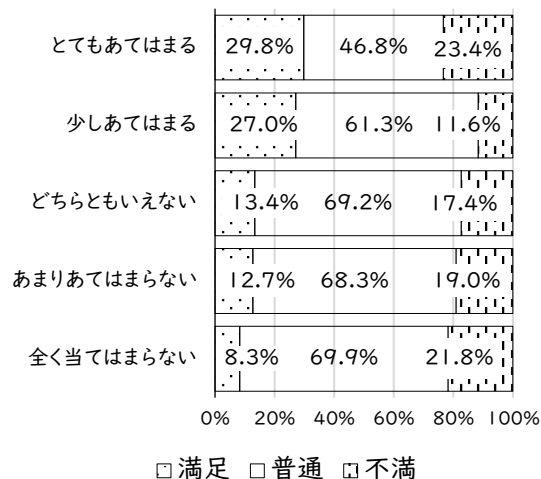
■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,278



不満に対する満足の回答比 1.03倍

設問8「⑩日頃から、趣味、教養、学習、文化活動等を行っている」との関係性



改善度	6位(前回)→17位/32施策 (2.44)	満足度	16位→17位/32施策(14.3%)
		重要度	5位→13位/32施策(0.566)
施策名	5-6 環境の保全と循環型社会の形成		

【施策の概要】

環境保全に対する意識啓発や自然エネルギーの推進、ごみの発生の抑制と再利用の推進等の総合的な環境施策を推進することにより、市民と事業者、行政が一体となって、環境への負荷の少ない社会の構築を目指します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 17 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）も 32 施策中 13 位と中位であるため、改善度が 17 位となっています。

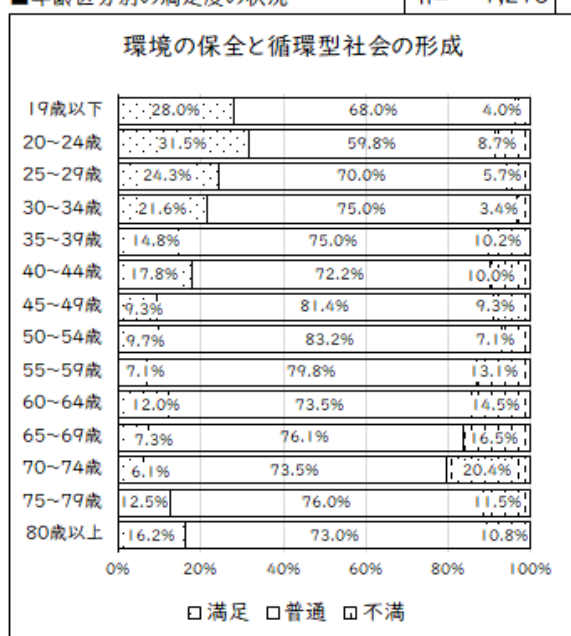
年齢区分別では、顕著な差は認められませんが 45 歳から 74 歳までの満足度が低い傾向にあり、20～24 歳における満足と回答した割合は前回と同様に高い水準となっています。

不満の回答に対する満足の回答比は 1.38 倍であり、満足の回答が不満の回答を上回っています。

設問 8 の「①ごみの減量・分別や省エネルギーなど、環境への配慮を心がけている」との関係性では、環境への配慮を心掛けていほど満足度も高くなる傾向にあることから、グリーントランスフォーメーション(GX)の推進や環境教育の充実とあわせて、ごみの減量化や再資源化に対する市民の意識の高揚を図ることも必要と考えられます。

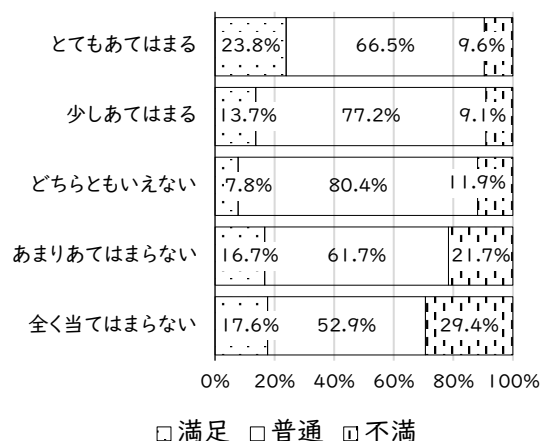
■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,273



不満に対する満足の回答比 1.38倍

設問8「①ごみの減量・分別や省エネルギーなど、環境への配慮を心がけている」との関係性



改善度	15 位(前回)→18 位/32 施策 (2.43)	満足度	27 位→26 位/32 施策(10.1%)
		重要度	25 位→21 位/32 施策(0.540)
施策名	3-5 地域資源を活かした観光の振興		

【施策の概要】

観光誘客の拡大による交流人口の増加や地域の活性化を図るため、関係団体や事業者、市民と行政が一体となって、本市の持つ豊富な地域資源を発掘・活用するとともに、その魅力を広く国内外に情報発信することにより、何度でも訪れたいまちづくりを推進します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 26 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は 32 施策中 21 位と中位であるため、改善度が 18 位となっています。

年齢区分別では、20 歳から 24 歳では相対的に満足度が高くなっていますが、どの年齢層でも不満の割合が高くなっています。

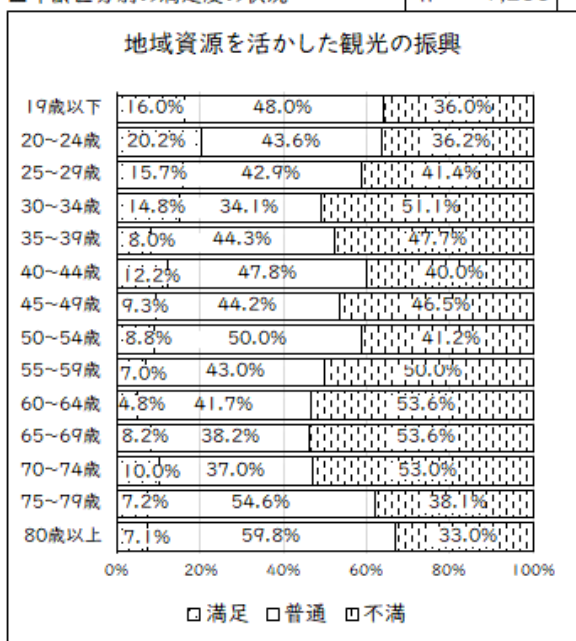
不満の回答に対する満足の回答比は 0.23 倍であり、不満と普通の回答がともに多く、満足の回答を上回っている特徴があります。

設問 8 の「⑨岩見沢市に誇りや愛着を感じている」との関係性では、誇りや愛着を感じているほど満足度は高くなる傾向にあります。

前回調査に引き続き満足度は低いことから、特色ある観光資源や特産品を道内外へ PR するとともに地域資源を活かした旅行商品の造成等の取組みを進めていく必要があると考えられます。

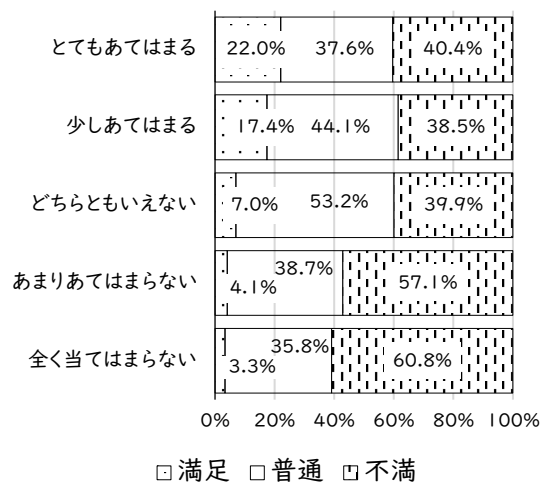
■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,283



不満に対する満足の回答比 0.23倍

設問8「⑨岩見沢市に誇りや愛着を感じている」との関係性



改善度	11位(前回)→19位/32施策 (1.10)	満足度	15位→15位/32施策(15.5%)
		重要度	6位→15位/32施策(0.564)
施策名	2-5 社会保障制度の適正な運営		

【施策の概要】

誰もが健康で安心して生活することができるよう、国民健康保険や後期高齢者医療制度、国民年金の健全かつ持続可能な運営と適正なサービスの提供に努めます。

また、生活困窮者に対しては、生活保護制度の適正な運用を行うとともに、就労支援など自立に向けた相談・指導体制の充実を図ります。

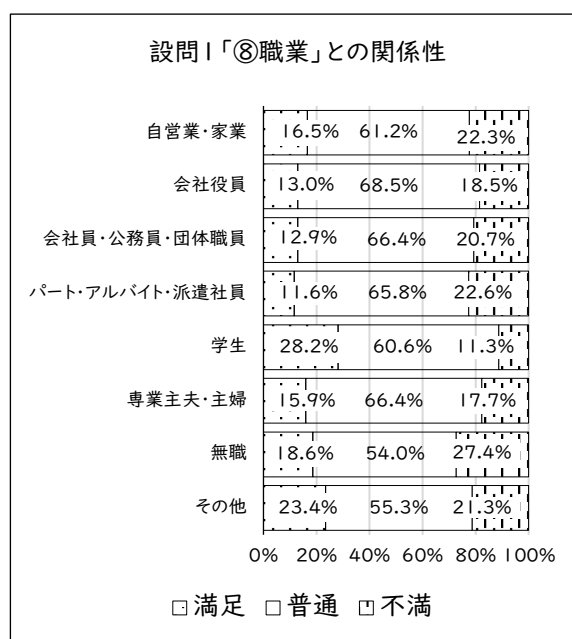
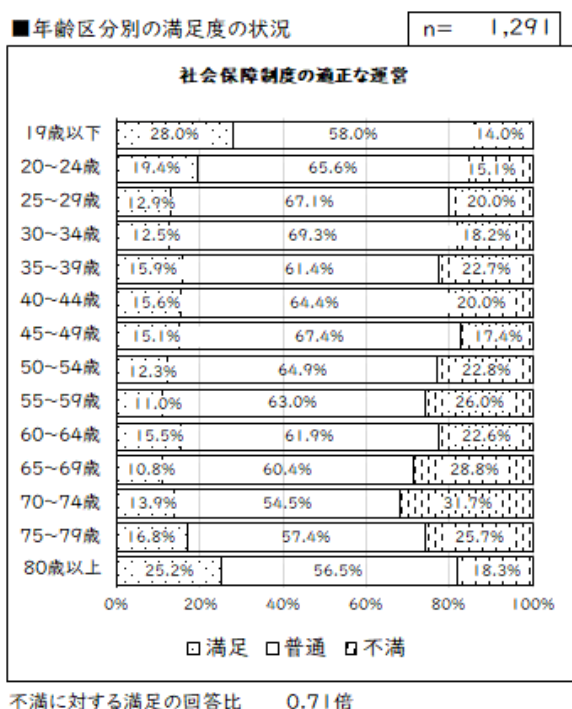
【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中15位と前回調査と同様ですが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中15位と中位であるため、改善度が19位となっています。

年齢区分別では、24歳以下と80歳以上の満足度が相対的に高い傾向にある一方、25～79歳では不満の割合が高くなっています。

不満の回答に対する満足の回答比は0.71倍であり、不満の回答が満足の回答を若干上回っています。

「職業」との関係性では、前回調査に比べて「学生」「専業主夫・主婦」「自営業・家業」では満足度が向上した一方で、「会社役員」の満足度が半減したほか、「会社員等」では満足度が低下していることから、国民健康保険事業をはじめ、後期高齢者、国民年金、生活保護など各制度の適正な運用に努めていく必要があると考えられます。



改善度	19位(前回)→20位/32施策 (▲0.06)	満足度	9位→11位/32施策(17.1%)
		重要度	8位→14位/32施策(0.566)
施策名	2-6 地域医療体制の充実		

【施策の概要】

南空知圏域全体において専門性の高い良質な医療を確保できるよう、病床機能の分化を図り、医療機関相互の役割分担と連携を促進することにより、医療ニーズに即し、地域で完結する医療提供体制の構築を目指すとともに、市立総合病院は、その中核的な役割を担う基幹病院として、高度医療等を提供する体制の充実に向けた取組みを推進します。また、夜間や休日における急病患者に対する適切な医療の確保に努めます。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中11位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は32施策中14位と中位であるため、改善度が20位となっています。

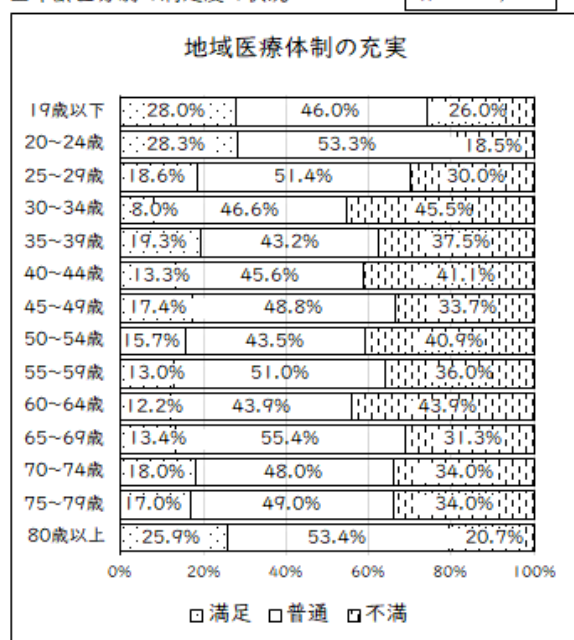
年齢区分別では、24歳以下と80歳以上の満足度が比較的高い傾向にありますが、25歳以上79歳以下では不満の回答の割合が高くなっています。

不満の回答に対する満足の回答比は0.52倍であり、不満の回答が満足の回答を上回っています。

設問3の「今後の定住意向」との関係性では、定住意向が強いほど満足度が高く、不満の割合も低くなることから、満足度と定住意向に一定程度のあると考えられます。

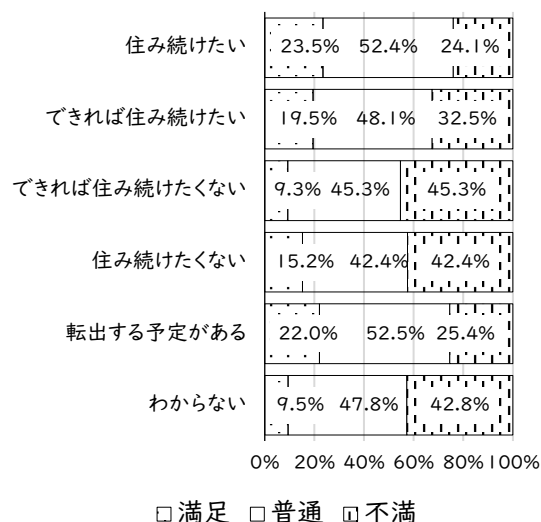
満足度は比較的高い施策ですが、住み慣れた地域で適切な医療サービスの提供ができるよう、引き続き地域医療体制の充実に努める必要があると考えられます。

■年齢区分別の満足度の状況 n = 1,289



不満に対する満足の回答比 0.52倍

設問3 「今後の定住意向」との関係性



改善度	14位(前回)→21位/32施策 (▲1.18)	満足度	10位→8位/32施策(20.1%)
		重要度	7位→11位/32施策(0.576)
施策名	5-2 快適な道路環境の確保		

【施策の概要】

快適かつ安全に利用できる道路環境を確保するため、国・道とも連携し、都市の骨格となる幹線道路や市民の暮らしを支える生活道路の整備を計画的に進めるとともに、老朽化した道路・橋梁の長寿命化を図るなど、適正な維持管理に努めます。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 8 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）は 32 施策中 11 位と中位であるため、改善度が 21 位となっています。

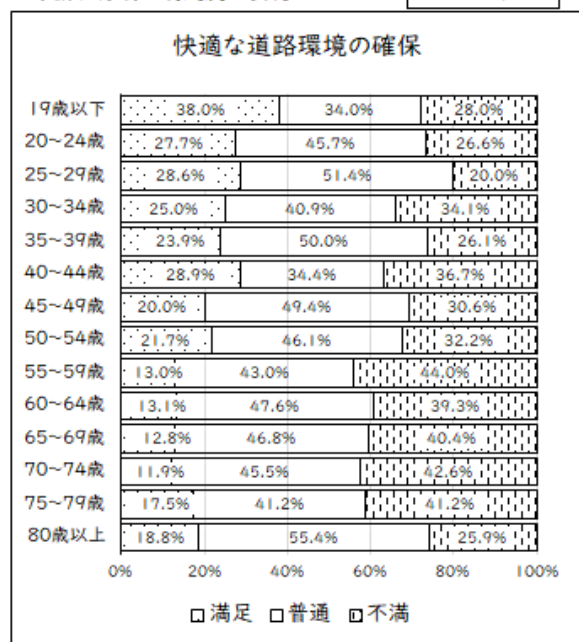
年齢区分別では、54 歳以下の満足度が高い傾向にありますが、一方で、年齢が上がるにつれて不満の割合が高くなっています。

不満の回答に対する満足の回答比は 0.61 倍であり、不満の回答が満足の回答を上回っています。

「居住地域」との関係性では、各地区の回答数が大きく異なるため、相対的な比較はできませんが、定期的な路面点検に基づき、計画的かつ効率的な補修を行い、安全で快適な道路環境を確保しながら、舗装の延命化やコスト削減を図る必要があると考えられます。

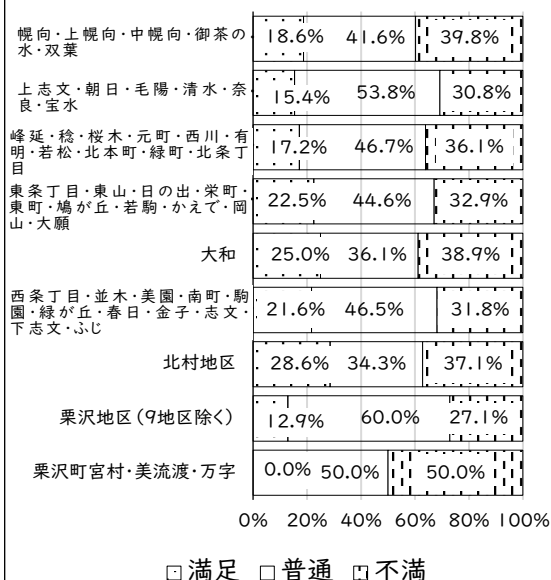
■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,283



不満に対する満足の回答比 0.61倍

設問Ⅰ「③居住地域」との関係性



改善度	24 位(前回)→22 位/32 施策 (▲3.12)	満足度	21 位→20 位/32 施策(12.7%)
		重要度	30 位→27 位/32 施策(0.517)
施策名	3-1 農林業の振興		

【施策の概要】

本市農業の持続的発展を目指し、農業経営の安定と農業所得の向上への取り組みや、担い手の育成・確保を進めるとともに、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮等を通じた農村地域の振興を推進します。

林業の振興にあっては、森林の有する多面的機能を維持・発揮させるよう、計画的な整備と保全に努めます。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 20 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)も 30 施策中 27 位と下位であるため、改善度が 22 位となっています。

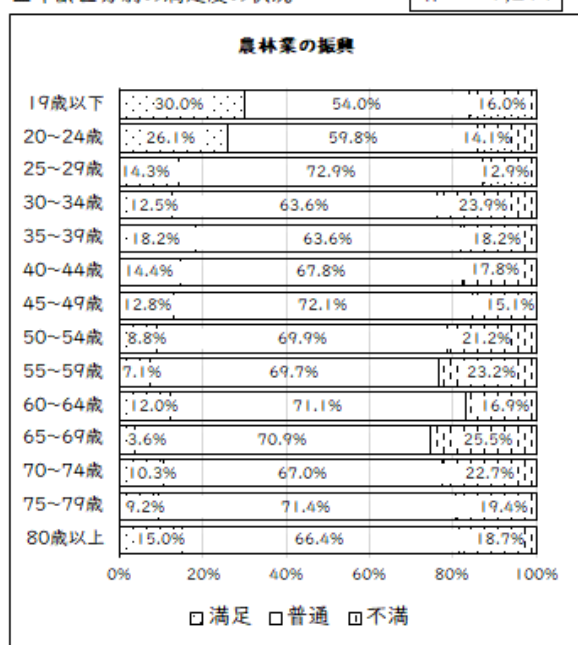
年齢区分別では、24 歳以下の満足度が比較的高く、年齢が高くなるにつれて満足度が低くなる傾向にあり、前回同様の傾向となっていますが、依然として 55～74 歳における不満の割合が高い傾向にあります。

不満の回答に対する満足の回答比は 0.68 倍であり、不満の回答が満足の回答を上回っています。

「居住地域」との関係性では、各地区の回答数が大きく異なるため、相対的な比較はできませんが、北村地区においては、前回調査に比べ満足度が大きく改善しました。

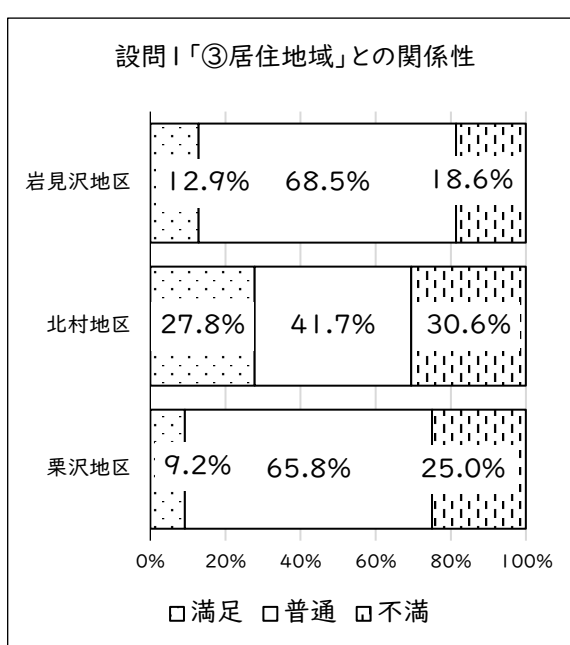
■年齢区分別の満足度の状況

n= 1,271



不満に対する満足の回答比 0.68倍

設問Ⅰ「③居住地域」との関係性



改善度	28 位(前回)→23 位/32 施策 (▲7.23)	満足度	3 位→4 位/32 施策(27.8%)
		重要度	13 位→10 位/32 施策(0.581)
施策名	5-5 緑豊かなまちづくりの推進		

【施策の概要】

地域の特性や市民のニーズに対応した公園・緑地の計画的かつ適正な維持管理に努めるとともに、市民や民間事業者との協働による緑の街並みづくりや保全活動を推進することにより、本市の特性を活かした緑あふれる都市空間の形成を図ります。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 4 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）も 32 施策中 10 位と上位であるため、改善度が 23 位となっています。

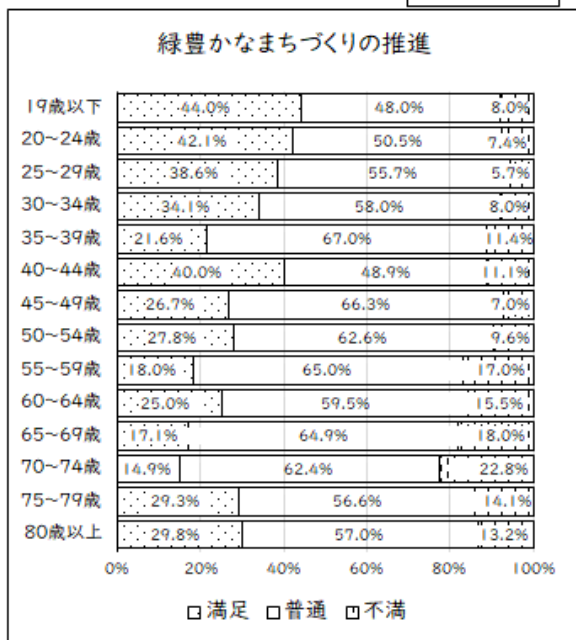
年齢区分別では、65 歳から 74 歳では満足度がやや低いものの、概ねどの年齢層も満足度が高い傾向にあります。

不満の回答に対する満足の回答比は 2.27 倍であり、満足の回答が不満の回答を大きく上回っています。

設問 8 の「②年に 1 回以上公園や緑地を利用している」との関係性では、中学生以下の子どもがいる世帯で公園を利用している方ほど、満足度は高くなる傾向にあることから、自然環境の保全をはじめ、市民が緑や自然に親しむ機会の創出と利用の促進に取組む必要があると考えられます。

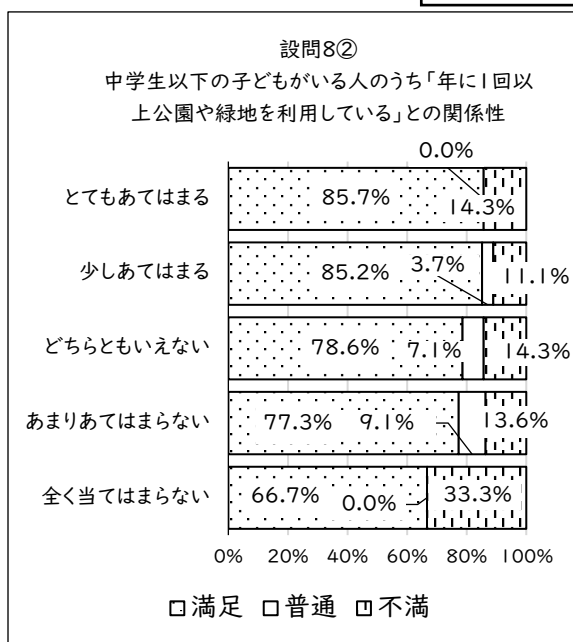
■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,291



不満に対する満足の回答比 2.27倍

n = 235



改善度	18位(前回)→24位/32施策 (▲7.44)	満足度	18位→14位/32施策(15.8%)
		重要度	18位→30位/32施策(0.506)
施策名	1-1 地域防災力の向上		

【施策の概要】

災害に強いまちづくりを推進するため、避難行動要支援者等に対する避難支援体制の構築や災害応急体制を強化するとともに、防災意識の高揚や地域内での体制づくりを通じて自助・共助・公助の精神を高め、地域防災力の向上を図ります。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は32施策中14位と前回調査に比べて上がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）は32施策中30位と下位であるため、改善度が24位となっています。

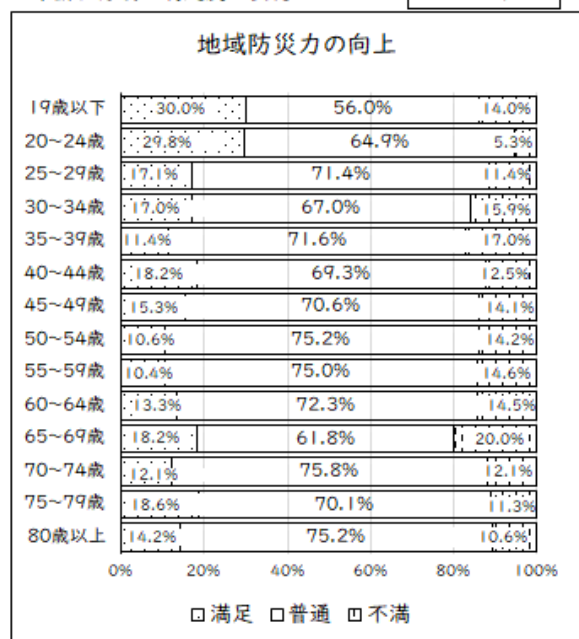
年齢区分別では、24歳以下の満足度が比較的高い傾向にありますが、年齢が高くなるにつれて不満の回答が満足を上回る傾向にあります。

不満の回答に対する満足の回答比は1.22倍であり、満足の回答が不満の回答をやや上回っています。

設問9の「②連絡がつかないときに家族が集まる場所（実家など）を決めている」では、決めっていると回答した人の満足度が高い傾向にあり、また、「⑪防災に関するニュースをチェックしている」との関係性でも同様であることから、災害に対する備えの意識と満足度が関係していると考えられます。このことから、引き続き、市民参加型の防災訓練や防災教育により、市民の防災に対する意識の啓発と高揚を図る必要があると考えられます。

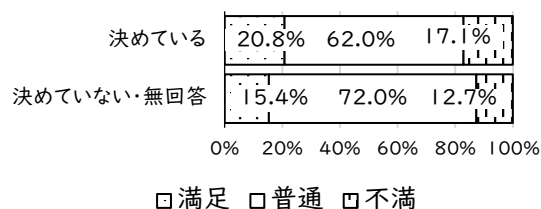
■年齢区分別の満足度の状況

n= 1,274

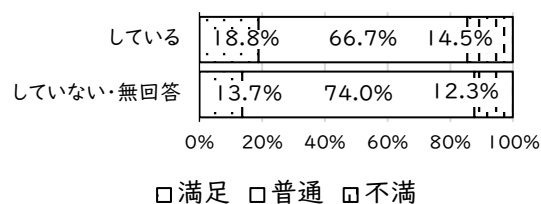


不満に対する満足の回答比 1.22倍

設問9「②連絡がつかないときに家族が集まる場所（実家など）を決めている」との関係性



設問9「⑪防災に関するニュースなどをチェックしている」との関係性



改善度	21 位(前回)→25 位/32 施策 (▲7.75)	満足度	14 位→12 位/32 施策(16.7%)
		重要度	22 位→28 位/32 施策(0.509)
施策名	2-3 障がい者福祉の充実		

【施策の概要】

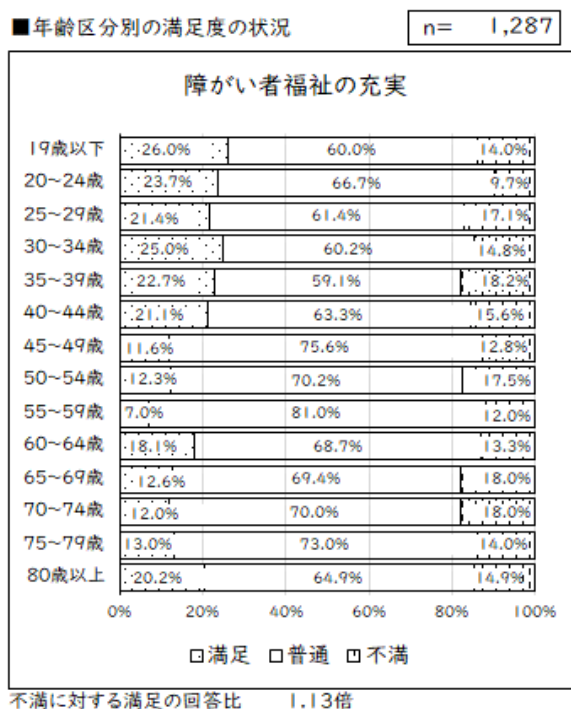
ノーマライゼーションの理念のもと、障がいのある人も住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、市民一人ひとりが障がいや障がいのある人に対する理解を深める中で、多様なニーズに対応した相談支援やサービス提供体制の充実を図るとともに、就労支援や芸術文化・スポーツなどの社会参加の支援に取り組めます。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 12 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は 32 施策中 28 位と下位であるため、改善度が 25 位となっています。

年齢区分別では、44 歳以下と 80 歳以上の満足度が比較的高い傾向にあるものの、どの年齢層でも普通の割合が高くなっています。

不満の回答に対する満足の回答比は 1.13 倍であり、満足の回答が不満の回答を上回っています。



改善度	25 位(前回)→26 位/32 施策 (▲8.43)	満足度	7 位→7 位/32 施策(20.7%)
		重要度	21 位→24 位/32 施策(0.529)
施策名	2-2 高齢者福祉の充実		

【施策の概要】

高齢者が生きがいを持ちながら、住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、健康を維持し、自立した生活を送ることのできる環境づくりを進めるとともに、就労や地域活動、趣味などを通じた積極的な社会参加の機会の拡充を図ります。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 7 位と前回調査と同様ですが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）は 32 施策中 24 位と下位であるため、改善度が 26 位となっています。

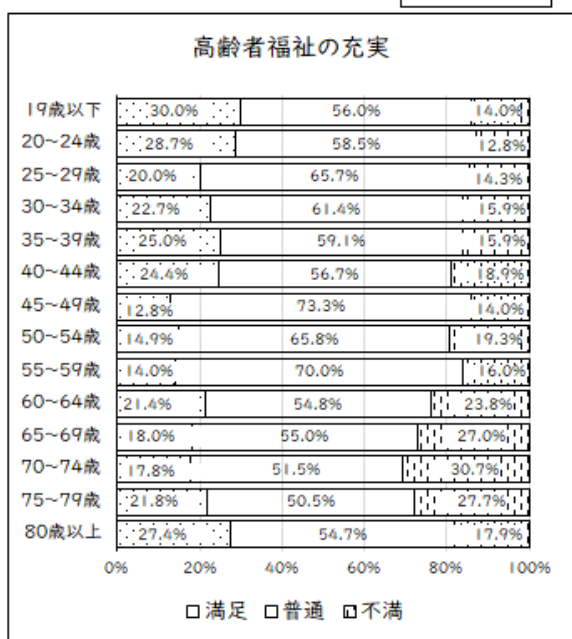
年齢区分別では、45 歳から 59 歳の満足度が比較的低い傾向にありますが、24 歳以下と 80 歳以上では満足度が高くなっています。

不満の回答に対する満足の回答比は 1.07 倍であり、満足の回答と不満の回答がほぼ均衡しています。

設問 8 の「⑧ボランティア・NPO・市民活動を行っている」との関係性では、日頃から活動等を行っている方の満足度は高く、不満の割合も低くなることから、高齢者の知識や経験を活かした地域活動への参加や就業、趣味、交流などの多様な機会を通じ、高齢者の生きがいづくりや社会参加の推進に取組む必要があると考えられます。

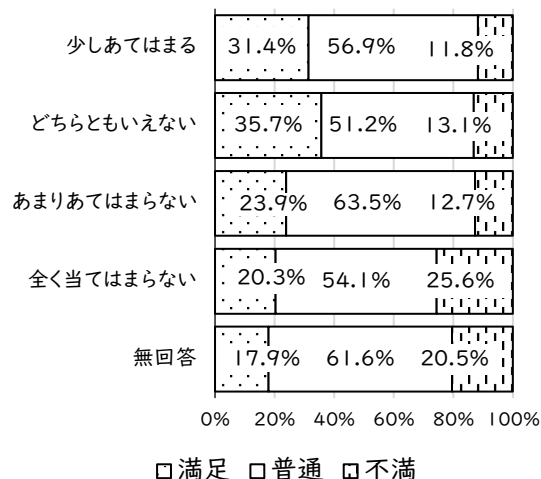
■年齢区分別の満足度の状況

n= 1,294



不満に対する満足の回答比 1.07倍

設問8「⑧ボランティア・NPO・市民活動を行っている」との関係性



改善度	23 位(前回)→27 位/32 施策 (▲8.97)	満足度	12 位→9 位/32 施策(18.0%)
		重要度	23 位→29 位/32 施策(0.508)
施策名	1-5 地域コミュニティの活性化		

【施策の概要】

市民の参画と協働のもと、市民が主体となって地域課題を解決していくための取組みを支援することにより、地域コミュニティ機能の維持・向上と活性化を図ります。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 9 位と前回調査に比べてやや上がっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）は 32 施策中 29 位と下位であるため、改善度が 27 位となっています。

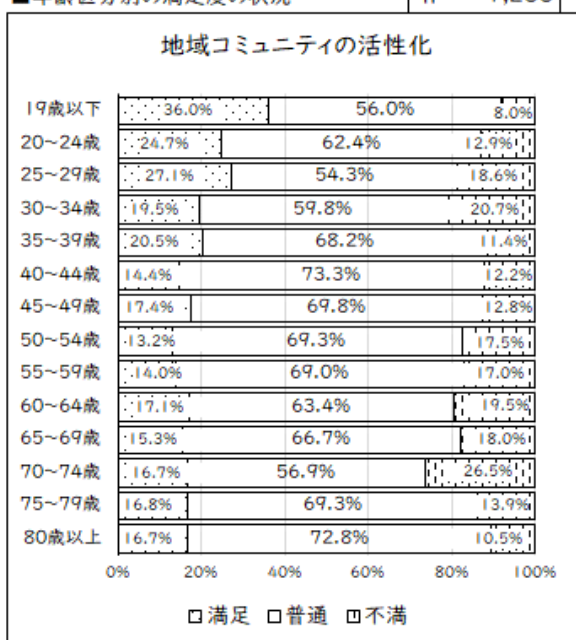
年齢区分別では、39 歳までの満足度が比較的高いものの、年齢が上がるにつれて満足度が下がる傾向にあり、70～74 歳における不満が最も高くなっています。

不満の回答に対する満足の回答比は 1.16 倍であり、満足の回答が不満の回答を上回っています。

設問 8 の「⑧ある程度、親しくしている人が隣近所にいる」との関係性では、「いる」と回答した方の満足度は高くなる傾向にあり、また、「⑰地縁的な活動を行っている」との関係性においても同様の傾向であるため、多くの市民や団体等がまちづくり活動に参画するための支援やコミュニティの維持に努める必要があると考えられます。

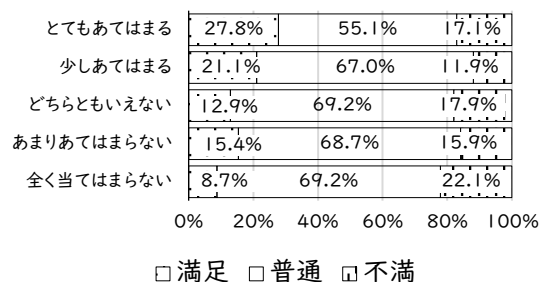
■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,288

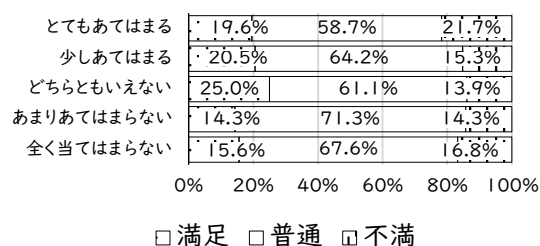


不満に対する満足の回答比 1.16倍

設問8「⑧ある程度、親しくしている人が隣近所にいる」との関係性



設問8「⑰地縁的な活動を行っている」との関係性



改善度	29 位(前回)→28 位/32 施策 (▲12.85)	満足度	6 位→5 位/32 施策(26.7%)
		重要度	27 位→23 位/32 施策(0.535)
施策名	5-4 上下水道の適正な運営		

【施策の概要】

上水道においては安全で良質な水の安定供給、下水道においては居住環境の向上と公共用水域の水質保全の確保を基本とし、施設の更新・長寿命化を計画的に進めるとともに、効率的な維持管理を通じた健全経営の維持に努めます。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 5 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係(重要度)は 32 施策中 23 位と下位であるため、改善度が 28 位となっています。

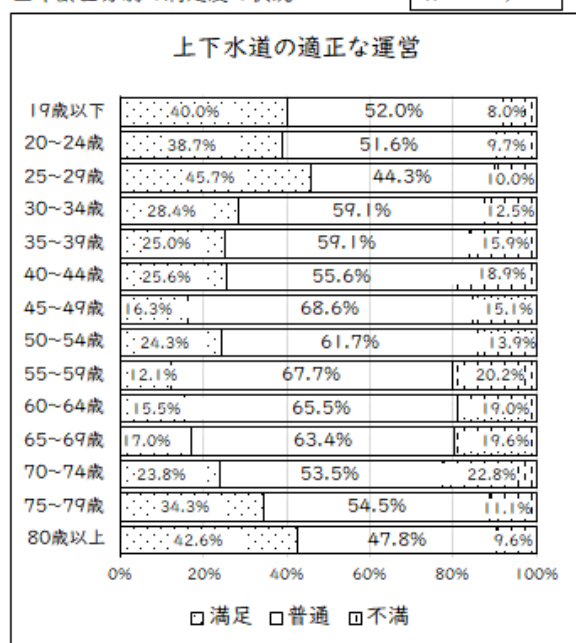
年齢区分別では、概ねどの年齢層も満足度が高い傾向にありますが、55 歳から 59 歳では満足度は低くなっています。

不満の回答に対する満足の回答比は 1.81 倍であり、満足の回答が不満の回答を大きく上回っています。

設問Ⅰの「⑥家族構成」との関係性では、家族構成による満足度の差も少なく、一定程度の満足度があることから、引き続き、日常生活や経済活動に欠かすことのできないライフラインである水の安定供給や水質の保全、上下水道事業の健全経営を維持していくことが必要と考えられます。

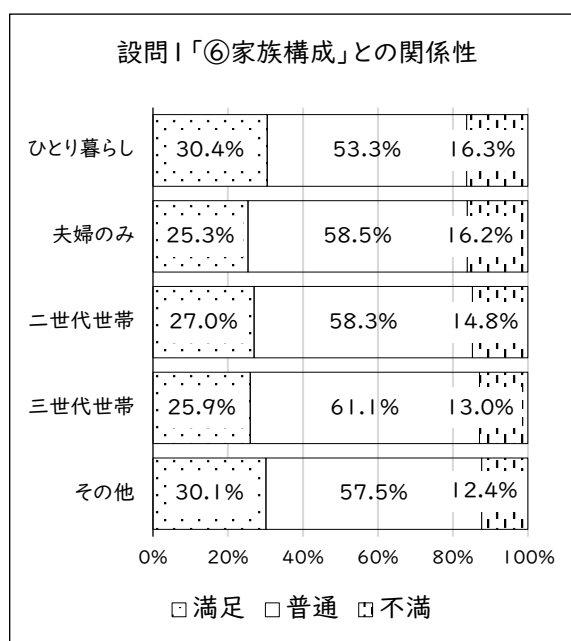
■年齢区分別の満足度の状況

n= 1,290



不満に対する満足の回答比 1.81倍

設問Ⅰ「⑥家族構成」との関係性



改善度	27 位(前回)→29 位/32 施策 (▲13.22)	満足度	5 位→6 位/32 施策 (25.3%)
		重要度	14 位→26 位/32 施策 (0.523)
施策名	1-4 安全・安心な生活環境の確保		

【施策の概要】

市民が安心して暮らせる地域社会の実現に向け、地域が一体となって、防犯や交通安全に対する意識醸成を図るとともに、防犯活動や交通安全対策を推進します。

また、消費者被害やトラブルを未然に防ぐとともに、消費生活の安定と向上を図るため、相談体制の強化や情報提供・啓発活動の充実に努めます。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 6 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）は 32 施策中 26 位と下位であるため、改善度が 29 位となっています。

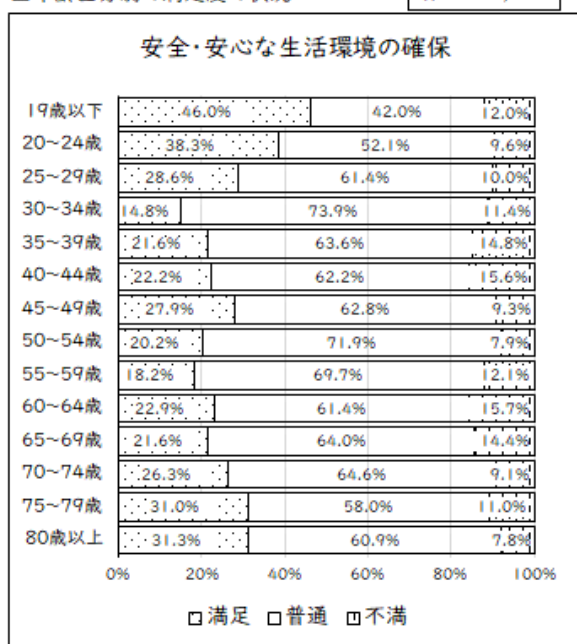
年齢区分別では、30～34 歳では満足度がやや低いものの、概ねどの年齢層においても満足度が高い傾向にあります。

不満の回答に対する満足の回答比は 2.28 倍であり、満足の回答が不満の回答を大きく上回っています。

設問 1「③居住地域」との関係性では、各地区の回答数が大きく異なるため、相対的な比較はできませんが、岩見沢地区の満足度がやや高くなっています。

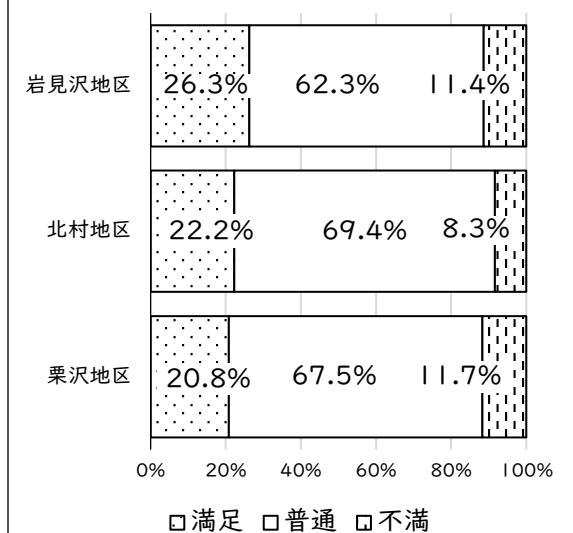
■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,287



不満に対する満足の回答比 2.28倍

設問 1「③居住地域」との関係性



改善度	31 位(前回)→30 位/32 施策 (▲18.80)	満足度	2 位→3 位/32 施策(31.9%)
		重要度	29 位→25 位/32 施策(0.524)
施策名	2-1 健康づくりの推進		

【施策の概要】

いつまでも健康で生きがいをもった生活を送ることができるよう、市民一人ひとりのライフステージに応じた主体的な健康づくりを支援するとともに、産学官金が一体となって市民の健康を支える地域社会「健康コミュニティ」を推進します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 3 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）は 32 施策中 25 位と下位であるため、改善度が 30 位となっています。

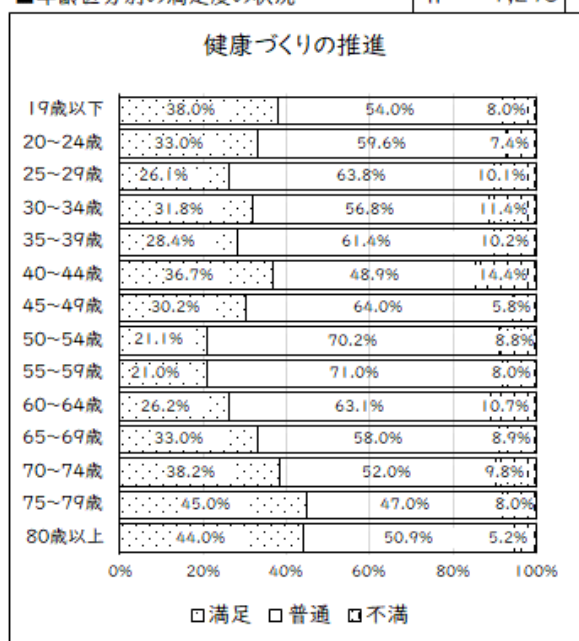
年齢区分別では、どの年齢層も比較的満足度が高い傾向にあります。

不満の回答に対する満足の回答比は 3.62 倍であり、満足の回答が不満の回答を大きく上回っています。

設問 8 の「⑦健康のために普段から取り組んだり、心がけていることがある」との関係性では、健康に対する意識が高いほど満足度が高くなる傾向にあることから、北海道大学 COI-NEXT と連携した健康維持・増進やフレイル予防改善に向けた「げんき発見ドック」の実施など、市民の健康への意識や関心を高めるための取組みを継続していくことが必要と考えられます。

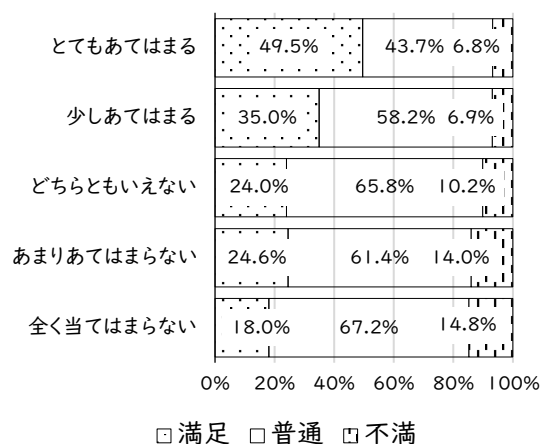
■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,293



不満に対する満足の回答比 3.62倍

設問8 「⑦健康のために普段から取り組んだり、心がけていることがある」との関係性



改善度	30 位(前回)→31 位/32 施策 (▲29.55)	満足度	4 位→1 位/32 施策(37.6%)
		重要度	28 位→31 位/32 施策(0.484)
施策名	1-2 総合的な雪対策の推進		

【施策の概要】

冬期間の安全・安心な暮らしを確保するため、地域や事業者との協働により、効率的な除排雪体制の構築や地域自主排雪に対する支援を行うとともに、高齢者世帯等の除雪弱者への支援など、地域のニーズに即した「総合的な雪対策」を推進します。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 1 位となっていますが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）は 32 施策中 31 位と下位であるため、改善度が 31 位となっています。

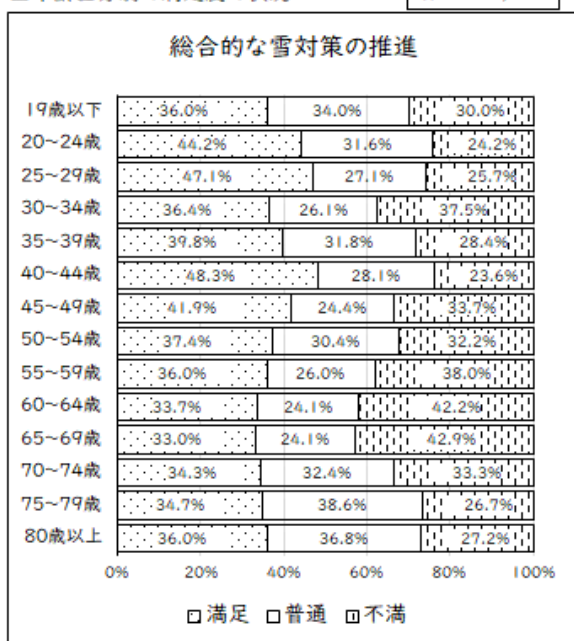
年齢区分別では、どの年齢層でも満足度は高く、不満の回答割合が下がったことから、前回調査に比べて全体的に満足度は上昇しています。

不満の回答に対する満足の回答比は 1.2 倍であり、前回調査の 0.62 倍から大幅に改善しています。

設問 3 の「今後の定住意向」との関係性では、定住意向が強いほど満足度が高く、不満の割合も低くなる傾向にあることから、引き続き、総合的な雪対策や協働による除排雪支援に取り組む必要があると考えられます。

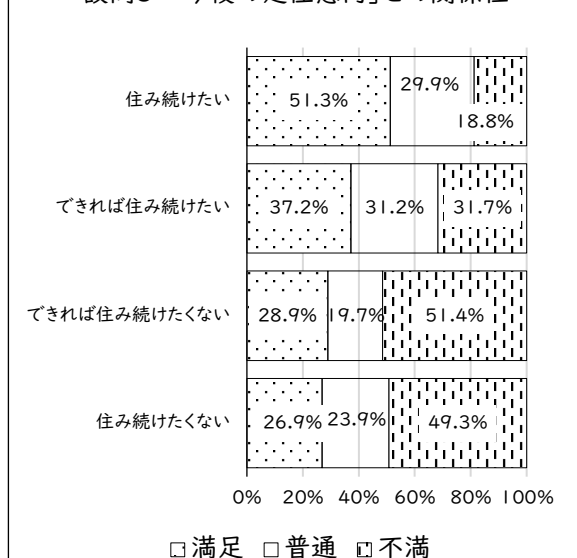
■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,293



不満に対する満足の回答比 1.20倍

設問3 「今後の定住意向」との関係性



改善度	32 位(前回)→32 位/32 施策 (▲30.68)	満足度	1 位→2 位/32 施策(34.5%)
		重要度	31 位→32 位/32 施策(0.457)
施策名	1-3 消防・救急体制の充実		

【施策の概要】

市民の尊い生命や財産を守るため、関係機関・団体等とも連携し、火災予防対策を推進するとともに、消防力の強化と救急・救助体制の充実を図ります。

【満足度の分析】

施策に対する「満足度」は 32 施策中 2 位と前回調査に比べてほぼ変わりませんが、「市の施策に対する総合的な満足度」との相関関係（重要度）は 32 施策中最下位であるため、改善度も 32 位となっています。

年齢区分別では、全体的に満足度は高く、前回同様の傾向となっています。

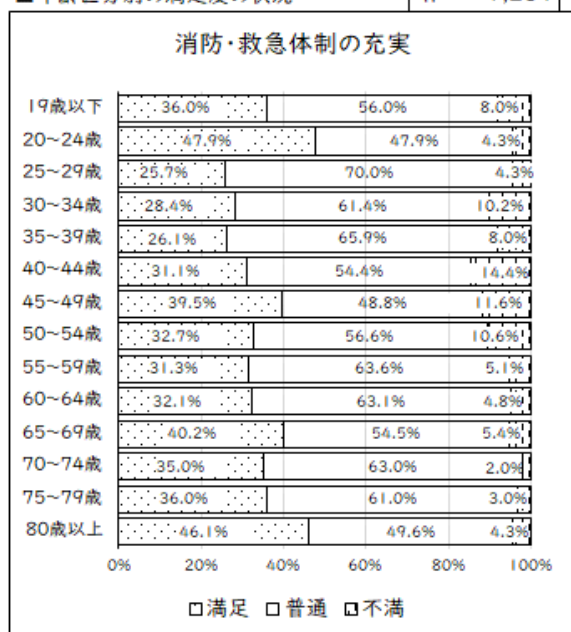
不満の回答に対する満足の回答比は 5.23 倍であり、満足の回答が不満の回答を大きく上回っています。

設問Ⅰ「⑥家族構成」との関係性では、どの世帯でも満足度は高くなっています。

消防車両等の計画的な更新や地域への防火指導のほか、消防訓練や救急講習など、防火意識等の高揚を図る取組みに努めていることなどから、施策満足度が上位となることが考えられます。

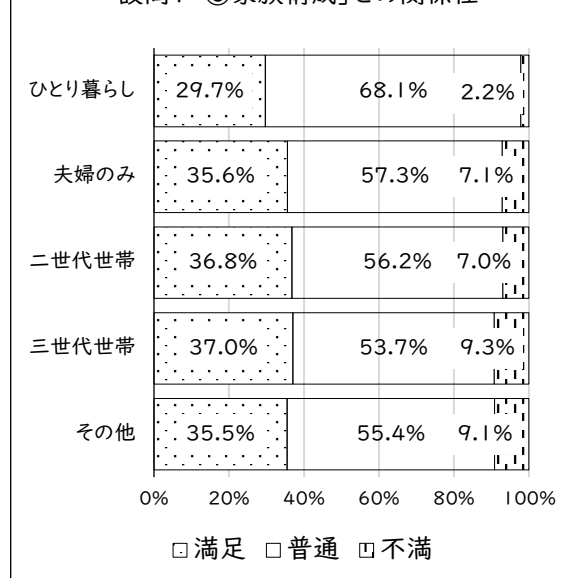
■年齢区分別の満足度の状況

n = 1,289



不満に対する満足の回答比 5.23倍

設問Ⅰ「⑥家族構成」との関係性



(4) 満足度と暮らしやすさの関係性

・年齢区分別の関係性

基本施策の満足度と設問 2「暮らしやすさ」の相関関係から、基本施策の満足度が暮らしやすさに与える影響（重要度）について分析を行います。

暮らしやすさは定住意向との関連度も高く、基本施策における満足度の向上により暮らしやすさを高めることは、定住意向の改善にもつながると考えられるため、年齢区分別に施策の満足度と暮らしやすさの関係性を分析します。

【基本施策の満足度と暮らしやすさの相関関係】

基本施策	基本施策の満足度と暮らしやすさの相関関係（重要度：相関係数）							
	全体		ヤング 39 歳以下		ミドル 40-64 歳		シニア 65 歳以上	
	順位	指標	順位	指標	順位	指標	順位	指標
1-1 地域防災力の向上	27	0.210	22	0.273	21	0.202	32	0.163
1-2 総合的な雪対策の推進	1	0.369	5	0.362	1	0.404	1	0.341
1-3 消防・救急体制の充実	21	0.228	30	0.221	8	0.249	21	0.206
1-4 安全・安心な生活環境の確保	15	0.247	16	0.303	15	0.221	18	0.216
1-5 地域コミュニティの活性化	22	0.228	13	0.310	24	0.179	25	0.196
1-6 男女共同参画社会の実現	20	0.231	15	0.304	19	0.208	27	0.188
2-1 健康づくりの推進	13	0.268	9	0.331	9	0.249	14	0.223
2-2 高齢者福祉の充実	3	0.301	12	0.321	4	0.294	3	0.290
2-3 障がい者福祉の充実	25	0.217	18	0.292	23	0.181	30	0.176
2-4 地域福祉の推進	14	0.249	19	0.291	12	0.235	15	0.223
2-5 社会保障制度の適正な運営	10	0.276	21	0.277	5	0.287	7	0.261
2-6 地域医療体制の充実	6	0.290	23	0.270	6	0.287	2	0.309
3-1 農林業の振興	32	0.166	28	0.230	32	0.083	29	0.178
3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化	23	0.224	17	0.302	27	0.171	19	0.213
3-3 新産業の創出と企業立地の推進	29	0.192	27	0.240	25	0.178	31	0.169
3-4 雇用の拡大と就業環境の充実	16	0.244	10	0.326	18	0.215	22	0.203
3-5 地域資源を活かした観光の振興	18	0.232	24	0.269	20	0.207	17	0.222
3-6 移住・定住の促進	9	0.279	8	0.348	22	0.202	4	0.286
3-7 国際・地域間交流の推進	30	0.190	32	0.210	31	0.121	13	0.226
4-1 子ども・子育て支援の充実	11	0.273	3	0.394	14	0.224	23	0.199
4-2 学校教育の充実	5	0.290	1	0.411	13	0.233	12	0.237
4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実	24	0.220	20	0.285	28	0.166	20	0.206
4-4 芸術文化・スポーツの振興	28	0.207	25	0.258	26	0.176	26	0.190
5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	2	0.316	2	0.402	3	0.311	9	0.247
5-2 快適な道路環境の確保	12	0.269	11	0.325	10	0.246	11	0.238
5-3 公共交通の利便性の向上	4	0.296	4	0.367	2	0.316	16	0.222
5-4 上下水道の適正な運営	19	0.231	31	0.214	17	0.216	6	0.261
5-5 緑豊かなまちづくりの推進	17	0.241	29	0.230	11	0.245	10	0.247
5-6 環境の保全と循環型社会の形成	31	0.183	26	0.247	30	0.124	28	0.182
5-7 地域情報化の推進	26	0.210	14	0.305	29	0.133	24	0.198
6-1 開かれた市政の推進	7	0.286	7	0.351	7	0.262	8	0.257
6-2 持続可能な行財政基盤の確立	8	0.280	6	0.357	16	0.220	5	0.268

※問 2「岩見沢市は暮らしやすいまちだと思いますか」の無回答を除外して算出

※相関関係が強い順に、各区分 6 位まで網掛け、赤字は相関関係が 0.2 以下の項目

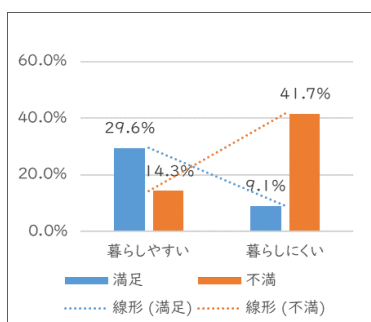
【基本施策の重要度・満足度の状況（ヤング層：39歳以下）】

基本施策	重要度（相関係数）		満足度（満足率％）	
	順位	指標	順位	指標
4-2 学校教育の充実	1	0.411	14	20.9%
5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	2	0.402	27	14.2%
4-1 子ども・子育て支援の充実	3	0.394	13	21.2%
5-3 公共交通の利便性の向上	4	0.367	22	17.1%
1-2 総合的な雪対策の推進	5	0.362	1	41.3%
6-2 持続可能な行財政基盤の確立	6	0.357	26	14.8%
6-1 開かれた市政の推進	7	0.351	20	17.4%
3-6 移住・定住の促進	8	0.348	32	11.4%
2-1 健康づくりの推進	9	0.331	5	30.8%
3-4 雇用の拡大と就業環境の充実	10	0.326	29	13.0%
5-2 快適な道路環境の確保	11	0.325	7	27.7%
2-2 高齢者福祉の充実	12	0.321	8	24.8%
1-5 地域コミュニティの活性化	13	0.310	9	24.6%
5-7 地域情報化の推進	14	0.305	19	17.6%
1-6 男女共同参画社会の実現	15	0.304	24	16.8%
1-4 安全・安心な生活環境の確保	16	0.303	6	28.7%
3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化	17	0.302	27	14.2%
2-3 障がい者福祉の充実	18	0.292	12	23.5%
2-4 地域福祉の推進	19	0.291	18	18.3%
4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実	20	0.285	21	17.1%
2-5 社会保障制度の適正な運営	21	0.277	22	17.1%
1-1 地域防災力の向上	22	0.273	15	20.4%
2-6 地域医療体制の充実	23	0.270	16	19.7%
3-5 地域資源を活かした観光の振興	24	0.269	25	15.0%
4-4 芸術文化・スポーツの振興	25	0.258	10	24.0%
5-6 環境の保全と循環型社会の形成	26	0.247	11	23.8%
3-3 新産業の創出と企業立地の推進	27	0.240	31	11.9%
3-1 農林業の振興	28	0.230	17	19.7%
5-5 緑豊かなまちづくりの推進	29	0.230	2	35.1%
1-3 消防・救急体制の充実	30	0.221	4	33.1%
5-4 上下水道の適正な運営	31	0.214	3	34.7%
3-7 国際・地域間交流の推進	32	0.210	30	12.4%

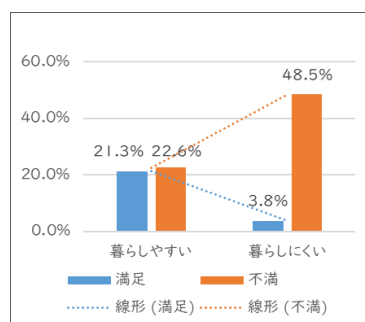
- ・ヤング層（39 歳以下）の家族構成は、親と同居している「二世帯世帯」の方が 50.8%で最多であり、中学生以下の子どもがいる子育て世帯は、全体の 30.2%となっています。
- また、職業は「会社員・公務員・団体職員」が 47.1%、次いで学生 18.7%となっており、会社員等と学生の 35.9%は市外に通勤・通学しています。
- ・暮らしやすさとの相関関係（重要度）は、「学校教育の充実」が最も高く、次いで「魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成」、「子ども・子育て支援の充実」の順となっています。
- ・岩見沢市は「暮らしやすい」と回答した方の施策別の満足と不満の割合を比較すると、「総合的な雪対策の推進」では 2.9 倍と、満足の割合が不満の割合を上回っています。
- ・「魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成」については、重要度は 2 位となっていますが、満足度は 27 位となっています。
- ・「学校教育の充実」、「子ども・子育て支援の充実」の重要度が他の年齢区分と比較して高い傾向にあるという特徴があります。

ヤング層（39 歳以下）では、総合的な雪対策の推進や公共交通の利便性の向上、魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成など、まちとしての機能や魅力を維持・向上していくための施策や、学校教育の充実や子ども・子育て支援など子育て環境の充実や負担軽減に対するニーズが高くなっていることが分かります。

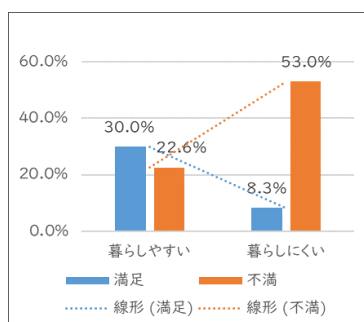
学校教育の充実



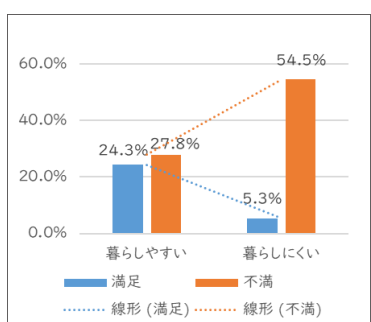
魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成



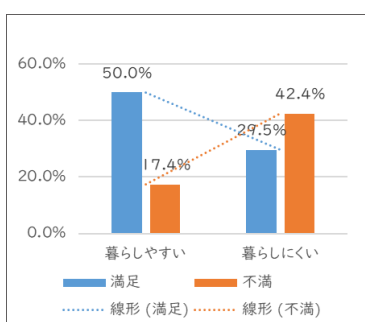
子ども・子育て支援の充実



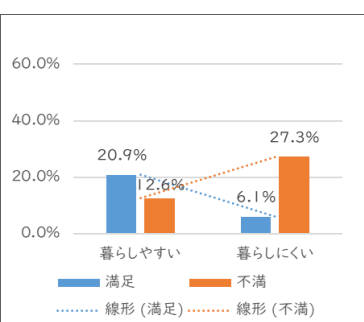
公共交通の利便性の向上



総合的な雪対策の推進



持続可能な行財政基盤の確立



【基本施策の重要度・満足度の状況（ミドル層：40-64 歳）】

基本施策	重要度（相関係数）		満足度（満足率％）	
	順位	指標	順位	指標
1-2 総合的な雪対策の推進	1	0.404	1	39.2%
5-3 公共交通の利便性の向上	2	0.316	22	8.7%
5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	3	0.311	28	6.2%
2-2 高齢者福祉の充実	4	0.294	9	17.4%
2-5 社会保障制度の適正な運営	5	0.287	14	13.8%
2-6 地域医療体制の充実	6	0.287	12	14.5%
6-1 開かれた市政の推進	7	0.262	27	7.0%
1-3 消防・救急体制の充実	8	0.249	2	33.3%
2-1 健康づくりの推進	9	0.249	4	26.6%
5-2 快適な道路環境の確保	10	0.246	6	19.6%
5-5 緑豊かなまちづくりの推進	11	0.245	3	27.4%
2-4 地域福祉の推進	12	0.235	17	11.3%
4-2 学校教育の充実	13	0.233	13	14.2%
4-1 子ども・子育て支援の充実	14	0.224	8	18.1%
1-4 安全・安心な生活環境の確保	15	0.221	5	22.2%
6-2 持続可能な行財政基盤の確立	16	0.220	25	7.5%
5-4 上下水道の適正な運営	17	0.216	7	18.9%
3-4 雇用の拡大と就業環境の充実	18	0.215	32	2.8%
1-6 男女共同参画社会の実現	19	0.208	20	10.0%
3-5 地域資源を活かした観光の振興	20	0.207	23	8.5%
1-1 地域防災力の向上	21	0.202	16	13.4%
3-6 移住・定住の促進	22	0.202	31	3.2%
2-3 障がい者福祉の充実	23	0.181	14	13.8%
1-5 地域コミュニティの活性化	24	0.179	11	15.1%
3-3 新産業の創出と企業立地の推進	25	0.178	30	5.1%
4-4 芸術文化・スポーツの振興	26	0.176	10	15.3%
3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化	27	0.171	26	7.1%
4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実	28	0.166	21	10.0%
5-7 地域情報化の推進	29	0.133	24	7.9%
5-6 環境の保全と循環型社会の形成	30	0.124	18	10.9%
3-7 国際・地域間交流の推進	31	0.121	29	5.1%
3-1 農林業の振興	32	0.083	18	10.9%

・ミドル層（40～64 歳）の家族構成は、中学生以下の子どもがいる「二世帯世帯」が 41.1%で最多であり、子育て世帯は全体の 21.5%となっています。

また、職業は「会社員・公務員・団体職員」が 45.3%で最多となっており、通勤・通学先は、76.3%が市内に、23.7%が市外です。

・暮らしやすさとの相関関係（重要度）は、「総合的な雪対策の推進」が最も高く、次いで「公共交通の利便性の向上」、「魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成」の順となっています。

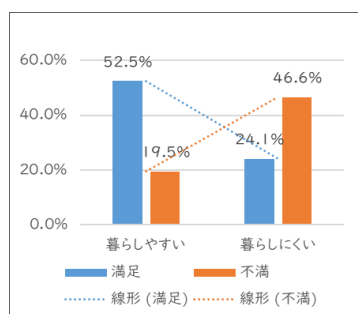
・岩見沢市は「暮らしやすい」と回答した方の施策別の満足と不満の割合を比較すると、「総合的な雪対策の推進」では 2.7 倍と、満足の割合が不満の割合を大きく上回っています。

・「魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成」については、重要度は 3 位となっていますが、満足度は 28 位となっています。

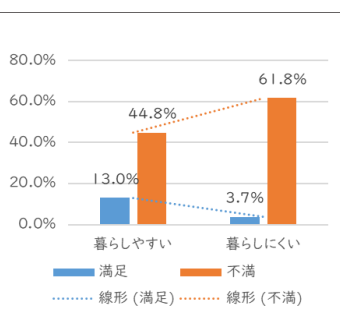
・「社会保障制度の適正な運営」、「公共交通の利便性の向上」の重要度が他の年齢区分と比較してやや高い傾向にあるという特徴があります。

ミドル層（40～64 歳）では、総合的な雪対策の推進や公共交通の利便性の向上、魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成など、まちとしての機能や魅力を維持・向上していくための施策や、社会保障制度や高齢者福祉、地域医療体制などの医療・福祉施策に対するニーズが高くなっていることが分かります。

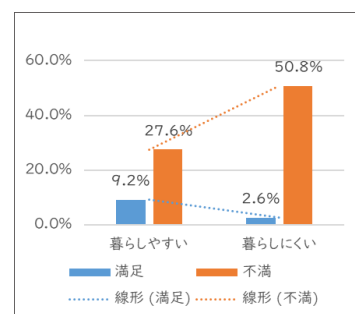
総合的な雪対策の推進



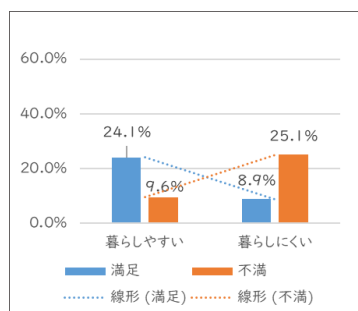
公共交通の利便性の向上



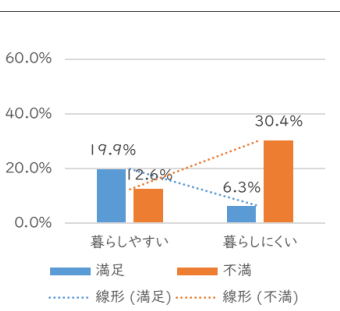
魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成



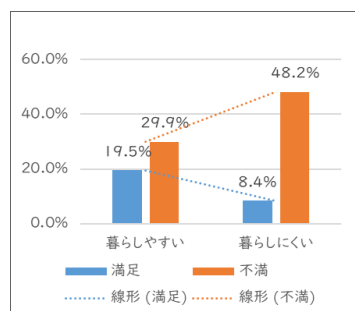
高齢者福祉の充実



社会保障制度の適正な運営



地域医療体制の充実



【基本施策の重要度・満足度の状況（シニア層：65 歳以上）】

基本施策	重要度（相関係数）		満足度（満足率％）	
	順位	指標	順位	指標
1-2 総合的な雪対策の推進	1	0.341	3	34.9%
2-6 地域医療体制の充実	2	0.309	8	18.8%
2-2 高齢者福祉の充実	3	0.290	7	21.7%
3-6 移住・定住の促進	4	0.286	29	5.4%
6-2 持続可能な行財政基盤の確立	5	0.268	18	12.3%
5-4 上下水道の適正な運営	6	0.261	4	29.8%
2-5 社会保障制度の適正な運営	7	0.261	10	16.4%
6-1 開かれた市政の推進	8	0.257	17	13.1%
5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	9	0.247	30	4.9%
5-5 緑豊かなまちづくりの推進	10	0.247	6	23.4%
5-2 快適な道路環境の確保	11	0.238	13	15.6%
4-2 学校教育の充実	12	0.237	15	13.3%
3-7 国際・地域間交流の推進	13	0.226	26	6.5%
2-1 健康づくりの推進	14	0.223	1	40.5%
2-4 地域福祉の推進	15	0.223	22	10.4%
5-3 公共交通の利便性の向上	16	0.222	27	6.3%
3-5 地域資源を活かした観光の振興	17	0.222	24	8.3%
1-4 安全・安心な生活環境の確保	18	0.216	5	27.7%
3-2 商工業の振興と中心市街地の活性化	19	0.213	28	5.9%
4-3 生涯学習の振興と社会教育の充実	20	0.206	16	13.2%
1-3 消防・救急体制の充実	21	0.206	2	40.0%
3-4 雇用の拡大と就業環境の充実	22	0.203	32	3.5%
4-1 子ども・子育て支援の充実	23	0.199	21	10.6%
5-7 地域情報化の推進	24	0.198	25	8.1%
1-5 地域コミュニティの活性化	25	0.196	12	16.0%
4-4 芸術文化・スポーツの振興	26	0.190	9	16.7%
1-6 男女共同参画社会の実現	27	0.188	19	11.8%
5-6 環境の保全と循環型社会の形成	28	0.182	20	10.9%
3-1 農林業の振興	29	0.178	23	9.5%
2-3 障がい者福祉の充実	30	0.176	14	14.8%
3-3 新産業の創出と企業立地の推進	31	0.169	31	4.7%
1-1 地域防災力の向上	32	0.163	11	16.0%

・シニア層（65 歳以上）の家族構成は、「夫婦のみ」の世帯が 56.2%で最多であり、次いで、「ひとり暮らし」17.8%となっています。

また、職業は「無職」が 57.9%で最多となっています。

・暮らしやすさとの相関関係（重要度）は、「総合的な雪対策の推進」が最も高く、次いで「地域医療体制の充実」、「高齢者福祉の充実」の順となっています。

・岩見沢市は「暮らしやすい」と回答した方の施策別の満足と不満の割合を比較すると、「地域医療体制の充実」では 1.6 倍、「高齢者福祉の充実」では 1.5 倍と、満足の割合が不満の割合をやや上回っています。

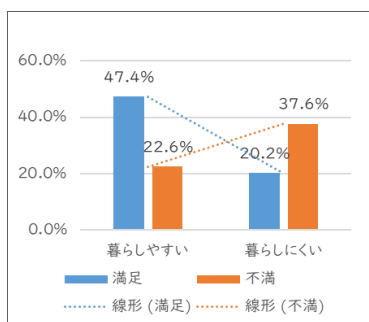
・「移住・定住の促進」については、重要度は 4 位になっていますが、満足度は 29 位となっています。

・「移住・定住の促進」、「上下水道の適正な運営」の重要度が他の年齢区分と比較して高い傾向にあるという特徴があります。

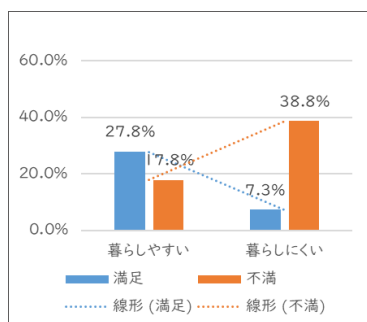
・「移住・定住の促進」については、岩見沢市は「暮らしやすい」と回答した方でも、不満の割合が満足の割合を上回っており、「持続可能な行財政基盤の確立」では、満足と不満がほぼ均衡しています。

シニア層（65 歳以上）では、総合的な雪対策の推進や地域医療体制など、安全・安心に関する施策、社会保障制度や高齢者福祉などの福祉施策に対するニーズが高くなっていることが分かります。

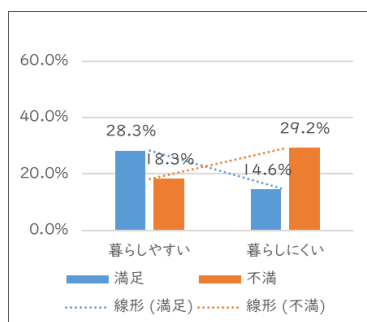
総合的な雪対策の推進



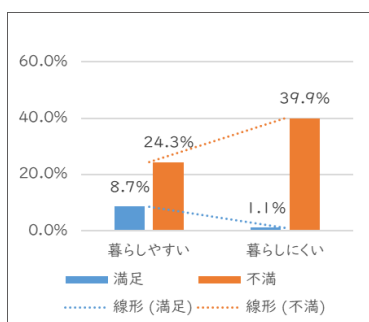
地域医療体制の充実



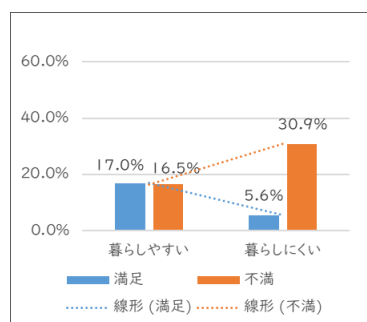
高齢者福祉の充実



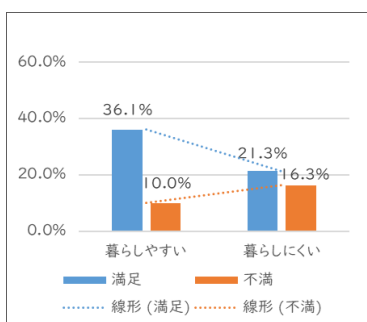
移住・定住の促進



持続可能な行財政基盤の確立



上下水道の適正な運営



参 考 資 料

「第6期岩見沢市総合計画」の基本施策等に関する 市民意識調査 ご協力をお願い

市民の皆さまには、岩見沢市のまちづくりにご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、平成30年度から令和9年度までの10年間を計画期間とする「第6期岩見沢市総合計画」に基づき、将来の都市像「人と緑とまちがつながり ともに育み未来をつくる 健康経営都市」をめざし、様々な施策に取り組んでおります。

本調査は、市民の皆さまの施策に関する満足度等の現状を把握し、今後のまちづくりの参考とするため、実施するものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をいただきますようお願い致します。

令和6年8月

岩見沢市長 松野 哲

[記入上の注意]

1. お送りしたあて名のご本人がお答えください。（ご本人の記入が難しいときは、ご本人の意向に沿って代理の方が記入いただいても構いません。）
 2. 回答者のお名前を記入する必要はありません。
 3. ご回答は、設問ごとに（○は1つ）（あてはまるものすべてに○）などと指定されています。選択肢の番号を○で囲んでください。（濃く記入してください。）
 4. 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、9月16日（月）までに郵便ポストに投函してください。（切手は不要です）
- ※ この調査は、18歳以上の市民の中から無作為に抽出した4,000人の方を対象に送付しています。皆さまのご回答は統計的に処理され、個人が特定されたり、調査目的以外で使用することは一切ありません。

【お問い合わせ先】岩見沢市企画財政部企画室
〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
TEL：0126-35-4834（直通）
FAX：0126-23-9977

【この調査はパソコンやスマートフォン等で回答いただくことも可能です】

インターネットを通じてご回答いただく場合は、下記のURL又はQRコードから回答フォームにアクセスの上、9月16日（月）までにご回答をお願いいたします。

（調査票の送付は不要です。）

インターネット回答 トップページURL
<https://www.harp.lg.jp/yzn4Fu6i>



問1 あなた（回答者）のことについてうかがいます。（それぞれ1つに○）

1. 年 齢	1. 19歳以下 3. 25～29歳 5. 35～39歳 7. 45～49歳 9. 55～59歳 11. 65～69歳 13. 75～79歳 2. 20～24歳 4. 30～34歳 6. 40～44歳 8. 50～54歳 10. 60～64歳 12. 70～74歳 14. 80歳以上
2. 性 別	1. 男性 2. 女性 3. その他
3. お住まいの地区	1. 幌向・上幌向・中幌向・御茶の水・双葉 3. 峰延・稔・桜木・元町・西川・有明・若松・北本町・緑町・北条丁目 5. 大和 7. 北村地区 9. 栗沢町宮村・美流渡・万字 2. 上志文・朝日・毛陽・清水・奈良・宝水 4. 東条丁目・東山・日の出・栄町・東町・鳩が丘・若駒・かえで・岡山・大願 6. 西条丁目・並木・美園・南町・駒園・緑が丘・春日・金子・志文・下志文・ふじ 8. 栗沢地区 (9の地区を除く)
4-1. 岩見沢市での居住歴 ※旧北村・栗沢町での居住歴を含む	1. 生まれてからずっと住んでいる…4-3へ 2. 転入した…4-2へ 3. 以前住んでいたが転出したあと、転入した…4-2へ
4-2. 転入の理由 ※4-1で2、3を選択した方	1. 進学 2. 就職 3. 結婚 4. 出産 5. 転職・転勤 6. その他（ ）
4-3. 岩見沢市での居住年数 ※旧北村・栗沢町での居住年数を含む	1. 5年未満 2. 5年以上10年未満 3. 10年以上20年未満 4. 20年以上
5. 住まいの形態	1. 自己（家族）所有 2. 借家（一戸建て） 3. 賃貸アパート・マンション 4. 社宅・官舎・寮 5. その他

問4-2 問4-1で「1. 転出が必要だと思う」、「2. 少しそう思う」と答えた方にお聞きします。転出が必要だと思う「転機」を以下の項目から選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 進学	2. 就職	3. 結婚
4. 出産	5. 転職・転勤	6. その他 ()

問5 岩見沢市では、平成27年に「まちづくり基本条例」を制定し、市民主体による自主自立のまちづくりに取り組んでいます。あなたは、「まちづくり基本条例」をご存知ですか。(○は1つ)

1. よく知っている	2. ある程度知っている	3. あまり知らない
4. 全く知らない		

問6 雪対策についてうかがいます。

(1) あなたのご自宅では、主にどなたが除雪作業を担っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 自分	2. 夫(妻)	3. 同居の家族	4. 別居の親族	5. 近所の人
6. 民間事業者	7. 除雪の必要がない	8. その他 ()		

(2) 岩見沢市では、平成24年の豪雪の教訓から、「迅速・的確な除排雪対応」「情報提供の充実」「自力での除排雪が困難な高齢者世帯等への支援(注)」といった『総合的な雪対策』に取り組んでいます。

あなたは、岩見沢市の『総合的な雪対策』をどのように評価しますか。(○は1つ)

1. 評価する	2. ある程度評価する	3. どちらともいえない
4. あまり評価しない	5. 評価しない	

(注)自力での除排雪が困難な高齢者世帯等への支援

町会等が実施する除雪ボランティアへの支援、高齢者世帯等への雪下ろし助成、間口除雪助成、定期排雪助成、大雪時の市職員による高齢者世帯等の見回り・除雪支援

問7 第6期岩見沢市総合計画における基本施策についてうかがいます。
以下の項目の「現在の満足度」について、あなたの考えに一番近いものを選んでください。
(1から33について、それぞれ1つに○)

記入例 ⇒

	十分満足	まあ満足	ふつう	やや不満	かなり不満
	1	2	3	4	5
1 地域防災力の向上 (防災対策の推進、防災意識の啓発と高揚)	1	2	3	4	5
2 総合的な雪対策の推進 (冬期間における安全・安心な生活環境の実現、協働による雪対策の推進)	1	2	3	4	5
3 消防・救急体制の充実 (消防力の強化、火災予防対策の推進、救急・救助体制の充実)	1	2	3	4	5
4 安全・安心な生活環境の確保 (交通安全対策の推進、防犯対策の推進、消費生活の安全確保)	1	2	3	4	5
5 地域コミュニティの活性化 (地域コミュニティの振興、市民活動の促進)	1	2	3	4	5
6 男女共同参画社会の実現 (男女共同参画への意識づくり、男女共同参画社会実現への環境整備)	1	2	3	4	5
7 健康づくりの推進 (健康づくりの推進、健康管理と病気の予防)	1	2	3	4	5
8 高齢者福祉の充実 (地域で安心して暮らせる環境づくり、生きがいと健康づくりの推進、介護保険サービスの充実)	1	2	3	4	5
9 障がい者福祉の充実 (地域生活支援体制の充実、コミュニケーションと社会参加の推進)	1	2	3	4	5
10 地域福祉の推進 (地域福祉の支援体制の充実、意識の高揚と担い手の育成・支援)	1	2	3	4	5
11 社会保障制度の適正な運営 (国民健康保険事業の適正な運営、後期高齢者医療制度の円滑な運用、国民年金制度の啓発、生活困窮者への支援の充実)	1	2	3	4	5
12 地域医療体制の充実 (地域医療体制の整備、市立病院の医療の充実、救急医療体制の充実)	1	2	3	4	5
13 農林業の振興 (農業所得の向上、担い手の育成・確保、農村地域の振興、森林の整備・保全と活用)	1	2	3	4	5
14 商工業の振興と中心市街地の活性化 (中小企業の活性化と経営基盤の強化、中心市街地の活性化)	1	2	3	4	5
15 新産業の創出と企業立地の推進 (新産業の創出支援、企業立地の推進)	1	2	3	4	5
16 雇用の拡大と就業環境の充実 (雇用機会の拡大、就業環境の充実)	1	2	3	4	5

	十分満 る足	しま てあ い満 る足	ふ つ う	で あ や る 不 満	満 か で な り る 不
記入例 ⇒	1	2	3	4	5
17 地域資源を活かした観光の振興 (観光資源の魅力向上、観光誘客の推進)	1	2	3	4	5
18 移住・定住の促進 (移住・定住施策の推進、シティプロモーションの推進)	1	2	3	4	5
19 国際・地域間交流の推進 (国際交流と多文化共生の推進、地域間交流の推進)	1	2	3	4	5
20 子ども・子育て支援の充実 (安心して子育てできるまちづくり、子どもの健やかな成長を支えるまちづくり、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援)	1	2	3	4	5
21 学校教育の充実 (生きる力を育む教育の推進、安心して学べる教育環境の充実、特色ある高等学校教育の推進)	1	2	3	4	5
22 生涯学習の振興と社会教育の充実 (多様な学びの機会の提供、学習環境の充実)	1	2	3	4	5
23 芸術文化・スポーツの振興 (芸術文化の振興、文化財や郷土芸能の保存と継承、スポーツの振興、地域における大学との連携)	1	2	3	4	5
24 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成 (魅力ある都市空間の構築、安全で快適な住まいの実現)	1	2	3	4	5
25 快適な道路環境の確保 (道路網の整備、安全で快適な道路環境の維持)	1	2	3	4	5
26 公共交通の利便性の向上 (地域公共交通体系の再構築、広域的な公共交通の維持)	1	2	3	4	5
27 上下水道の適正な運営 (良質な水の安定供給、生活排水の適切な処理、上下水道事業の健全な経営)	1	2	3	4	5
28 緑豊かなまちづくりの推進 (緑の街並みと自然環境の保全、公園・緑地の機能再編と適正管理)	1	2	3	4	5
29 環境の保全と循環型社会の形成 (環境保全活動の推進、循環型社会の形成)	1	2	3	4	5
30 地域情報化の推進 (地域情報化の推進)	1	2	3	4	5
31 開かれた市政の推進 (広報活動の充実、市民参画による政策形成、情報公開の充実)	1	2	3	4	5
32 持続可能な行財政基盤の確立 (市民サービスの充実、効率的・効果的な行政運営の推進、組織運営の最適化、健全な財政運営の確保、公共施設の適正配置、広域行政の推進)	1	2	3	4	5
33 岩見沢市の施策に対する総合的な満足度 (1～32の施策に対する総合評価)	1	2	3	4	5

問8 あなたの普段の生活や関心についてうかがいます。
以下の項目について、あなたの考えに近いものを選んでください。
(それぞれ1つに○)

記入例 ⇒

	はと まて るも あて	ま る 少 し あ て は	い ど え ち な い と も	は あ ま ら な い あ い て	ま あ ら な い あ い て は
	1	2	3	4	5
1 ごみの減量・分別や省エネルギー、再生可能エネルギーの利用など、環境への配慮を心がけている	1	2	3	4	5
2 年に1回以上は公園や緑地を利用している	1	2	3	4	5
3 自宅でインターネットをよく利用している	1	2	3	4	5
4 通勤、通学、買い物、通院等で公共交通機関を利用している	1	2	3	4	5
5 日常の移動手段としての公共交通の必要性を感じている	1	2	3	4	5
6 自分は健康な方であると思う	1	2	3	4	5
7 健康のために普段から取り組んだり、心がけていることがある	1	2	3	4	5
8 ある程度、親しくしている人が隣近所にいる	1	2	3	4	5
9 地域で困っている人を助けたり、声をかけたりしたことがある	1	2	3	4	5
10 日頃から、趣味・教養・学習・文化活動等を行っている	1	2	3	4	5
11 スポーツ等を通じて定期的に体を動かしている	1	2	3	4	5
12 会合や趣味、サークル活動等で市の施設をよく利用している	1	2	3	4	5
13 農産物はできるだけ地元産を購入するようにしている	1	2	3	4	5
14 日常の買い物は市の中心市街地ですることが多い	1	2	3	4	5
15 日常の買い物支援の必要性を感じている (移動販売や宅配サービスなど)	1	2	3	4	5
16 市民が参画するまちづくりに関心がある	1	2	3	4	5
17 地縁的な活動を行っている (町会・自治会、女性部、青年団、子ども会など)	1	2	3	4	5
18 ボランティア・NPO・市民活動を行っている (まちづくり、高齢者・障がい者福祉や子育て、スポーツ指導、美化、防犯・防災、環境、国際協力活動など)	1	2	3	4	5
19 岩見沢市に誇りや愛着を感じている	1	2	3	4	5

	は と ま る	ま し あ て は	い ど え ち な い も	は あ ま ら な い あ て	ま あ ら な い あ て	
(それぞれ1つに○)	記入例 ⇒	1	2	3	4	5
20 岩見沢市の市政や財政運営に関心がある		1	2	3	4	5
21 スマートフォンはあなたの生活に欠かせないものになっている		1	2	3	4	5
22 ネットショッピングやネットスーパー等をよく利用している		1	2	3	4	5
23 家庭や職場以外に、大切にしている場所（居場所）が市内にある		1	2	3	4	5
24 友人や知人などと、プライベートでよく交流している		1	2	3	4	5
25 外出時に、あなたをクルマで送迎してくれる家族や友人がいる		1	2	3	4	5
26 外出時に、あなたがクルマで送迎する必要のある家族や友人がいる		1	2	3	4	5

問9 防災に関する意識についてうかがいます。
 あなたのご家庭では、災害に対してどのような備えをしていますか。
 （あてはまるものすべてに○）

1. 家族と連絡を取る方法（安否確認）を決めている 2. 連絡がつかないときに家族が集まる場所（実家など）を決めている 3. 家具が倒れないよう壁や天井に固定している 4. 自宅から一番近い避難所とそこまでの経路を知っている 5. 非常食を常備している 6. 非常持出品を入れたバッグを準備している 7. 停電のときでも使えるストーブが自宅にある 8. 停電のときでも携帯電話・スマートフォンの充電ができる （電池式・太陽光発電式の充電器を所有、自宅に発電設備があるなど） 9. 停電のときでも調理ができる （プロパンガスを使用、カセットガスコンロと多めの予備ボンベを常備など） 10. 懐中電灯やランタンが自宅にある 11. 防災に関するニュースなどをチェックしている

12. その他（ ）
13. 何もしていない

問10 情報の入手方法やスマートフォンの利用状況についてうかがいます。

(1) 岩見沢市に関する情報をどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 新聞
2. 広報いわみざわ
3. 岩見沢市公式ホームページ
4. 岩見沢市メールサービス
5. 岩見沢市公式LINE

(2) スマートフォンをどんなことに使っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 電話・メール（LINE等を含む）
2. インターネットの閲覧・検索（動画の閲覧を含む）
3. SNSの閲覧・投稿
4. 電子マネー
5. インターネットショッピング
6. 電子申請などの手続き
7. スマートフォンを持っていない

問11 市内であなたがプライベートの目的でよく訪れる場所と、その頻度について、あてはまるものに○をし、該当する項目に日数を記入してください。

場所	町会・自治会活動	サークル活動(部活動等含む)	その他
(例)総合体育館でウォーキングや卓球サークル活動の場合 ③.公共施設	日/月	9日/月	15日/月
(例)両親が暮らす実家で過ごしている場合 ⑨.友人宅、親族宅	日/月	日/月	10日/月
1. 買物施設	日/月	日/月	日/月
2. 医療施設	日/月	日/月	日/月
3. 公共施設 (市役所、いわなび、図書館、北村温泉ほか)	日/月	日/月	日/月
4. 公園・緑地 (いわみざわ公園、地域の公園ほか)	日/月	日/月	日/月
5. 飲食店(主に食事を目的)	日/月	日/月	日/月
6. 飲食店(主に飲酒を目的)	日/月	日/月	日/月
7. 娯楽(主に屋内)施設	日/月	日/月	日/月
8. 屋外レジャー施設 (パークゴルフ場・グリーンランドほか)	日/月	日/月	日/月
9. 友人宅、親族宅	日/月	日/月	日/月
10. 自宅からオンラインでのプライベートな会合	日/月	日/月	日/月
11. その他 (自由記述：)	日/月	日/月	日/月

問12 最後に、市政に対するご意見、ご提案等がございましたらご記入ください。

お忙しいところ多数の質問にお答えいただきまして、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて9月16日(月)までに郵便ポストに投函してください。
インターネットから回答される場合は投函不要です。